

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

阪医病総 番 2号
令和 5年 9月 28日
国立大学法人大阪大学
開設者名 学長 西尾 章治郎

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山丘2番15号
電話(06)60879 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科	<input type="radio"/>	

診療実績

「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容はアレルギー疾患リウマチ科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科で提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				無			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	糖尿病・内分泌・代謝内科	2	アレルギー疾患リウマチ科	3	血液・腫瘍内科	4	老年内科	5	漢方内科
6	乳腺・内分泌外科	7	病理診断科	8	形成外科	9	リハビリテーション科	10	神経・精神科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52				1034	1086

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	496	405.1	901.1
歯科医師	3	0	3
薬剤師	96	1	97
保健師	0	0	0
助産師	42	1	43
看護師	1039	12.6	1051.6
准看護師	0	1	1
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	123
理学療法士	26
作業療法士	5
視能訓練士	19
義肢装具士	0
臨床工学士	37
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	67

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	84
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	15	
その他の技術員	36	
事務職員	366	
その他の職員	61	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	122	眼科専門医	27
外科専門医	127	耳鼻咽喉科専門医	17
精神科専門医	13	放射線科専門医	81
小児科専門医	40	脳神経外科専門医	18
皮膚科専門医	17	整形外科専門医	30
泌尿器科専門医	23	麻酔科専門医	15
産婦人科専門医	23	救急科専門医	24
		合計	577

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (竹原 徹郎) 任年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成24年～令和3年: 医療クオリティ審議委員会委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	785.4 人	0 人	785.4 人
1日当たり平均外来患者数	2,340.10 人	16.8 人	2,356.90 人
1日当たり平均調剤数	1026.1		剤
必要医師数	216		人
必要歯科医師数	1		人
必要薬剤師数	27		人
必要(准)看護師数	473		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	その他の救急蘇生装置	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー
集中治療室	595.33 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	29 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	420.22	m ²	病床数	30 床
	[移動式の場合]	台数	15	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	55		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	643 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、遠心分離機、自動分析装置			
細菌検査室	135 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット			
病理検査室	305 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー			
病理解剖室	65 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、保管庫、冷蔵庫			
研究室	12,121 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等OA機器、実験台、保管庫			
講義室	1,187 m ²	鉄骨コンクリート	室数	7 室	収容定員	953 人
図書室	3,737 m ²	鉄骨コンクリート	室数	- 室	蔵書数	350000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	94.8	%	逆紹介率	84.2	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		19,463 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,218 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,036 人		
	D: 初診の患者の数		21,625 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
倉智博久	大阪府立病院機構 大 阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知 識を有する者として選 定	無	1
橋本重厚	福島県立医科大学 会津医療センター糖尿 病内分泌代謝・腎臓内 科学講座教授 同附属病院医療安全 管理部長		医療安全管理部長とし て医療安全管理の専門 家として選定	無	1
水島幸子	水島綜合法律事務所 所長		法律の専門家である 上、医療に精通してい る者として選定	無	1
橋本佐与子	認定NPO法人 ささえ あい医療人権センター COML 理事		患者・医療者双方のコ ミュニケーション能力を 高める活動等に取り組 み、患者目線で医療に ついて助言できる者とし て選定	無	2
井上 恵嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する 理事として選定	有	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大阪大学ホームページにて公開	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。)を呈するものに限る。)	0
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	1
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	0
先進医療の種類合計数	4
取扱い患者数の合計(人)	1

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	脳死肺移植術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 重症呼吸不全や肺高血圧症で他に有効な治療手段がなく生命の危険が迫っている患者			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 卵巣癌に対する根治術を腹腔鏡下で一期的に行い安全性有効性予後を評価する			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA(Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	腹腔鏡下子宮体癌根治術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清を含む根治術を腹腔鏡下で一期的に行い安全性有効性予後を評価する			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤内臓摘出術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 婦人科癌に対する内臓全摘術を腹腔鏡下で一期的に行い安全性有効性予後を評価する			
医療技術名	頭頸部癌アルミノックス(光免疫)療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 外科的切除不能で、化学放射線療法後または不可能な局所進行または局所再発の頭頸部癌に対して適応となる治療で、抗体-光感受性物質複合体の点滴静注とレーザー光照射を行う治療である。			
医療技術名	脳死・生体小児肝移植	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 先天性疾患による肝不全や急性型肝炎の小児に対して実施している。			
医療技術名	胸腔鏡下横隔膜ヘルニア根治術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 開腹手術が標準術式であるが、合併奇形等が少なく重症ではない症例に対しては、低侵襲手術として実施できる。			
医療技術名	患者適合型手術ガイドとプレートを用いた変形矯正手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 四肢骨変形に対して、術前3次元コンピューターシミュレーションにより設計・製造した患者適合型手術ガイドとプレートを用いて矯正骨切りを行うことにより、3次的に正確な変形矯正を実施できる。			
医療技術名	腹腔鏡下リンパ節郭清術 後腹膜	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 精巣腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対して腹腔鏡下に切除を行う。従来の開腹手術と比較し、低侵襲に実施できる。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	46
当該医療技術の概要 頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	11
取扱い患者数の合計(人)	89

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	145
2	筋萎縮性側索硬化症	44	57	特発性拡張型心筋症	324
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	70
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	8
5	進行性核上性麻痺	53	60	再生不良性貧血	60
6	パーキンソン病	657	61	自己免疫性溶血性貧血	10
7	大脳皮質基底核変性症	15	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	13
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	106
9	神経有棘赤血球症	4	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	5	65	原発性免疫不全症候群	36
11	重症筋無力症	256	66	IgA 腎症	62
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	116
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	196	68	黄色靱帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	25	69	後縦靱帯骨化症	85
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	12
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	77
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	101	73	下垂体性TSH分泌亢進症	5
19	ライソゾーム病	76	74	下垂体性PRL分泌亢進症	18
20	副腎白質ジストロフィー	8	75	クッシング病	17
21	ミトコンドリア病	23	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
22	もやもや病	28	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	64
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	213
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	39	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	124
30	遠位型ミオパチー	3	85	特発性間質性肺炎	56
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	74
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	16
34	神経線維腫症	96	89	リンパ脈管筋腫症	39
35	天疱瘡	33	90	網膜色素変性症	84
36	表皮水疱症	47	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	60
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	20
40	高安動脈炎	75	95	自己免疫性肝炎	30
41	巨細胞性動脈炎	14	96	クローン病	302
42	結節性多発動脈炎	17	97	潰瘍性大腸炎	310
43	顕微鏡的多発血管炎	62	98	好酸球性消化管疾患	9
44	多発血管炎性肉芽腫症	29	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	9
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	39	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	14	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	9	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	472	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	151	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	209	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	80	107	若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	76	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	18	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	13	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	4	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113	筋ジストロフィー	48	163	特発性後天性全身性無汗症	29
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	11
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	5
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	16
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	4
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	173	VATER症候群	1
124	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	3	174	那須・ハコラ病	0
125	ベリー症候群	0	175	ウィーバー症候群	0
126	前頭側頭葉変性症	15	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	177	ジュベール症候群関連疾患	1
128	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	先天性無痛無汗症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	アレキサンダー病	0	180	ATR-X症候群	1
131	先天性核上性球麻痺	0	181	クルーゾン症候群	0
132	メビウス症候群	0	182	アペール症候群	0
133	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	アイカルディ症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	片側巨脳症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	限局性皮質異形成	2	186	ロスモンド・トムソン症候群	0
137	神経細胞移動異常症	0	187	歌舞伎症候群	0
138	先天性大脳白質形成不全症	1	188	多脾症候群	3
139	ドラベ症候群	0	189	無脾症候群	2
140	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	ミオクロニー欠神てんかん	0	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	192	コケイン症候群	0
143	レノックス・ガストー症候群	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	ウエスト症候群	2	194	ソトス症候群	1
145	大田原症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	早期ミオクロニー脳症	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
148	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	198	4p欠失症候群	0
149	環状20番染色体症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	ラスムッセン脳炎	2	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	PCDH19関連症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	202	スミス・マギニス症候群	0
153	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	ランドウ・クレフナー症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
155	レット症候群	3	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	スタージ・ウェーバー症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	結節性硬化症	50	207	総動脈幹遺残症	0
158	色素性乾皮症	1	208	修正大血管転位症	4
159	先天性魚鱗癬	0	209	完全大血管転位症	5
160			210	単心室症	11

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	5	260	シトステロール血症	4
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	11	263	脳髄黄色腫症	3
216	両大血管右室起始症	6	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	3
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	78	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	33
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	7
227	オスラー病	16	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	4
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	6
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	6	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	9	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	3
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	6	296	胆道閉鎖症	16
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	3
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	35
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	61

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	1	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクロームスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	2	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	4
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	9
316	カルニチン回路異常症	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	3
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	22
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシステニン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

取扱疾患件数	184
患者数計	6,341

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	呼吸ケアチーム加算
歯科外来診療環境体制加算1	病棟薬剤業務実施加算1
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算2
救急医療管理加算	データ提出加算
超急性期脳卒中加算	入退院支援加算
診療録管理体制加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
医師事務作業補助体制加算2	精神疾患診療体制加算
急性期看護補助体制加算	精神科急性期医師配置加算
看護職員夜間配置加算	地域医療体制確保加算
療養環境加算	救命救急入院料3
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料4
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料1
無菌治療室管理加算2	ハイケアユニット入院医療管理料1
放射線治療病室管理加算(治療用放射線同位元素による場合)	総合周産期特定集中治療室管理料
放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	新生児治療回復室入院医療管理料
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2
精神科身体合併症管理加算	短期滞在手術等基本料1
精神科リエゾンチーム加算	看護職員処遇改善評価料61
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
患者サポート体制充実加算	・
報告書管理体制加算	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・
ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	医療機器安全管理料1
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	医療機器安全管理料2
糖尿病合併症管理料	精神科退院時共同指導料1及び2
がん性疼痛緩和指導管理料	歯科治療時医療管理料
がん患者指導管理料ハ	救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
がん患者指導管理料ニ	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
外来緩和ケア管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
糖尿病透析予防指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
小児運動器疾患指導管理料	遺伝学的検査
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	染色体検査の注2に規定する基準
婦人科特定疾患治療管理料	骨髄微小残存病変量測定
腎代替療法指導管理料	BRCA1/2遺伝子検査
一般不妊治療管理料	がんゲノムプロファイリング検査
生殖補助医療管理料1	先天性代謝異常症検査
下肢創傷処置管理料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
外来放射線照射診療料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
外来腫瘍化学療法診療料1	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
連携充実加算	検体検査管理加算(Ⅰ)
ニコチン依存症管理料	検体検査管理加算(Ⅳ)
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	国際標準検査管理加算
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	遺伝カウンセリング加算
がん治療連携計画策定料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料2	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
薬剤管理指導料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
胎児心エコー法	外傷全身CT加算
ヘッドアップティルト試験	心臓MRI撮影加算
人工臓器検査、人工臓器療法	乳房MRI撮影加算
長期継続頭蓋内脳波検査	頭部MRI撮影加算
長期脳波ビデオ同時記録検査1	全身MRI撮影加算
中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	肝エラストグラフィ加算
単線維筋電図	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
脳磁図(自発活動を測定するもの)	外来化学療法加算1
脳磁図(その他のもの)	無菌製剤処理料
脳波検査判断料1	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
黄斑局所網膜電図	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
全視野精密網膜電図	がん患者リハビリテーション料
ロービジョン検査判断料	集団コミュニケーション療法料
コンタクトレンズ検査料1	療養生活継続支援加算
内服・点滴誘発試験	精神科作業療法
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
経気管支凍結生検法	医療保護入院等診療料
画像診断管理加算3	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
遠隔画像診断	多血小板血漿処置
ポジロン断層撮影	硬膜外自家血注入
ポジロン断層・コンピューター断層複合撮影	人工腎臓
CT撮影及びMRI撮影	導入期加算3及び腎代替療法実績加算
冠動脈CT撮影加算	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
血流予備量比コンピューター断層撮影	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
磁気による膀胱等刺激法	網膜再建術
口腔粘膜処置	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
う蝕歯無痛的窩洞形成加算	人工中耳植込術
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
センチネルリンパ節加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
皮膚移植術(死体)	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
自家脂肪注入	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	喉頭形成手術(甲状軟骨固定器具を用いたもの)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
椎間板内酵素注入療法	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角結膜悪性腫瘍切除手術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
角膜移植術(内皮移植加算)	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
羊膜移植術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	同種死体肺移植術
緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	生体部分肺移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
胸腔鏡下弁形成術	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
胸腔鏡下弁置換術	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術)	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
経皮的僧帽弁クリップ術	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的 手術によるもの)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
経皮的中隔心筋焼灼術	腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレス ペースメーカー)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除術及び肝切(葉以上)を伴うものに限る。)
両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室 ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	腹腔鏡下肝切除術
両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室 ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込 型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型 リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経 静脈電極除去術	生体部分肝移植術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場 合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電 極の場合)	同種死体肝移植術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場 合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈 電極の場合)	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
補助人工心臓	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
小児補助人工心臓	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
同種心移植術	同種死体膵島移植術
同種心肺移植術	生体部分小腸移植術
骨格筋由来細胞シート心表面移植術	同種死体小腸移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	無心体双胎焼灼術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胎児輸血術及び臍帯穿刺
内視鏡的小腸ポリープ切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	輸血管管理料 I
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	コーディネート体制充実加算
同種死体腎移植術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
生体腎移植術	手術時歯根面レーザー応用加算
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	レーザー機器加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔管理料(I)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	麻酔管理料(II)
人工尿道括約筋植込・置換術	放射線治療専任加算
膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開による)	外来放射線治療加算
精巣内精子採取術	高エネルギー放射線治療
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	一回線量増加加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	強度変調放射線治療(IMRT)
腹腔鏡下仙骨腫固定術	画像誘導放射線治療(IGRT)
腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	定位放射線治療
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	画像誘導密封小線源治療加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	病理診断管理加算2
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	悪性腫瘍病理組織標本加算
腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・
胎児胸腔・羊水腔シャント術	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・角膜ジストロフィーの遺伝子解析(2020.4.1～)	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術(2020.4.1～)	・
・流産検体を用いた染色体検査(2022.4.1～)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	283	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	17
	剖検率(%)	4.1

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	神経細胞内鉄代謝障害に基づく筋萎縮性側索硬化症の病態解明	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	2,860,000	補 独立行政法人日本学術振興会
2	神経・免疫・代謝におけるガイダンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	41,600,000	補 独立行政法人日本学術振興会
3	脊髄損傷後の機能回復を促進する脳活動の解明と制御	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	5,070,000	補 独立行政法人日本学術振興会
4	がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	5,720,000	補 独立行政法人日本学術振興会
5	ブレインマシンインターフェース駆動型機能的電気刺激による完全体内埋込機能再建	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	15,990,000	補 独立行政法人日本学術振興会
6	慢性炎症を基盤としたリプログラミングの可視化と腫瘍の解析	森井 英一	病態病理学講座	3,510,000	補 独立行政法人日本学術振興会
7	癌周囲微小環境を構成する癌関連線維芽細胞を標的とした新たな肺癌治療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	3,380,000	補 独立行政法人日本学術振興会
8	トリプトファン代謝に関連した老化制御の機構解明とトランスレーショナルリサーチ	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	3,770,000	補 独立行政法人日本学術振興会
9	前頭側頭型認知症における「RNA代謝リレー障害」仮説の実証	森 康治	精神医学講座	5,330,000	補 独立行政法人日本学術振興会
10	個別化医療を目指したNASH由来肝癌ドライバー遺伝子の網羅的な同定	小玉 尚宏	消化器内科学講座	5,330,000	補 独立行政法人日本学術振興会
11	CAR T細胞の標的として同定した新規急性骨髄性白血病細胞特異的抗原の特性解析	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	5,460,000	補 独立行政法人日本学術振興会
12	プロテオミクス解析を用いたICU関連筋力低下(ICU-AW)の病態解明	藤野 裕士	麻酔・集中治療医学講座	2,340,000	補 独立行政法人日本学術振興会
13	細胞骨格を制御することで瘢痕ゼロを実現する	久保 盾貴	形成外科学講座	2,600,000	補 独立行政法人日本学術振興会
14	タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた基盤的研究	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	4,160,000	補 独立行政法人日本学術振興会
15	トリプレットリピート病のリピート長変動機構解明とリピート短縮治療の基盤確立	中森 雅之	神経内科学講座	2,470,000	補 独立行政法人日本学術振興会
16	神経軸索内局所翻訳機構に着目したALS/FTLDの病態解明と治療法開発	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	5,850,000	補 独立行政法人日本学術振興会
17	骨細胞機能障害の解析と治療ターゲットの探索ー遺伝性骨疾患を対象としてー	大藪 恵一	小児科学講座	3,120,000	補 独立行政法人日本学術振興会
18	肝細胞におけるp53活性化を起点とした肝前駆細胞由来発癌機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	5,850,000	補 独立行政法人日本学術振興会
19	ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	坂田 泰史	循環器内科学講座	4,160,000	補 独立行政法人日本学術振興会

20	早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	5,265,000	補	独立行政法人日本学術振興会
21	自己抗体により規定される「4つの皮膚筋炎」病型の病態解明と特異的治療法の開発	藤本 学	皮膚科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
22	生体内組織形成術と軟骨細胞自己凝集化技術を組み合わせた大動物気管再生モデルの確立	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	5,440,000	補	独立行政法人日本学術振興会
23	膝癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別の治療方針決定法の策定	江口 英利	消化器外科学2講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
24	精巣特異的な代謝状態の全貌解明に基づく男性不妊症の新規治療基盤の構築	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会
25	睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	谷池 雅子	小児発達神経学領域	10,595,000	補	独立行政法人日本学術振興会
26	α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	望月 秀樹	神経内科学講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
27	認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	森下 竜一	臨床遺伝子治療学寄附講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
28	難治性癌に対する超高線量率炭素イオン線照射を用いた免疫放射線治療法の開発	小川 和彦	放射線治療学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会
29	全ゲノム解析基盤による機能・情報統合解析と新規心筋症遺伝子の同定および機序解明	朝野 仁裕	医化学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
30	急速進行性間質性肺炎の病態解明と治療法の開発	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
31	グレリン/グレリン経口アナログによる外科的悪液質の治療	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
32	制御性T細胞を用いた移植免疫制御方法の開発	宮川 繁	心臓血管外科学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
33	慢性期脊髄損傷に対する治療戦略の確立	岡田 誠司	整形外科科学講座	7,930,000	補	独立行政法人日本学術振興会
34	遺伝的素因、生活習慣、腸内細菌叢の多面的解析に基づく前立腺癌の早期診断戦略の構築	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	4,030,000	補	独立行政法人日本学術振興会
35	尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	8,190,000	補	独立行政法人日本学術振興会
36	HPVワクチン再普及のシミュレーションと生まれ年度別の子宮頸がん罹患リスク予測	上田 豊	産科学婦人科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
37	PDX モデルマウスとオミックス解析を用いた希少がん保存バンクの設立	木村 正	産科学婦人科学講座	7,670,000	補	独立行政法人日本学術振興会
38	眼底画像のみから循環器疾患リスクプロファイリングを行う「新・眼底健診」の提案	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
39	植込み機能的電気刺激とブレインマシンインターフェースによる自己四肢の運動機能再建	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	500,000	補	独立行政法人日本学術振興会

40	皮膚レジデントメモリーT細胞の発現分子が乾癬病態形成に及ぼす影響の検討	久米 美輝	皮膚科学講座	700,000	補	独立行政法人日本学術振興会
41	臨床検体を用いた膠芽腫細胞の治療標的抗原の同定、機能解析とCAR-T療法への展開	黒田 秀樹	脳神経外科学講座	1,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
42	急性呼吸不全において肺傷害の最小にする新しい人工呼吸法の開発	内山 昭則	麻酔・集中治療医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
43	発達障害の3歳未満における早期診断が児と養育者に与える影響の調査	中西 真理子	(小児科・子ども)環境関連	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
44	心機能回復のための心筋細胞における細胞極性因子aPKCの役割の解明	河村 拓史	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
45	片側難聴児への補聴器入が社会的適応及び心理面に及ぼす影響	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
46	線条体の機能改善によるパーキンソン病治療法の開発	別宮 豪一	神経内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
47	機械学習を用いた画像診断レポートからの情報抽出と利活用に関する研究	武田 理宏	医療情報学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
48	センチネルリンパ節リアルタイムモニタリングによる新しい乳癌腋窩リンパ節治療の開発	島津 研三	乳腺・内分泌外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
49	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群の脳発達への影響の解明	毛利 育子	小児発達神経学領域	715,000	補	独立行政法人日本学術振興会
50	視神経脊髄炎におけるタイプ1インターフェロニンシグネチャーの解明	奥野 龍禎	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
51	甲状腺腫瘍の術前分子診断法の確立	日高 洋	病院臨床検査学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
52	レボドパ誘発性ジスキネジアでのグリア介在性の神経可塑性の異常	馬場 孝輔	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
53	原因不明脳梗塞の包括的病態解明および診断アルゴリズムの確立	藤堂 謙一	神経内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
54	クロザピン抵抗性統合失調症のバイオマーカーの開発	藤本 美智子	精神医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
55	血液リキッドバイオプシーによる子宮頸癌放射線治療後の遺残・再発のモニタリング	磯橋 文明	放射線治療学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
56	骨石灰化におけるピロリン酸濃度とその調節機構の解明—網羅的代謝物遺伝子発現解析—	窪田 拓生	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
57	慢性肝疾患の進展における細胞内輸送の解析	阪森 亮太郎	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
58	肝細胞癌における間質細胞オートファジーを介した癌微小環境の制御機構の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
59	TNF- α 上昇が慢性膵炎病態形成に与える影響の解明	重川 稔	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

60	重症心不全症例における右室機能を三次元経胸壁心エコー図法で求めた新指標で評価する	竹田 泰治	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
61	脂質メディエーターによる心筋細胞死制御機構の解明と心不全創薬への応用	種池 学	循環器内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
62	クロマチン構造解析による新規サルコペニア治療薬の基盤創生	井上 和則	腎臓内科学講座	585,000	補	独立行政法人日本学術振興会
63	白斑におけるメラノサイト超選択的レジデントT細胞の特徴と相互維持機能の解明	種村 篤	皮膚科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
64	血管擬態の阻害によるHER2陽性乳癌の新規治療法の開発	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
65	分子バーコードNGSによるリキッドバイオプシー:胃癌免疫化学療法の病勢・効果予測	黒川 幸典	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
66	細胞特性を利用した大腸癌幹細胞分離による癌幹細胞理解と大腸癌幹細胞の治療標的化	植村 守	消化器外科学1講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
67	脂肪幹細胞・iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患に対する新規肺再生治療法の開発	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
68	悪性髄膜腫に対するWT1ペプチドワクチン療法の開発	平山 龍一	脳神経外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
69	脳内てんかんネットワークのElectrical fingerprintの同定	ケー ウイミン	脳神経外科学講座	505,700	補	独立行政法人日本学術振興会
70	脳深部刺激術におけるclosed-loop systemの応用と脳機能解析	谷 直樹	脳神経外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
71	部分再開通における脳梗塞進展の機序解明と治療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
72	ウルトラファインパブルによる新規難治性骨折・廃用性骨粗鬆症の予防・治療法の開発	蛭名 耕介	運動器再生医学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
73	内軟骨性骨化過程の解明に向けた生体内イメージング手法の確立	海渡 貴司	整形外科科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
74	腎癌の循環腫瘍DNAによる変異プロファイル進化の解明と個別化医療への臨床応用	山本 致之	泌尿器科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
75	トランスポゾンスクリーニング手法を用いた子宮平滑筋肉腫の薬剤耐性の解明	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	832,000	補	独立行政法人日本学術振興会
76	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	1,001,000	補	独立行政法人日本学術振興会
77	リキッドバイオプシーに基づく口腔癌の予防的頸部郭清	鈴木 基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
78	リバーstransレーショナルリサーチによるぶどう膜炎新規診断法の探索	丸山 和一	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
79	深層学習を用いた甲状腺眼症の顔写真診断支援システムの作成	北口 善之	眼科学講座	455,000	補	独立行政法人日本学術振興会

80	中心静脈栄養における代謝異常・肝機能障害とエピジェネティック因子の関連	田附 裕子	小児成育外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
81	自閉症スペクトラムの開こえの問題としての聴覚情報処理障害の検討ならびにその支援	三好 紀子	精神医学講座	975,000	補	独立行政法人日本学術振興会
82	3次元病理診断を可能とする新規染色技術の開発	野島 聡	病態病理学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
83	強皮症モデルマウスにおけるHMGB1による骨髄由来間葉系幹細胞の誘導	植田 郁子	皮膚科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
84	老化に伴うインスリン抵抗性の病態における血管内皮の α シヌクレインの機能の検討	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
85	グリア系細胞におけるタイトジャンクションの意義と神経病態への関与	佐々木 勉	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
86	温度感受性受容体を標的とした多発性硬化症環境因子の解明	木下 允	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
87	うつ病へのrTMS治療の機序を解明し効果予測指標を確立する包括的神経生理学的研究	高橋 隼	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
88	非てんかん性心因性発作に関する実証的研究	岩瀬 真生	精神医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
89	子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層浸潤診断精度に関する多角的解析	坪山 尚寛	放射線医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
90	超高精細CTの新しい肺癌画像解析法の確立:診断能に寄与する画像因子探索とAI解析	梁川 雅弘	放射線医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
91	重粒子線治療における正常組織の晩期障害低減に関する研究	林 和彦	放射線治療学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
92	心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した小児拡張型心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
93	iPS細胞由来ミクログリアーニューロン3次元共培養系による自閉症の病態解析	橘 雅弥	小児発達神経学領域	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
94	ドライバー遺伝子異常に基づいた肝がん個別化薬物療法の構築	巽 智秀	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
95	重症心不全患者のカヘキシー予防のための代謝動態に基づく至適栄養療法の確立	坂本 陽子	循環器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
96	T細胞性免疫調整薬によるがんおよび抗ウイルス免疫療法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
97	外来患者より見出した、低Mg血症、低K血症、高血圧症を伴う家系の分子遺伝学的解析	貝森 淳哉	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
98	皮膚resident memory T細胞の構築・維持機構の解明	細川 玲(渡辺)	皮膚科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
99	皮膚悪性リンパ腫におけるガングリオシドと腫瘍免疫の解明	清原 英司	皮膚科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

100	自己抗体による強皮症発症機構の解明	荒瀬 規子	皮膚科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
101	プロテオミクスが同定するインテグリン α IIb β 3活性化機構から新規抗血小板療法へ	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
102	冠動脈壁・心筋・膝へ異所性脂肪蓄積を来す2型糖尿病臨床像の同定-多施設共同研究-	小澤 純二	糖尿病病態医療学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
103	新規SREBPユビキチンリガーゼの肥満糖尿病及びクッシング症候群における意義解明	奥野 陽亮	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
104	ex vivo腫瘍モデルの構築と腫瘍間質を形成するメカニズムの解明	三吉 範克	消化器外科学2講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
105	次世代新規脊髄膜腫胎児治療の開発ーマイクロデバイスを用いた胎児再生誘導治療	渡邊 美穂	小児成育外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
106	バイオ人工臓器研究における(膜型)レクチンの制御機能の利用	正島 和典	小児成育外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
107	早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	今村 亮一	泌尿器科学講座	1,534,000	補	独立行政法人日本学術振興会
108	INK4 familyタンパク質を標的とした新たな大腸癌治療法の開発	高橋 秀和	消化器外科学2講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
109	免疫モニタリングによる上部消化管がん腫瘍免疫応答機序の解明と個別化治療の確立	牧野 知紀	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
110	敗血症性急性腎傷害の早期発見-尿中酸素分圧を用いた検討-	井口 直也	麻酔・集中治療医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
111	視床破壊術後の上肢近位筋の振戦に対する経皮的電気刺激療法の開発	押野 悟	脳神経外科学講座	546,000	補	独立行政法人日本学術振興会
112	アッセンプロイドによる脳内生態系の再生と重症くも膜下出血治療への応用	西田 武生	脳神経外科学講座	1,391,000	補	独立行政法人日本学術振興会
113	安静時functional MRIによる頸髄症の包括的な予後予測と妥当性検証	武中 章太	整形外科科学講座	1,521,000	補	独立行政法人日本学術振興会
114	リハビリテーションによる末梢神経損傷後の神経可塑性効果の検討	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
115	遺伝子改変ネオアンチゲン特異的T細胞による泌尿器癌個別化免疫療法の開発	加藤 大悟	泌尿器科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
116	前立腺細菌叢に着目した前立腺肥大症発症メカニズムの解明と個別化医療への応用	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
117	DNA損傷応答に着目した機能喪失スクリーニングによる前立腺癌の新規治療法の開発	石津谷 祐	泌尿器科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
118	漢方を用いた妊娠高血圧症候群を対象にしたDrug repositioning研究	味村 和哉	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
119	内因性NF- κ B転写阻害因子MTI-IIによる着床機構の解明と治療効果の検討	三宅 達也	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

120	内因性NF- κ B転写阻害因子MTI-IIによる分婣制御機構の解明と治療効果の検討	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
121	TRPV1チャンネルをターゲットにした前庭障害への治療法の開発	鎌倉 武史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
122	難治性顔面神経麻痺の克服 ～早期診断ツールと神経再生促進薬の開発～	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,007,500	補	独立行政法人日本学術振興会
123	網膜における血管内皮コロニー形成細胞の同定およびその微小環境の解明	崎元 晋	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
124	ナノボア検出器と機械学習をもちいたウイルス性眼疾患におけるウイルスの1分子検出	橋田 徳康	眼科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
125	無虹彩症の病態形成における細胞老化の関与	川崎 諭	眼免疫再生医学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
126	糖尿病網膜症の慢性化制御機構の解明	福嶋 葉子	眼免疫再生医学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
127	フックス角膜炎内皮ジストロフィの発症メカニズムおよびリスクの解析	大家 義則	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
128	メカニカルストレスによる視神経乳頭アストロサイトの生体応答分子機序の解明	松下 賢治	眼科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
129	高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	山本 和義	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
130	視覚障害原因疾患の視機能回復のための人工視覚の低侵襲電気刺激法の開発	西田 健太郎	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
131	膝癌における骨格筋と癌微小環境の相互作用の解明と予後改善を目指した治療への応用	岩上 佳史	消化器外科学2講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
132	大腸癌におけるエビゲノムを標的とした新規治療法開発と免疫回避機構阻害への応用	波多 豪	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
133	乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	阿部 かおり	乳腺・内分泌外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	難治がんに有望ながん免疫effector T細胞特性の基盤的解明と細胞治療開発	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	環状RNAによるバイオマーカーとしての有用性の検討と新規核酸治療法の開発	田中 晃司	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
136	血漿及びエクソソームを用いたメタボロミクス解析によるフレイルバイオマーカーの探索	横山 世理奈	老年・総合内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	アルギニンメチル化異常が与えるALS病態の解明と新規病態関連因子の同定	池中 建介	神経内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	老化に伴う認知・運動障害における、嗜銀顆粒の総合的研究	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	PETのFBPA集積と病理所見での効果予測を併用した肉腫BNCTの基盤研究	磯橋 佳也子	核医学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会

140	乳癌術前化学療法後病理学的完全奏功のRadiogenomics予測モデルの構築	徳田 由紀子	放射線医学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	大腸癌進展における線維芽細胞の促進化/抑制化機能のスイッチ機構の解明	林 義人	消化器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	NEDD化修飾を介した心筋細胞ストレス耐性機構の解明と創薬標的の同定	木岡 秀隆	循環器内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	脂質異常症が高血圧や高血圧性腎障害を増強する新規メカニズムの解明	野里 陽一	老年・総合内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	次世代プロテオミクスが紐解く個別化医療に有用なPF-ILDの新規BM開発	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	難波 倫子	腎臓内科学講座	1,495,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	表皮の構造動態生物学	石塚 洋典	アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
147	PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	水井 理之	腎臓内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
148	末梢動脈疾患・包括的高度慢性下肢虚血の病態進展における糖尿病の影響の解明	高原 充佳	内分泌・代謝内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
149	血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	小林 祥子	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
150	生細胞染色法を用いた乳癌の乳房温存手術の切除断端に対する術中迅速診断の確立	多根井 智紀	乳腺・内分泌外科学講座	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
151	神経芽腫に対する腫瘍溶解ウイルスと抗GD2抗体を併用した相補的治療法の開発	野村 元成	小児成育外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
152	肝胆膵領域癌の浸潤過程における、周囲環境細胞との相互干渉の解析と制御	小林 省吾	消化器外科学2講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
153	自己筋芽細胞シート移植による肝不全に対する新規再生医療の開発	富丸 慶人	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
154	GIST新規治療を目指したTKI併用のHSP90阻害剤の効果とその機序の解明	高橋 剛	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
155	末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	高橋 秀典	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
156	異化関連サイトカイン/受容体を標的とした食道癌の集学的周術期介入	山下 公太郎	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
157	ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
158	肺癌の間質形成と肺線維化における線維芽細胞を標的とした新規免疫療法の基盤確立	木村 亨	呼吸器外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
159	網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	中村 洋平	救急医学講座	1,495,000	補	独立行政法人日本学術振興会

160	中枢性脳卒中後疼痛に対する脊髄刺激療法の中 枢神経内除痛機序の解明	細見 晃一	脳神経外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
161	膠芽腫の腫瘍特異的抗原の検索とCAR-T療法への 応用	木嶋 教行	脳神経外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
162	くも膜下出血に対する大脳オルガノイドの経動脈的 投与による再生法の開発	寺田 栄作	脳神経外科学講座	1,156,576	補	独立行政法人日本学術振興会
163	脳血管内治療に対するAdjuvant Synbioticsの開発	高垣 匡寿	脳神経外科学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
164	悪性脳腫瘍に対する免疫逃避現象を克服した複合 的免疫療法とバイオマーカーの開発	香川 尚己	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
165	人工知能による深層学習を利用した特発性側弯症 の進行予測	藤森 孝人	整形外科科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
166	融合遺伝子のエピゲノム制御メカニズムの解明と融 合遺伝子制御療法の開発	王谷 英達	整形外科科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
167	生活習慣による代謝物プロファイル変化を介する前 立腺癌の増殖制御	波多野 浩士	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
168	シングルセル解析による子宮頸部異型上皮の病勢 進行の機序解明と新規マーカーの探索	木村 敏啓	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
169	網羅的解析を通じた卵巣癌特異的な環状RNAの同 定とその役割の解明	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
170	PDXとドラッグスクリーニングによるARID1A変異婦 人科がんの個別化医療開発	木瀬 康人	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
171	多光子励起顕微鏡を用いた緑内障モデルのアスト ロサイト酸化システム生体観察	臼井 審一	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
172	水素による皮膚・軟部組織内酸化ストレスの制御：難 治性潰瘍に対する新規治療法の開発	富田 興一	形成外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
173	アディポネクチンと新たな生理活性内因子子エク ソソームに関する研究	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講 座	7,800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
174	癌転移に関与するRNA修飾メカニズムの解明と新規 治療法の開発	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	10,920,000	補	独立行政法人日本学術振興会
175	世界初のヒト嗅覚に基づく匂い分析技術による心不 全予後予測バイオマーカーの探索	小関 正博	循環器内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
176	臍帯血を用いた新しいCAR-NK細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
177	膵がん幹細胞に特異的な細胞外小胞の設と中身の 情報による診断性能の最高化	石井 秀始	疾患データサイエンス 学共同研究講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
178	Adipose shrinkageの慢性炎症制御機構の解明	森井 英一	病態病理学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
179	自閉スペクトラム症における異常伸長リピート翻訳の 病的意義	森 康治	精神医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

180	重症心不全に潜む不整脈源性心筋症を診断するバイオマーカーの開発	坂田 泰史	循環器内科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
181	癌微小環境の形質的・空間的多様性を介したがん細胞クローン拡大機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
182	革新的動物モデルを用いた宿主免疫疫弊誘導によるHBV生存戦略の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
183	ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	新谷 康	呼吸器外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
184	眼底画像から高血圧発症予測・血圧値推定・治療予後予測を実現する『逆転の発想』	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
185	スポーツ運動器疾患への臍帯由来間葉系幹細胞活用の検討	中田 研	(医医)スポーツ医学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
186	ヒト内軟骨性骨化モデルに於ける成長軟骨帯形成メカニズムの解明	木村 武司	小児科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
187	ランレオチド治療効果予測による先端巨大症の個別化医療の確立	向井 康祐	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
188	MELF patternの網羅的遺伝子解析による類内膜癌の浸潤メカニズムの研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
189	がん組織の生体イメージングを用いた浸潤メカニズムおよび責任因子の解明	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
190	安静時脳波を用いたレビー小体型認知症の診断・予後予測に関する有用性の実証研究	畑 真弘	精神医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
191	独居という生活環境が軽度認知障害患者の脳機能に及ぼす経時的影響について	末廣 聖	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
192	間質性肺炎および肺気腫におけるO15-PETを用いた肺血流量測定	松永 恵子	医薬分子イメージング学共同研究講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
193	患者検体を用いて血中エクソソームPD-L1の放射線治療抵抗性への関わりを検討する	玉利 慶介	放射線治療学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
194	深層学習ネットワークを用いた、高リスク前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	平田 岳郎	放射線治療学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
195	Clonal hematopoiesis による腫瘍微小環境の変化と放射線抵抗性	立川 章太郎	放射線治療学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
196	C型慢性肝疾患における肝発がんおよび肝線維化に関与する新規バイオマーカーの探索	田畑 優貴	消化器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
197	血液悪性疾患における腸内細菌叢メタゲノム解析と疾患リスク・予後予測モデルの構築	草壁 信輔	血液・腫瘍内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
198	組織脱細胞化と自己由来膀胱細胞の分化誘導による機能的再生膀胱組織の開発	出口 幸一	小児成育外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
199	炎症性腸疾患における自然リンパ球を介した自己免疫寛容とその破綻機構の解明	荻野 崇之	消化器外科学2講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

200	脳神経蘇生における脳循環の理解と機械学習を利用した治療戦略の開発	舘野 丈太郎	救急医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
201	腎移植拒絶反応における補体制御に関する探究的研究	山中 和明	泌尿器科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
202	ocular surfaceの安定化に関わるマイクロバイオームのメタゲノム解析	浅尾 和伸	眼科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
203	網膜内層シナプスリモデリングの解明と緑内障治療への応用	河嶋 瑠美	眼科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
204	hiPS細胞シングルセル蛍光イメージングによる眼発生初期のRAX遺伝子の機能解明	小林 礼子	眼科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
205	パーキンソン病に対する再生誘導療法の確立	木村 康義	神経内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
206	細胞外小胞に内包される神経・グリア特異蛋白を用いた認知症血液バイオマーカーの開発	赤嶺 祥真	精神医学講座	1,267,304	補	独立行政法人日本学術振興会
207	高齢発症の精神病患者の背景疾患による分類と有効な治療法の検証	鐘本 英輝	精神医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
208	造影CTを用いた細胞外容積分画(ECV)による膀胱癌の腫瘍評価と膀胱癌との関係	福井 秀行	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
209	骨形成不全症モデルマウスの作製と4-フェニル酪酸の効果と作用機序の検証	武鐘 真司	小児科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
210	早期食道癌に対する化学療法の効果予測因子の探索と低侵襲治療の開発	辻井 芳樹	消化器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
211	炎症性腸疾患における脳腸相関の機序の解明	良原 丈夫	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
212	腎臓の老化におけるp53とオートファジーの協調的なDNA損傷応答機構の解明	山本 毅士	腎臓内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
213	糸球体上皮細胞におけるRho-GTPase制御機構を解明する	松田 潤	腎臓内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
214	顕性遺伝型栄養障害型表皮水疱症へのCRISPR-Cas3の治療応用	森坂 広行	皮膚科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
215	血中T-カドヘリンの存在様式と生理的意義の解明	福田 士郎	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
216	代謝性血管障害における肝由来XORと脂肪由来アディポネクチンの意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
217	脂肪細胞由来ケトン体による脂肪細胞機能の制御および恒常性維持機構の解明	西谷 重紀	ライフスタイル医学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
218	股関節X線画像から大腿骨近位部骨密度を推定するシステムの構築	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
219	三次元解析技術を用いた骨内部性状及び軟骨構造分析:小児肘関節障害への応用	宮村 聡	整形外科科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

220	老化に伴うコラーゲン架橋形成に着目した半月板の老化メカニズム解明	辻井 聡	運動器スポーツバイオメカニクス共同研究講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
221	子宮平滑筋肉腫におけるKIF4Aの腫瘍増殖に与える影響の解明と新規治療法の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
222	マウス卵管オルガノイドを用いた、安価でスピーディな新規卵巣がんマウスモデルの樹立	中村 幸司	産科学婦人科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
223	HPV関連中咽頭癌に対する複数体液を組み合わせたリキッドバイオプシーの意義	田中 秀憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
224	粗ぞう性嗄声における音響学的多様性とその発声機構の解明	細川 清人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
225	ウェアラブルデバイスを用いたスポーツ活動中の心臓活動モニタリング法の検討	横山 光樹	(医医)スポーツ医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
226	生活習慣因子と各臓器における異所性脂肪蓄積についての網羅的解析	馬殿 恵	ライフスタイル医学寄附講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	ヒト骨髄線維症において造血幹細胞移植により骨髄の造血支持能が回復する機序の解明	倉重 真沙子	病態病理学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
228	髄液中の凝集抑制因子による新規パーキンソン病治療開発	角田 溪太	神経内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
229	HLAクラスII分子による α シヌクレインの細胞外輸送	大菌 達彦	神経内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
230	マイクロRNA発現異常による胃発癌機構の解明	加藤 穰	消化器内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
231	骨形成不全症特異的破骨細胞機能亢進を標的とした新規治療法の開発	大幡 泰久	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
232	シングルセルシーケンスを用いたB型慢性肝炎治療に関わる新たな免疫機構の解明	西尾 啓	消化器内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
233	B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス共感染時における線維化進展加速機構の解明	村井 一裕	消化器内科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
234	悪液質における腓膵と脂肪の相互作用の解明	佐藤 克彦	消化器内科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
235	心房細動患者に対する抗凝固療法の最適化:複数レジストリデータの大規模統合解析	外海 洋平	循環器内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
236	心臓におけるミトコンドリア分解制御機構の解明と心不全治療薬創薬に向けた基礎的検討	村川 智一	循環器内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
237	Apoptosis由来膜小胞に着目したCOVID-19重症化メカニズムの解明	加藤 保宏	呼吸器・免疫内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
238	顆粒球の死を誘導する免疫ガイド分子の機能解明と免疫難病への治療応用	西出 真之	呼吸器・免疫内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
239	膵 β 細胞内脂肪酸代謝を切り口としたDOHaD学説の検証と糖尿病再生医療への応用	佐々木 周伍	内分泌・代謝内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

240	臓器移植における新規免疫寛容誘導法の開発	佐々木 一樹	消化器外科学2講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
241	クローン病特有の変化を伴う腸管膜内の自然免疫細胞内の細菌群に着目した病態解明研究	関戸 悠紀	消化器外科学2講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
242	重度肺傷害モデルのウサギによる人工呼吸器中の自発呼吸が横隔膜に与える影響について	小山 有紀子	麻酔・集中治療医学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
243	悪性骨軟部腫瘍におけるEZH2阻害剤の抗腫瘍メカニズムの解明	伊村 慶紀	整形外科科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
244	難治性骨炎を伴う好酸性副鼻腔炎に対する新規治療法の開発	津田 武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
245	右優位萎縮型意味性認知症の背景病理の内訳と病理ごとの臨床特徴の解明	佐藤 俊介	精神医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
246	膵β細胞分化・成熟過程における細胞内エネルギー代謝様式変化の解明	佐々木 周伍	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
247	Bcl2-L-13の心臓におけるマイトファジー制御機構の解明と創薬への応用	村川 智一	循環器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
248	intravitalイメージング技術を用いた幹細胞の心筋修復効果の検証	松浦 良平	心臓血管外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
249	成人脊柱変形のQOL、治療効果を最適に評価できる疾患特異的尺度の開発	藤森 孝人	整形外科科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
250	腎炎モデルマウスを用いたmRNAワクチンによる抗原特異的免疫寛容誘導治療法の開発	郡山 弘	老年・総合内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
251	パーキンソン病におけるマルチモダリティ幻覚の共通基盤の解明	梶山 裕太	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
252	アジアの神経発達症～表現型・背景因子・重症度と予後に関する共同レジストリ研究	橘 雅弥	小児発達神経学領域	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
253	生命科学連携推進協議会	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	234,000	補	独立行政法人日本学術振興会
254	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	3,970,200	補	独立行政法人日本学術振興会
255	COPDにおける身体非活動と認知機能障害の併存病態の解析システム構築	高橋 隼	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
256	EphA2標的抗体を用いた、がんラジオセラノスティクス薬の開発研究	渡部 直史	核医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
257	治療・診断統合による次世代ドラッグデリバリー可視化システムの実証	加藤 弘樹	核医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
258	学校における児童生徒の突然死の実態解明と発生予防に向けた疫学研究	中田 研	(医医)スポーツ医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
259	子宮頸部小細胞癌の臨床病理学的解析と治療抵抗性メカニズムの解明	上田 豊	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

260	新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	森 康治	精神医学講座	5,980,000	補	独立行政法人日本学術振興会
261	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
262	多領域検体・多層オミックス解析で多様性を凌駕する真の肝内胆管がん治療標的の同定	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
263	血液/尿中キララミノ酸の網羅的定量を基盤とする腎不全の早期低侵襲診断鑑別法開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
264	小児てんかんQOL評価尺度QOLCE-J超短縮版の開発とICTへの適応	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
265	ミトコンドリアフェリチンによるミトコンドリア機能維持と疾患発生の分子機序	濱崎 万穂	遺伝学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
266	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	坂田 泰史	循環器内科学講座	97,500	補	独立行政法人日本学術振興会
267	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	大谷 朋仁	循環器内科学講座	97,500	補	独立行政法人日本学術振興会
268	悪性黒色腫の標的α線治療を指向するAt-211標識薬剤開発	渡部 直史	核医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
269	抗EGFR抗体獲得耐性大腸癌におけるMUC1-Cを標的とした適応型治療の開発	植村 守	消化器外科学1講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
270	肝胆膵領域癌における転移・浸潤・治療抵抗性に関する分子機構の解明	山田 大作	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
271	網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
272	網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
273	網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
274	網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	三好 愛	産科学婦人科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
275	網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	木村 敏啓	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
276	保健師を中心に地域に広げる子宮頸がん予防対策の普及プログラム	上田 豊	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
277	画像・音声認識と料理データベースによる食事記録システム開発、及び疫学研究での応用	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
278	高リスク心疾患に対する栄養・加齢・幹細胞の炎症への影響と組織再生能評価	宮川 繁	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
279	創傷治癒過程における皮膚創部の酸化ストレス耐性獲得機構の解明	久保 盾貴	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

280	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	小川 和彦	放射線治療学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
281	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	江口 英利	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
282	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望	林 和彦	放射線治療学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
283	PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	渡部 直史	核医学講座	209,300	補	独立行政法人日本学術振興会
284	超音波イムノモジュレーションによるリンパ球浸潤促進に基づく革新的がん治療法の開発	小山 正平	呼吸器・免疫内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
285	脂肪細胞由来幹細胞exosomeを用いた新規cell-free心筋再生療法の開発	宮川 繁	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	AI画像解析を活用した集団レベルの食事評価を目的とする調査法の開発・検証	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
289	人工関節患者の筋骨格動態四次元認識システムの開発	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	人工関節患者の筋骨格動態四次元認識システムの開発	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	日常生活の持続的視覚支援のための眼を見守るスマートグラスの開発	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	膵がんメチオームマーカーとしてのNNMT代謝物の有効性	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	網膜厚と遺伝環境因子による孤発性晩期発症型アルツハイマー病前臨床期診断法の確立	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	朝野 仁裕	医化学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	PNHクローンの起源と変遷	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
296	PNHクローンの起源と変遷	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
297	出産の危機状況を医療、女性の身体、子供の命の視点から解明するエスノグラフィ研究	木村 正	産科学婦人科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
298	IoT機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
299	ミトコンドリア分解制御機構の解明と心不全創薬への応用	種池 学	循環器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

300	変異KITの細胞内局在異常の阻害による新しいGIST治療法の基盤的開発	高橋 剛	消化器外科学2講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
301	認知症高齢者の「食べる喜び」を重視したエンドオブライフ・ケアガイドの開発	池田 学	精神医学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
302	精子を介して受精卵(胚)発生能に関わる精漿内細菌叢の探索	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
303	精子を介して受精卵(胚)発生能に関わる精漿内細菌叢の探索	木村 正	産科学婦人科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
304	油脂の嗜好性が肥満を誘導する機構と肥満を抑制する機構	佐々木 勉	神経難病認知症探索治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
305	糖尿病や加齢が認知症の後天的危険因子である分子メカニズムの多角的解明	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
306	人生100年時代に応えるインプラント材料の探索	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
307	機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	玉城 雅史	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
308	3次元医用画像からの臓器自動抽出:人工知能が出力する確信度は精度改善に有用か?	大西 裕満	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
309	ブータンに暮らす高齢者の健康を守るための創造型地域研究	坂本 陽子	循環器内科学講座	1,431,718	補	独立行政法人日本学術振興会
310	妊婦における新型コロナウイルス感染の解析	木村 正	産科学婦人科学講座	975,000	補	独立行政法人日本学術振興会
311	統合シークエンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	藤本 学	皮膚科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
312	統合シークエンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	奥野 龍禎	神経内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
313	At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高い α 線治療法の創出	渡部 直史	核医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
314	BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
315	放射線治療効果向上を目指した新規細胞標的~インフルエンサー~セルの探索~	清水 伸一	重粒子線治療学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
316	皮質脳波BMIのニューロリハビリテーションへの応用	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
317	iPS細胞由来心筋exosomeを用いた新規cell-free心臓再生療法の開発	河村 拓史	心臓血管外科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
318	高リスク前立腺癌におけるフコシル化タンパクの解析及び革新的治療法の開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
319	遺伝性網膜・視神経ジストロフィの症例収拾および疾患別頻度の検討	松下 賢治	眼科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

320	異分野連携によるα線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	渡部 直史	核医学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
321	デジタルバイオマーカーとAIを基盤としたパーソナライズ型認知症予防プログラム開発	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
322	がん組織を用いたマルチオミックス解析による個別化医療開発プラットフォームの構築	加藤 大悟	泌尿器科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
323	日常生活におけるアルツハイマー病治療のための頭部搭載型無知覚光刺激デバイスの開発	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
324	PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
325	オンラインで語用能力を評価する「ことばのつかいかたテスト」標準化と実施サイト構築	橘 雅弥	小児発達神経学領域	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
326	脳波・脳磁図を用いたAI解析による統合失調症の診断・重症度評価法の開発	池田 学	精神医学講座	100,000	補	独立行政法人日本学術振興会
327	脳波・脳磁図を用いたAI解析による統合失調症の診断・重症度評価法の開発	畑 真弘	精神医学講座	100,000	補	独立行政法人日本学術振興会
328	早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
329	早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	難波 倫子	腎臓内科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
330	栄養療法による小児がん患者の健康保持増進と晩期合併症予防効果の検討	橘 真紀子	小児科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
331	Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	出口 幸一	小児成育外科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
332	Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
333	LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
334	LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	中川 慧	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
335	LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
336	LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	木村 敏啓	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
337	氷晶径を制御した新規凍結乾燥技術および凍結乾燥細胞の生存率向上	木村 正	産科学婦人科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
338	多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	木村 正	産科学婦人科学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
339	尿中エクソソームのPreeclampsia早期診断バイオマーカー有用性の検討	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

340	尿中エクソソームのPreeclampsia早期診断バイオマーカー有用性の検討	中村 幸司	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
341	時の流れの神経基盤	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
342	腸内細菌による新たな脳動脈瘤破裂予防法の開発	中村 元	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
343	MR画像による脳内老廃物排出経路としてのくも膜下腔フルイドダイナミクス検討	ケー ウイミン	脳神経外科学講座	221,000	補	独立行政法人日本学術振興会
344	髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
345	髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	平山 龍一	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
346	髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	木嶋 教行	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
347	軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	釜江 和恵	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
348	次世代がん免疫療法に資するバルミチン酸代謝による骨髄由来免疫抑制細胞の制御	小山 正平	呼吸器・免疫内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
349	臨床がんの遺伝子情報維持に必要な物理化学的因子の解明とがん個別化医療への応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
350	膵がんメチロームの総体解明と制御法開発	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
351	食道癌における腫瘍関連リンパ球の役割	和田 尚	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	585,000	補	独立行政法人日本学術振興会
352	重症病態の腸内細菌を介した新規腸管バリア・免疫能の解析と腸内細菌叢再構築法の確立	小倉 裕司	救急医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
353	敗血症の炎症最適化のためのマーカーと分子病態分類の解明:HIVEP1の臨床応用	小倉 裕司	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
354	新規抗酸化製剤を用いた頭部外傷後の神経機能回復に関する研究	小倉 裕司	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
355	シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	小倉 裕司	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
356	トランスクリプトームを用いた心停止の分子ネットワーク病態の解明と神経予後予測	小倉 裕司	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
357	ナノボア技術と機械学習を用いた新たな微生物迅速診断検査系の確立	小倉 裕司	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
358	網羅的生体分子情報に基づく重症熱傷病態の中心的分子解明と新規治療薬開発	小倉 裕司	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
359	統合解析に基づくARDSの全身免疫と肺局所免疫の免疫分子病態解明	小倉 裕司	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会

360	脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	小倉 裕司	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
361	ホウ素中性子捕捉療法における窒化ホウ素粒子の細胞内分布と治療効果の検証	渡部 直史	核医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
362	紫外光反応によるアスタチン核医学薬剤の新規合成法開発	渡部 直史	核医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
363	がんの特異性の高いFBPAとFDGのPETを用いた免疫療法効果判定と副作用予測	渡部 直史	核医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
364	VR(バーチャルリアリティ)を用いた解剖学運動学教育の教育効果研究	玉城 雅史	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
365	大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	王谷 英達	整形外科科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
366	末梢神経損傷後にシュワン細胞と血管内皮細胞間で働く接着分子の解明	岡 久仁洋	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
367	大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
368	末梢神経損傷後にシュワン細胞と血管内皮細胞間で働く接着分子の解明	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
369	地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
370	腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	難波 倫子	腎臓内科学講座	104,000	補	独立行政法人日本学術振興会
371	高分子薬の有効化に寄与する癌微小環境改善薬の開発	江口 英利	消化器外科学2講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
372	術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	田中 晃司	消化器外科学2講座	1,433,331	補	独立行政法人日本学術振興会
373	遺伝子改変マウスを用いたLrig1による癌幹細胞維持機構の解明	高橋 秀和	消化器外科学2講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
374	食道癌における腫瘍関連Bリンパ球の役割	牧野 知紀	消化器外科学2講座	585,000	補	独立行政法人日本学術振興会
375	1型糖尿病に対する脂肪由来幹細胞を用いた新規膵島移植療法の開発	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
376	1型糖尿病に対する脂肪由来幹細胞を用いた新規膵島移植療法の開発	富丸 慶人	消化器外科学2講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
377	食道癌におけるFn14発現と治療抵抗性・悪性度との関連について	山下 公太郎	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
378	食道癌におけるFn14発現と治療抵抗性・悪性度との関連について	山本 和義	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
379	AI liquid biopsyが駆動する膵癌微小環境多様性解析と治療抵抗性打破	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

380	大腸癌における特異的な新規がん関連線維芽細胞マーカーの同定	三吉 範克	消化器外科学2講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
381	グルタミン代謝を標的とした膵癌における老化細胞除去と薬剤耐性の克服	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
382	グルタミン代謝を標的とした膵癌における老化細胞除去と薬剤耐性の克服	岩上 佳史	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
383	肝内胆管癌におけるIL-33の腫瘍周囲環境への影響の検討	山田 大作	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
384	肝癌微小環境における腫瘍関連マクロファージを中心とした細胞間相互作用の解明	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
385	軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	池田 学	精神医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
386	MR画像による脳内老廃物排出経路としてのくも膜下腔フルイドダイナミクス検討	吉山 顕次	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
387	アルツハイマー病超早期診断・病態進行予測マーカーの開発	吉山 顕次	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
388	アルツハイマー病超早期診断・病態進行予測マーカーの開発	森 康治	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
389	アルツハイマー病超早期診断・病態進行予測マーカーの開発	池田 学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
390	術前データと脳波から心臓外科領域のせん妄発生を予測する機械学習モデルの開発	池田 学	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
391	術前データと脳波から心臓外科領域のせん妄発生を予測する機械学習モデルの開発	畑 真弘	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
392	ビタミンD補充によるサルコペニア治療の可能性を探る	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
393	高齢者糖尿病のオートファジー機能を反映するバイオマーカーの確立と標的治療法の開発	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
394	高齢者糖尿病のオートファジー機能を反映するバイオマーカーの確立と標的治療法の開発	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
395	血漿及びエクソソームを用いたメタボロミクス解析によるフレイルバイオマーカーの探索	山本 浩一	老年・総合内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
396	血漿及びエクソソームを用いたメタボロミクス解析によるフレイルバイオマーカーの探索	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
397	新生児気管支肺異形成症を対象とした生体組織再生誘導医薬開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
398	HMGB1ペプチドを用いた末梢血間葉系幹細胞動員による腎線維化の抑制	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
399	高齢者ケア事業所職員の感染対策リテラシー向上を目指した地域横断的プログラムの構築	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

400	HMGB1ペプチドを用いた末梢血間葉系幹細胞動員による腎線維化の抑制	山中 和明	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
401	腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
402	腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
403	腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	山中 和明	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
404	腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
405	腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	中澤 成晃	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
406	尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
407	尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
408	Gut-kidney axisを介した夜間多尿の新規治療法確立	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
409	Gut-kidney axisを介した夜間多尿の新規治療法確立	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
410	生活習慣病共通増悪因子として機能するマスターレギュレーター物質の探索	片上 直人	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
411	新規治療戦略を見据えた膵α細胞機能とDPP-4発現の病態学的解析	片上 直人	内分泌・代謝内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
412	乳癌の血管擬態を標的とした新規治療法の開発	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
413	脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	福田 士郎	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
414	水素による移植組織内酸化ストレスの制御と生着率向上への試み	富田 興一	形成外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
415	強度変調炭素イオン線治療実現に向けた基礎的検討	玉利 慶介	放射線治療学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
416	クラウドを利用した全国的な放射線治療情報の集積・解析システムの構築	小川 和彦	放射線治療学講座	169,000	補	独立行政法人日本学術振興会
417	機能亢進型GNAS変異マウスを用いた線維性骨異形成症の病態解明と創薬展開	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
418	多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	273,000	補	独立行政法人日本学術振興会
419	新規実験システムを用いた血小板インテグリンシグナル制御機構の解析とその応用	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

420	肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	新谷 康	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
421	肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	87,744	補	独立行政法人日本学術振興会
422	肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	狩野 孝	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
423	肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	大瀬 尚子	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
424	肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
425	疾患特異的iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解明と治療法の探索	河村 拓史	心臓血管外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
426	変形性関節症に対する間葉系間質細胞由来セレクトーム治療における作用機序の解明	辻井 聡	運動器スポーツバイオメカニクス共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
427	氷晶径を制御した新規凍結乾燥技術および凍結乾燥細胞の生存率向上	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
428	多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
429	看護師を中心としたmultimorbidityに対する最適な介入方法の探索	武田 理宏	医療情報学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
430	大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	武田 理宏	医療情報学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
431	リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	武田 理宏	医療情報学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
432	成人期摂食機能不全をもたらす口腔機能発達期のストレスによる視床下部エピゲノム記憶	毛利 育子	小児発達神経学領域	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
433	口腔顔面痛と睡眠障害の悪循環を断ち切る視床下部Orexin経路に対する性差の影響	毛利 育子	小児発達神経学領域	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
434	術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	吉岡 大輔	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
435	LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	三好 愛	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
436	乳癌原発巣におけるESR1遺伝子変異の高感度検出	増永 奈苗	乳腺・内分泌外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
437	骨異方性誘導のための「異方性の材料科学」の構築	岡田 誠司	整形外科科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
438	血液脳関門を介さない皮膚から脳への新規薬剤輸送機構の解明	望月 秀樹	神経内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
439	膝がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

440	膝がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
441	複数組織の異種界面接合の科学的理解と運動器モデルの生体外構築	宮川 繁	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
442	LIMK2に注目した、肥厚性瘢痕・ケロイドのコントロール	久保 盾貴	形成外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
443	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	西田 幸二	眼科学	24,000,000	補	厚生労働省
444	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	藤本 学	皮膚科学	8,549,000	補	厚生労働省
445	生まれ年度によるHPVワクチン接種環境の違いに着目した子宮頸がん罹患リスクの評価・子宮頸がん検診受診勧奨手法の開発とHPVワクチンの有効性評価	上田 豊	産科学婦人科学	9,997,000	補	厚生労働省
446	ホルモン受容機構異常に関する調査研究	大菌 恵一	小児科学	11,068,000	補	厚生労働省
447	HIV陽性者に対する精神・心理的支援のための身体科主治医と精神科専門職の連携体制構築に資する研究	池田 学	精神医学	8,731,000	補	厚生労働省
448	認知症の家族のための「パーソナルBPSDケア電子ノート」と「疾患別認知行動療法プログラム」の開発と効果検証のための研究	池田 学	精神医学	12,030,000	補	厚生労働省
449	認知症者の在宅生活を維持する非訪問型の生活評価・介入システムの標準化に関する研究	池田 学	精神医学	16,640,000	補	厚生労働省
450	国や都道府県が循環器病対策に関する計画を策定する際に利用可能な指標の設定、及び新型コロナウイルス感染症による循環器病への影響の評価のための研究	岡田 佳築	変革的医療情報システム開発学(日本財団)寄附講座	11,999,000	補	厚生労働省
451	先天性骨系統疾患の医療水準と患者QOLの向上を目的とした研究	窪田 拓生	小児科学	15,990,000	補	厚生労働省
452	呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	300,000	補	厚生労働省
453	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	海渡 貴司	整形外科科学	250,000	補	厚生労働省
454	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	大家 義則	眼科学	500,000	補	厚生労働省
455	MECP2重複症候群及びFOXG1症候群、CDKL5症候群の臨床調査研究	青天目 信	小児科学	300,000	補	厚生労働省
456	稀少てんかんに関する包括的研究	青天目 信	小児科学	600,000	補	厚生労働省
457	腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)対策の推進に資する研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	1,000,000	補	厚生労働省
458	腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築	猪阪 善隆	腎臓内科学	400,000	補	厚生労働省
459	難治性腎障害に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	750,000	補	厚生労働省

460	妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	木村 正	産科学婦人科学	500,000	補	厚生労働省
461	原発性脂質異常症に関する調査研究	小関 正博	循環器内科学	200,000	補	厚生労働省
462	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫アレルギー内科学	200,000	補	厚生労働省
463	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	150,000	補	厚生労働省
464	自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科学	1,000,000	補	厚生労働省
465	難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	300,000	補	厚生労働省
466	特発性心筋症に関する調査研究	坂田 泰史	循環器内科学	300,000	補	厚生労働省
467	子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向けた実際の運用と課題の検討のための研究	上田 豊	産科学婦人科学	300,000	補	厚生労働省
468	特発性造血障害に関する調査研究	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学	450,000	補	厚生労働省
469	循環器病対策推進基本計画に基づいた、都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	坂田 泰史	循環器内科学	2,000,000	補	厚生労働省
470	ミトコンドリア病、レット症候群の調査研究	青天目 信	小児科学	500,000	補	厚生労働省
471	新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究	青天目 信	小児科学	600,000	補	厚生労働省
472	エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究	渡部 健二	医学科教育センター	900,000	補	厚生労働省
473	標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究	福原 慎一郎	泌尿器科学	1,000,000	補	厚生労働省
474	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	望月 秀樹	神経内科学	700,000	補	厚生労働省
475	妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	味村 和哉	産科学婦人科学	500,000	補	厚生労働省
476	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	濱田 英敏	運動器医工学治療学寄附講座	100,000	補	厚生労働省
477	『AIの眼』による医療安全確保に関する研究	川崎 良	視覚情報制御学寄附講座	1,500,000	補	厚生労働省
478	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	望月 秀樹	神経内科学	3,000,000	補	厚生労働省
479	認知症診療医のための「特発性正常圧水頭症の鑑別診断とアルツハイマー病併存診断、および診療連携構築のための実践的引き書と検査解説ビデオ」作成研究	鐘本 英輝	精神医学	2,000,000	補	厚生労働省

480	認知症診療医のための「特発性正常圧水頭症の鑑別診断とアルツハイマー病併存診断、および診療連携構築のための実践的引き書きと検査解説ビデオ」作成研究	森 悦朗	行動神経学・神経精神医学寄附講座	3,500,000	補	厚生労働省
481	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	向井 康祐	内分泌・代謝内科学	200,000	補	厚生労働省
482	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	500,000	補	厚生労働省
483	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	200,000	補	厚生労働省
484	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	150,000	補	厚生労働省
485	言語聴覚士等による人工内耳・補聴器装用者等に対する遠隔医療の体制整備のための研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	500,000	補	厚生労働省
486	慢性腎臓病(CKD)患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	500,000	補	厚生労働省
487	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	江口 英利	消化器外科学1	200,000	補	厚生労働省
488	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	松田 陽一	麻酔・集中治療医学	200,000	補	厚生労働省
489	新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充/創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫アレルギー内科学	19,500,000	補	厚生労働省
490	併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究	山本 浩一	老年・腎臓内科学	650,000	補	厚生労働省
491	相同組換え修復遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の固形がん患者に対するNiraparibおよびPD-1阻害剤併用療法の奏功予測マーカーに関する研究	加藤 大悟	泌尿器科	33,576,840	委	武田薬品工業株式会社
492	疾患修飾薬を使用中のMS患者におけるSARS-CoV-2ワクチンに対する免疫応答	奥野 龍禎	神経内科学	3,900,000	委	バイオジェン・ジャパン株式会社
493	PET呼吸同期法に関する研究	加藤 弘樹	核医学	1,274,000	委	シーメンスヘルスケア株式会社
494	抗PD-1抗体治療後のラムシルマブ+ドセタキセル併用療法の抗腫瘍効果を血中抗PD-1抗体結合T細胞プロファイリングを用いて評価する多施設共同前向き観察研究	白山 敬之	呼吸器・免疫内科学	550,550	委	日本イーライリリー株式会社
495	「栄養障害型表皮水疱症患者を対象としたS-005151の難治性潰瘍に対する有効性を評価するための第2相多施設共同非盲検非対照試験」における瘻痕の改善の程度を指標とする有効性評価	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	58,500	委	塩野義製薬株式会社
496	周産期重症型、周産期良性型および乳児型HPP患者を対象としたストレンジック®特定使用成績調査と周産期情報のデータ連結による臨床所見・検査所見の後方視的検討	窪田 拓生	小児科学	30,000	委	株式会社リニカル
497	遺伝学的検査に関する報告書作成支援	山本 賢一	遺伝統計学	5,093	委	公益財団法人かずさDNA研究所
498	発達障害児(者)支援業務	谷池 雅子	附属子どものこころの分子統御機構研究センター	14,495,000	委	堺市
499	さかいっこひろばにおける発達障害児支援業務	谷池 雅子	附属子どものこころの分子統御機構研究センター	14,000,000	委	堺市

500	フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	楽木 宏実	老年・総合内科学	600,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
501	陽子線治療高精度技術の標準化と評価方法の確立	清水 伸一	重粒子線治療学寄附講座	150,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
502	筋レポジトリーの拡充とそれを活用した筋ジストロフィー関連疾患の病態解明と診断・治療法開発	中森 雅之	神経内科学	400,000	委	国立精神・神経医療研究センター (NCNP)
503	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
504	眼科学関連分野に関する学術研究動向 -分野横断的アプローチによる眼疾患克服の動向と展望-	西田 幸二	眼科学	1,560,000	委	(独) 日本学術振興会
505	新型コロナウイルス感染症が救急医療体制並びに搬送困難例発生に与えた影響評価	織田 順	救急医学講座	6,006,000	委	消防庁
506	次世代BMIシステムの応用実現のための基盤技術の研究開発	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	26,958,400	委	国立研究開発法人 情報通信研究機構
507	アジアにおけるCOVID-19外出制限の発達障がい児と家族への影響と支援ニーズ	橘 雅弥	連合小児発達学	1,900,000	委	990 (日本学術振興会・二国間交流事業)
508	アジアにおけるCOVID-19外出制限の発達障がい児と家族への影響と支援ニーズ	橘 雅弥	連合小児発達学	1,900,000	委	990 (日本学術振興会・二国間交流事業)
509	2022年度国別研修「全インド医科大学人材育成研修」コース	中島 清一	次世代内視鏡治療学	7,101,000	委	(独) 国際協力機構 (JICA)
510	シヌクレイン細胞間伝搬機構の解明	池中 建介	神経内科学	7,150,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
511	エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	1,651,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
512	皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	12,350,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
513	腸管免疫に着目したパーキンソン病における臓器間ネットワークの解明	木下 允	神経内科学	22,100,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
514	侵襲型BMIによるCA制御の研究開発	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	30,000,100	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
515	大脳基底核深部電極を使用したBrain Machine Interface開発	谷 直樹	脳神経外科	13,175,500	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
516	状態遷移を制御する血管正常化療法の開発	福嶋 葉子	眼科学	9,750,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
517	動的異常翻訳のメカニズムとその病的意義	森 康治	精神医学	11,648,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
518	新規核医学治療薬・診断法の開発と放射化による薬剤可視化技術の検討 (ERATO片岡ラインX線ガンマ線イメージングプロジェクト)	加藤 弘樹	核医学	26,000,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
519	パンデミックによる社会的孤立のアクティブセンシングと個別化介入	池田 学	精神医学	2,600,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構

520	パンデミックによる社会的孤立のアクティブセンシングと個別化介入	池田 学	精神医学	2,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
521	肺傷害のリスクを可視化するLung stress mapping法の確立と臨床応用への挑戦	吉田 健史	麻酔・集中治療医学	8,426,600	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
522	テーマ1「脳の発達に重要な乳幼児期の睡眠改善～双方向性アプリを用いたオンライン睡眠介入法の開発」、テーマ2「子どもの社会性を育むノウハウの構築」	谷池 雅子	連合小児	34,372,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
523	ヒトへの長期留置を目指した極低侵襲BMIシステムの開発	中村 元	脳神経外科学	48,620,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
524	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	渡邊 玲	アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座	19,500,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
525	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	渡邊 玲	アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座	3,900,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
526	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	貴島 晴彦	脳神経外科学	2,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
527	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	島津 研三	乳腺・内分泌外科学	2,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
528	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	2,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
529	フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(工学→医学)	石井 秀始	疾患データサイエンス学	650,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
530	iPS細胞等による分化製造プロセスにおける高効率な大量細胞凝集塊分散技術ならびに自動化装置の研究開発	宮川 繁	心臓血管外科学講座	4,225,000	補	中小企業庁
531	内視鏡医を救え！患者激増時代の、真に人間工学的な内視鏡保持システムの研究開発	中島 清一	次世代内視鏡治療学	20,311,427	補	経済産業省
532	肺癌の精密な診断・治療を可能にする内視鏡用の新規バルーン型デバイスの開発ー臨床における有用性の検討	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	2,000,000	補	大阪市
533	新規環状RANKL部分ペプチドによる脳梗塞治療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	660,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
534	動脈硬化、歯周病を含む糖尿病合併症のバイオマーカー探索と病態解明 ～メタボロミクスを活用した低侵襲体外診断技術の開発～	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	660,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
535	アスタチン標識ナノ粒子局所投与による癌のアルファ線治療の開発	加藤 弘樹	核医学講座	1,540,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
536	iPS細胞由来心筋細胞exosomeを用いた新規cell-free心筋再生療法の開発	宮川 繁	心臓血管外科学講座	1,540,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
537	物理的に抗菌性を発現する「ナノスパイク」の医療への応用	忽那 賢志	感染制御部	4,400,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
538	ヒト臍帯組織由来間葉系幹細胞とアテロコラーゲン半月板再生誘導材を用いた半月板再生医療の開発	中田 研	(医医)スポーツ医学講座	2,970,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
539	体液中キラリアミノ酸による尿路性器癌鑑別を目的とした新規診断法の確立	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	2,970,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

540	難治性BRAF変異陽性大腸癌に対する新規治療薬の開発	高橋 秀和	消化器外科学2講座	2,970,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
541	制御性T細胞を用いたαシヌクレインパッチーの新規治療法の開発	望月 秀樹	神経内科学講座	1,540,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
542	X線画像から骨密度を推定するシステムの構築を目指した研究	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	6,105,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
543	(基盤B(繰越)清水 健太郎)重症病態での腸内細菌叢を介した免疫システム解明と腸内細菌叢再構築のための治療戦略	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
544	(基盤B(分担)・佐々木)異分野連携によるα線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	佐々木 秀隆	医病 放射線部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
545	(基盤B.22-26.北島 康司)ゲノム・エピゲノム編集をもちいたダウン症候群の知的障害に対する遺伝子治療法開発	北島 康司	医病 総合周産期母子医療センター	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
546	(基盤B.22-24.佐藤 太郎)膵がんメチロームの総体解明と制御法開発	佐藤 太郎	医病 消化器外科(二外)	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
547	(基盤B.22-24.清水 健太郎)重症病態の腸内細菌を介した新規腸管バリア・免疫能の解析と腸内細菌叢再構築法の確立	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	5,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
548	(基盤B(分担).22-26.入澤 太郎)救命後の生活の質や患者・家族の意思を尊重した院外心停止治療戦略の構築に関わる研究	入澤 太郎	医病 高度救命救急センター	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
549	(基盤B.22-24.中島 和江)術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	中島 和江	医病 中央クオリティマネジメント部	8,710,000	補	独立行政法人日本学術振興会
550	(基盤B(分担).22-24.奥田 真弘)非劣性的検討による地域フォーミュラ導入の患者アウトカム評価	奥田 真弘	医病 薬剤部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
551	(奨励研究.22-22.小門 諒平)新型コロナウイルス感染症と抗菌薬の使用量や有害事象発生状況に関する探索的研究	小門 諒平	医病 薬剤部	329,719	補	独立行政法人日本学術振興会
552	(基盤C(分担).20-22.上野)小腸移植拒絶反応の早期診断を目的としたドナー由来DNA断片の解析	上野 豪久	小児外科	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
553	【延長】(基盤C.29-31.日高 国幸)スタッフの教育を加味した勤務スケジュールの最適化モデルと支援システムの構築	日高 国幸	医病 放射線部	122,260	補	独立行政法人日本学術振興会
554	(若手研究.30-33.神谷 貴史)中性脂肪蓄積心筋血管症における心筋脂肪酸代謝(I-123 BMIPP)の評価法	神谷 貴史	医病 放射線部	220,273	補	独立行政法人日本学術振興会
555	(基盤C.19-21.岡崎 周平)もやもや病感受性遺伝子RNF213変異が脳梗塞をおこす機序の解明と治療戦略の探索	岡崎 周平	医病 神経内科・脳卒中科	1,881,155	補	独立行政法人日本学術振興会
556	(基盤C.19-22.巽 光朗)がんにて異性の高いFBPAとFDGのPETを用いた免疫療法効果判定と副作用予測	巽 光朗	医病 核医学診療科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
557	(基盤C(分担).19-21.山田)超高磁場MRI:多素子並列RF励起技術の安全性確立と局所超高分解能撮像への展開	山田 幸子	医病 放射線部	184,058	補	独立行政法人日本学術振興会
558	(基盤C.19-22.北村 温美)地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	北村 温美	医病 中央クオリティマネジメント部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
559	(基盤C(分担).21-22.石丸)認知症高齢者における重症度・居住形態別ADLリハビリテーション戦略の構築	石丸 大貴	医病 神経科・精神科	45,500	補	独立行政法人日本学術振興会

560	(若手研究_19-21_山田 幸子)Dual-energy仮想非造影CTによる革新的な放射線治療計画法の開発と実用化	山田 幸子	医病 神経科・精神科	1,851,023	補	独立行政法人日本学術振興会
561	(基盤C_20-22_奥田 真弘)医療リアルワールドデータを活用したシスプラチン腎障害に対する新規予防法の開発	奥田 真弘	医病 薬剤部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
562	(基盤C(分担)_20-22_高橋)サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	高橋 利匡	医病 老年・高血圧内科	1,780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
563	(基盤C_20-22_赤坂 憲)ビタミンD補充によるサルコペニア治療の可能性を探る	赤坂 憲	医病 老年・高血圧内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
564	(基盤C_20-24_高橋 洋人)人工知能を活用したドパミン機能画像によるシスプレノパチー早期診断システムの確立	高橋 洋人	医病 放射線部	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
565	(基盤C_20-22_大瀧 千代)連続インピーダンスを用いた穿刺針位置確認システムの開発:ロボット支援との融合	大瀧 千代	医病 麻酔科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
566	(基盤C_20-22_入澤 太郎)119番通報に人工知能を応用した新たな消防通信指令支援システムの開発に関する研究	入澤 太郎	医病 高度救命救急センター	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
567	(基盤C_20-22_松本 寿健)敗血症の炎症最適化のためのマーカーと分子病態分類の解明:HIVEP1の臨床応用	松本 寿健	医病 高度救命救急センター	1,105,000	補	独立行政法人日本学術振興会
568	(基盤C_20-22_名井 陽)ホメオティック遺伝子HoxBの骨形成における機能解析	名井陽	医病 未来医療開発部	1,157,000	補	独立行政法人日本学術振興会
569	(基盤C_20-22_岡崎 利彦)低温度帯におけるエンドトキシン不活化を実現する革新的気相式滅菌デバイスの開発	岡崎 利彦	医病 未来医療開発部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
570	(基盤C_20-22_岡本 美奈)間葉系幹細胞の臨床応用へ向けた品質管理と評価マーカーの探索	岡本 美奈	医病 未来医療開発部	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
571	(若手研究_20-21_皆川 光)脳腫瘍に対するWT1経口がんワクチンの効果と腫瘍内浸潤リンパ球の検討	皆川 光	医病 小児科	640,184	補	独立行政法人日本学術振興会
572	(若手研究_20-22_新谷 拓也)エクソソームを活用した第三世代EGFR-TKI耐性化バイオマーカーの探索	新谷 拓也	医病 薬剤部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
573	(若手研究_20-22_杉山 慎太郎)神経疾患における脳内胆汁酸の役割の解明	杉山 慎太郎	医病 神経内科・脳卒中科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
574	(若手研究_20-22_甲田 亨)アストロサイトイメージングによるNMOの病態評価	甲田 亨	医病 神経内科・脳卒中科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
575	(若手研究_20-22_末廣 聖)独居という生活環境が軽度認知障害患者の脳機能に及ぼす経時的影響について	末廣 聖	医病 神経科・精神科	2,100,236	補	独立行政法人日本学術振興会
576	(若手研究_20-22_杉辺 英世)エクソソームプロファイリングによるダウン症候群の肺高血圧症発症病態の解明	杉辺 英世	医病 小児科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
577	(若手研究_20-22_田畑 優貴)C型慢性肝炎における肝発がんおよび肝線維化に関する新規バイオマーカーの探索	田畑 優貴	医病 消化器内科	223,053	補	独立行政法人日本学術振興会
578	(若手研究_20-21_中村 大輔)冠動脈疾患患者の予後を光干渉断層画像から機械学習で予測する	中村 大輔	医病 循環器内科	1,420,660	補	独立行政法人日本学術振興会
579	(若手研究_20-22_小西 正三)在宅心不全患者見守りに向けた、「歩容」指標の研究開発	小西 正三	医病 医療情報部	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会

580	(若手研究_20-22_三宅 啓介)重症虚血肢に対する細胞シート技術を応用した細胞塊注入法の再生治療効果の検討	三宅 啓介	医病 心臓血管外科(一外)	322,561	補	独立行政法人日本学術振興会
581	(若手研究_20-22_中村 隼)オートファジー抑制因子Rubiconの阻害による老化制御の試み	中村 隼	医病 血液浄化部	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
582	(若手研究_20-22_松本 あゆみ)人工知能を用いて解明する腎病理組織変化の本態	松本あゆみ	医病 血液浄化部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
583	(若手研究_20-21_名越 章裕)CKAP4 Sandwich-ELISAを用いた新規肺癌血清マーカーの開発	名越 章裕	医病 呼吸器外科	906,618	補	独立行政法人日本学術振興会
584	(若手研究_20-23_吉原 輝一)難治性胆道癌における癌悪性化に伴う周囲免疫反応の推移に関わる検討	吉原 輝一	医病 消化器外科	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
585	(若手研究_20-21_村津 有紗)メタゲノム及びメタボローム解析による重症病態の腸内環境デザインの開発	村津 有紗	医病 高度救命救急センター	1,280,267	補	独立行政法人日本学術振興会
586	(若手研究_20-22_戸上 由貴)第一次爆傷による単独軽症頭部外傷によって局所および全身に惹起される反応	戸上 由貴	医病 高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
587	(若手研究_20-21_蛭原 健)脂肪特異的Atg5KOマウスを用いた敗血症病態におけるオートファジーの機能解明	蛭原 健	医病 高度救命救急センター	367,943	補	独立行政法人日本学術振興会
588	(若手研究_20-22_竹中 朋文)ワーラー変性における細胞内エネルギー代謝の病態解明	竹中 朋文	医病 脳神経外科	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
589	(若手研究_20-22_富山 栄輔)膀胱癌特異的エクソソームタンパクによる癌微小環境調節機序の解明と診断キット開発	富山 栄輔	医病 泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
590	(若手研究_20-21_中谷 彩香)糖転移酵素による糖鎖修飾に着目したECRS難治化の病態解明	中谷 彩香	医病 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	14,984	補	独立行政法人日本学術振興会
591	(若手研究_20-21_小幡 翔)BMP8Bを介した骨芽細胞による好酸球性副鼻腔炎難治メカニズムの解明	小幡 翔	医病 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	852,777	補	独立行政法人日本学術振興会
592	(若手研究_20-21_清水 康太郎)中耳真珠腫のsingle cell RNA解析及び保存的治療薬の開発	清水 康太郎	医病 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	786,713	補	独立行政法人日本学術振興会
593	(基盤C_21-23_池村 健治)医療ビッグデータ解析を基盤としたシスプラチン難聴予防法の開発	池村 健治	医病 薬剤部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
594	(基盤C(分担)_21-24_北島)I型CRISPRを利用した新規エビゲノム型トリスミックスリスキュー誘導性の開発	北島 康司	医病 総合産産期母子医療センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
595	(基盤C_21-23_梅田 大介)肺微小乳頭がん様オルガノイドにおける上皮頂底極性形成機構とがん転移への関与の解明	梅田 大介	医病 病理部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
596	(基盤C_21-23_荒木 俊彦)言語性記憶力を推定する脳磁図検査法の確立	荒木 俊彦	医病 臨床検査部	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
597	(基盤C_21-23_河盛 段)新規治療戦略を見据えた膵α細胞機能とDPP-4発現の病態学的解析	河盛 段	医病 糖尿病・内分泌・代謝内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
598	(基盤C_21-23_板倉 弘明)臨床検体のシングルセル解析による大腸癌幹細胞の代謝機構の解明	板倉 弘明	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
599	(基盤C_21-23_細見 早苗)新規抗酸化剤を用いた頭部外傷後の神経機能回復に関する研究	細見 早苗	医病 高度救命救急センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

600	(基盤C_21-23_伊藤 弘)シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	伊藤 弘	医病 高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
601	(基盤C_21-23_中尾 俊一郎)トランスクリプトームを用いた心停止の分子ネットワーク病態の解明と神経予後予測	中尾 俊一郎	医病 高度救命救急センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
602	(基盤C_21-23_酒井 智彦)コロナ時代の救急・災害現場における非接触型健康情報共有ツールの有用性に関する研究	酒井 智彦	医病 高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
603	(基盤C_21-23_片山 祐介)地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急搬送患者の実態解明	片山 祐介	医病 高度救命救急センター	962,000	補	独立行政法人日本学術振興会
604	(基盤C_21-23_中川 僚太)腸内細菌による新たな脳動脈瘤破裂予防法の開発	中川 僚太	医病 脳神経外科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
605	(基盤C_21-23_吉村 旬平)ナノポア技術と機械学習を用いた新たな微生物迅速診断検査系の確立	吉村 旬平	医病 高度救命救急センター	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
606	(基盤C_21-23_島崎 淳也)熱中症の炎症惹起メカニズム解明とプレホスピタルにおける早期重症度評価	島崎 淳也	医病 高度救命救急センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
607	(基盤C_21-23_佐原 亘)機械学習に基づく完全自動化された骨関節三次元動態解析システムの開発	佐原 亘	医病 リハビリテーション部	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
608	(基盤C_21-23_山道 岳)大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	山道 岳	医病 泌尿器科	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
609	(基盤C_21-23_佐治 史恵)多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	佐治 史恵	医病 生殖医療センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
610	(基盤C_21-23_大谷 直矢)水素による移植組織内酸化ストレスの制御と生着率向上への試み	医病 形成外科	医病 形成外科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
611	(基盤C_21-23_内橋 俊大)口腔癌骨浸潤に対するIL-12発現型第三世代がん治療用HSV-1の治療効果の検討	内橋 俊大	医病 歯科治療室	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
612	(基盤C_21-23_山本 洋一)臨床研究における「被験者保護」の構造と運用に関する国内外比較論と今後の展望	山本洋一	医病 未来医療開発部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
613	(基盤C(分担)_21-23_中島 和江)適応性に機能する急変対応システムの有用性と実装に向けた研究	中島 和江	医病 中央クオリティマネジメント部	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
614	(基盤C_21-23_吉澤 秀憲)監察医機関における熱中症解剖例の分子診断・病態解明、背景分析に関する研究	吉澤 秀憲	医病 病理部	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
615	(基盤C(分担)_21-23_山田 大智)膝蓋骨傾斜角の新たな計測法の開発と膝蓋腱付着部症の発生メカニズムの解明	山田 大智	医病 リハビリテーション部	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
616	(基盤C(分担)_21-23_佐原 亘)機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	佐原 亘	医病 リハビリテーション部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
617	(若手研究_21-23_吉波 哲大)分子バーコードを用いたNGS解析でのctDNA評価による乳癌の遠隔再発リスク診断	吉波 哲大	医病 乳腺・内分泌外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
618	(若手研究_21-22_塩出 悠登)非古典的NF-KB経路による肝-胆管細胞分化転換を介した胆管癌発症機構の解明	塩出 悠登	医病 消化器内科	1,298,125	補	独立行政法人日本学術振興会
619	(若手研究_21-24_千村 美里)代謝イメージングに基づく薬剤性心筋症の新規診断指標と治療効果判定指標の確立	千村 美里	医病 循環器内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

620	(若手研究_21-22_山下 築)末期重症心不全における心筋リモデリングに対するM2マクロファージの関与の検討	山下 築	医病 心臓血管外科(一外)	1,762,245	補	独立行政法人日本学術振興会
621	(若手研究_21-23_松浦 裕司)爆発外傷モデルの開発と後遺症に対する慢性期にかけての抗炎症療法の検討	松浦 裕司	医病 高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
622	(若手研究_21-22_恵谷 悠紀)新規NF- κ B阻害ペプチドによる新規変形性関節症治療法の開発	恵谷 悠紀	医病 整形外科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
623	(若手研究_21-24_石丸 大貴)認知症の物忘れ妄想に関連する生活環境因子の同定	石丸 大貴	医病 神経科・精神科	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
624	(挑戦的研究(萌芽)_21-23_北島 康司)新規のゲノム編集技術をもちいたダウン症候群の革新的遺伝子治療法の開発	北島 康司	医病 総合周産期母子医療センター	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
625	(研スタ_21-22_山本 顕生)血中エクソソーム内の細菌叢情報を用いた尿路上皮癌の早期血液診断薬の開発	山本 顕生	医病 泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
626	(研スタ_21-22_田中 亮)体内水素発生を惹起する経口シリコン製剤を用いた腎保護効果に関する作用機序の解明	田中 亮	医病 泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
627	(研スタ_21-22_植村 俊彦)尿中エクソソーム内の細菌遺伝情報を用いた新たな早期腎癌診断薬の開発	植村 俊彦	医病 泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
628	(研スタ_21-22_齋多 遼太郎)制限付き平均生存時間の差を治療効果指標とした代替エンドポイントの統計的評価手法	齋多 遼太郎	医病 データセンター	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
629	(研スタ_21-22_埜本 大喜)前頭側頭型認知症におけるごみ屋敷の成因の探索	埜本 大喜	医病 神経科・精神科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
630	(基盤C_22-24_林 芳矩)食道癌における腫瘍関連Bリンパ球の役割	林 芳矩	医病 消化器外科(二外)	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
631	(基盤C_22-24_山田 修平)髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	山田修平	医病 脳神経外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
632	(基盤C_22-24_橋本 陽子)乳癌原発巣におけるESR1遺伝子変異の高感度検出	橋本 陽子	医病 乳腺・内分泌外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
633	(基盤C_22-24_高橋 利匡)高齢者糖尿病のオートファジー機能を反映するバイオマーカーの確立と標的治療法の開発	高橋 利匡	医病 老年・高血圧内科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
634	(基盤C_22-24_井上 直哉)Breg細胞を用いた自己免疫性甲状腺疾患における新規検査法の開発	井上 直哉	医病 臨床検査部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
635	(基盤C(分担)_22-24_仲 定宏)BNCTに用いるホウ素化合物BSHの標識合成法の開発と生体内における動態解明	仲 定宏	医病 薬剤部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
636	(基盤C_22-24_坂根 貞嗣)脂肪組織-肝臓間クロストークに着目した肥満を伴う急性アルコール性肝炎の病態解明	坂根 貞嗣	医病 消化器内科	1,128,525	補	独立行政法人日本学術振興会
637	(基盤C_22-24_柏木 浩和)新規実験システムを用いた血小板インテグリンシグナル制御機構の解析とその応用	柏木浩和	医病 血液・腫瘍内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
638	(基盤C_22-24_谷口 歩)HMGB1ペプチドを用いた末梢血間葉系幹細胞動員による腎線維化の抑制	谷口 歩	医病 泌尿器科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
639	(基盤C_22-24_門 威志)1型糖尿病に対する脂肪由来幹細胞を用いた新規膵島移植療法の開発	門 威志	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

640	(基盤C.22-24_上野 豪久)小腸移植後の慢性拒絶制御における間葉系幹細胞による再生細胞医療の研究	上野豪久	医病 小児外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
641	(基盤C.22-24_増山 美里)乳癌の血管擬態を標的とした新規治療法の開発	増山 美里	医病 乳腺・内分泌外科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
642	(基盤C.22-24_安達 慧)食道癌におけるFn14発現と治療抵抗性・悪性度との関連について	安達 慧	医病 消化器外科(二外)	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
643	(基盤C.22-24_加藤 伸弥)大腸癌における特異的な新規がん関連線維芽細胞マーカーの同定	加藤 伸弥	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
644	(基盤C.22-24_小山 啓介)グルタミン代謝を標的とした膀胱癌における老化細胞除去と薬剤耐性の克服	小山 啓介	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
645	(基盤C.22-24_江口 聡)肝内胆管癌におけるIL-33の腫瘍周囲環境への影響の検討	江口 聡	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
646	(基盤C.22-24_野田 剛広)肝癌微小環境における腫瘍関連マクロファージを中心とした細胞間相互作用の解明	野田剛広	医病 消化器外科(二外)	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
647	(基盤C.22-24_平 将生)小児重症心不全における補助人工心臓による心機能改善を予測する因子の検討	平 将生	医病 心臓血管外科(一外)	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
648	(基盤C.22-24_河村 愛)疾患特異的iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解明と治療法の探索	河村 愛	医病 心臓血管外科(一外)	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
649	(基盤C.22-24_磯野 友美)肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	磯野 友美	医病 呼吸器外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
650	(基盤C.22-24_岩崎 駿) Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	岩崎 駿	医病 小児外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
651	(基盤C.22-24_大西 伸也)網羅的生体分子情報に基づく重症熱傷病態の中心的分子解明と新規治療薬開発	大西 伸也	医病 高度救命救急センター	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
652	(基盤C.22-24_光山 裕美)統合解析に基づくARDSの全身免疫と肺局所免疫の免疫分子病態解明	光山 裕美	医病 高度救命救急センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
653	(基盤C.22-24_蛭原 健)脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	蛭原 健	医病 高度救命救急センター	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
654	(基盤C.22-24_岩橋 徹)末梢神経損傷後にシユワソ細胞と血管内皮細胞間で働く接着分子の解明	岩橋 徹	医病 整形外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
655	(基盤C.22-24_植村 俊彦)腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	植村 俊彦	医病 泌尿器科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
656	(基盤C.22-24_田中 亮)腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	田中 亮	医病 泌尿器科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
657	(基盤C.22-24_山本 顕生)尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	山本 顕生	医病 泌尿器科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
658	(基盤C.22-24_岡田 紘一)Gut-kidney axisを介した夜間多尿の新規治療法確立	岡田 紘一	医病 泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
659	(基盤C.22-24_平松 宏祐)LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	平松 宏祐	医病 総合周産期母子医療センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

660	(基盤C_22-24_戸田 有朱香)尿中エクソソームのPreeclampsia早期診断バイオマーカー有用性の検討	戸田 有朱香	医病 総合周産期母子医療センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
661	(基盤C(分担)_22-24_角田 守)網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	角田 守	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
662	(基盤C(分担)_22-24_平松 宏祐)網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	平松 宏祐	医病 総合周産期母子医療センター	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
663	(基盤C_22-24_黒田 一也)LIMK2に注目した、肥厚性療痕・ケロイドのコントロール	黒田 一也	医病 形成外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
664	(基盤C_22-24_紀田 修平)大阪府がん登録データとDPCデータを用いた血液悪性腫瘍のリアルワールド解析	紀田 修平	医病 血液・腫瘍内科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
665	(基盤C(分担)_22-24_赤坂 憲)サルコペニア合併高齢者糖尿病における【核】となる運動介入および骨格筋指標の開発	赤坂 憲	医病 老年・高血圧内科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
666	(基盤C_22-24_山田 知美)リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	山田 知美	医病 データセンター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
667	(若手研究_22-25_福岡 智哉)HMGB1ペプチドによる胆道閉鎖症の新規内科的治療薬に基づいた再生医療の開発	福岡 智哉	医病 小児科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
668	(若手研究_22-23_天野 孝広)新規糖タンパク質マーカーに基づく炎症性腸疾患患者における薬物治療効果の最適化	天野 孝広	医病 消化器内科	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
669	(若手研究_22-23_村井 一裕)B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス共感染時における線維化進展加速機構の解明	村井 一裕	医病 消化器内科	1,729,653	補	独立行政法人日本学術振興会
670	(若手研究_22-23_四宮 春輝)膜トポロジー変化に着目した核膜病の分子機序解明と心臓・筋疾患の治療標的分子探索	四宮 春輝	医病 循環器内科	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
671	(若手研究_22-23_酒井 晋介)転写因子MondoによるPodocyte代謝調整機構の解明	酒井 晋介	医病 腎臓内科	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
672	(若手研究_22-24_早川 友朗)ミネラルコルチコイド受容体活性評価系の確立と臨床応用	早川 友朗	医病 糖尿病・内分泌・代謝内科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
673	(若手研究_22-23_角田 守)ATP7Bを標的としたプラチナ抵抗性卵巣癌の新規治療方法の開発	角田 守	医病 総合周産期母子医療センター	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
674	(若手研究_22-24_須河内 昭成)マウス自然発癌モデルを用いた第三世代がん治療用HSV-1の治療効果と安全性の検討	須河内 昭成	医病 歯科治療室	469,963	補	独立行政法人日本学術振興会
675	(若手研究_22-24_筒井 杏奈)小児がん治療の集約化と病院への移動負担に関する研究—時間・距離・費用に基づく—	筒井 杏奈	医病 データセンター	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
676	(若手研究_22-24_仲島 圭将)無人タイムスタディおよび看護ビッグデータを用いた看護業務動線の解析と実務への応用	仲島 圭将	医病 医療情報部	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
677	(若手研究_22-23_上間 遼太郎)早期胃癌におけるAIを用いたEUS画像リアルタイム自動診断技術の開発	上間 遼太郎	医病 消化器内科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
678	(挑戦的研究萌芽_22-24_佐藤 太郎)膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	佐藤 太郎	医病 消化器外科(二外)	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
679	(研スタ_22-23_林 理恵)放射線治療耐性がん細胞の分子メカニズム解析	林 理恵	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

680	(研スタ22-23_花井 洋人) サイトカイン刺激したMSC由来細胞外小胞の肩胛板断裂に対する骨髄部修復効果の解明	花井 洋人	医病 整形外科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
681	(研スタ22-23_的羽 大二朗) 移植・再生医療に向けた肝・膵組織の三次元立体構築	的羽 大二朗	医病 消化器外科(二外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
682	(研スタ22-23_岡 利樹) 運動による代謝物の変化が前立腺癌の進展に及ぼす影響の検討	岡 利樹	医病 泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
683	(研スタ22-23_右近 裕一郎) 骨折修復における老化骨芽細胞機能の解明	右近 裕一郎	医病 整形外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
684	(研スタ22-23_辻村 剛) 精液細菌叢に着目した新たな男性不妊メカニズム解明と細菌叢ターゲット治療開発	辻村 剛	医病 泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
685	(研スタ22-23_吉田 紫乃) サルコペニアにおけるIL-15による骨格筋分化とオートファジーの調整機構の解明	吉田 紫乃	医病 老年・高血圧内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
686	(研スタ22-23_奥田 洋平) 泌尿器がん個別化免疫療法の開発～遺伝子改変ネオアンチゲン特異的T細胞の作製～	奥田 洋平	医病 泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
687	(研スタ22-23_中野 那津子) HRV解析を応用した、睡眠時無呼吸患者における睡眠障害の重症度評価	中野 那津子	医病 神経科・精神科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
688	(厚生労働科研(分担)_20-24_水木) キャッスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	水木 満佐央	医病 血液・腫瘍内科	200,000	補	厚生労働省
689	(厚生労働科研(分担)_20-24_柏木) 血液凝固異常症等に関する研究	柏木浩和	医病 輸血部	1,300,000	補	厚生労働省
690	(厚生労働科研(分担)_20-24_山田) 前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	山田 知美	医病 データセンター	500,000	補	厚生労働省
691	(厚生労働科研(分担)_20-24_上野) 難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	上野豪久	医病 小児外科	200,000	補	厚生労働省
692	(厚生労働科研_21-24_中島 和江) レジリエント・ヘルスケアによる医療の質向上・安全推進に資する研究	中島 和江	医病 中央クオリティマネジメント部	2,561,000	補	厚生労働省
693	(厚生労働科研_22-23_岡田 佳築) 国や都道府県が循環器病対策に関する計画を策定する際に利用可能な指標の設定、及び新型コロナウイルス感染症による循環器病への影響の評価のための研究	岡田 佳築	医病 医療情報部	11,999,000	補	厚生労働省
694	(厚生労働科研(分担)_22-23_榊田 浩禎) 真のニーズに基づく支援機器の開発・事業化を実現するための出口・普及を想定した支援ネットワークモデル構築のための研究	榊田 浩禎	医病 心臓血管外科(一外)	1,000,000	補	厚生労働省
695	令和4年度次世代医療機器連携拠点整備等事業	中島 清一	消化器外科	12,750,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
696	臨床研究中核病院の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	竹原 徹郎	医学部附属病院	206,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
697	【事故繰越】臨床研究中核病院の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	竹原 徹郎	医学部附属病院	55,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
698	橋渡し研究推進による未来医療創出	江口 英利	未来医療開発部	104,936,532	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
699	戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	江口 英利	未来医療開発部	60,048,048	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

700	臨床研究総合促進事業	竹原 徹郎	医学部附属病院	39,437,000	補	厚生労働省
701	(東大・受託・吉山) PAD-TRACK研究(プレクリニカルAD縦断追跡研究)	吉山 顕次	医病 神経科・精神科	5,764	委	国立大学法人東京大学
702	(大阪医療センター・受託)非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する他施設共同ランダム化比較試験	藤堂 謙一	医病 神経内科・脳卒中科	22,000	委	大阪医療センター
703	(静岡がん・土岐)cT1-2NO-2胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	土岐 祐一郎	消化器外科(二外)	60,000	委	静岡県立静岡がんセンター
704	(国循・受託・坂田)循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診療・治療プロトコルの策定に関する研究(MYSTICS)	坂田 泰史	医病 循環器内科	66,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
705	(国立精神・委託・望月)パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	望月 秀樹	医病 神経内科・脳卒中科	109,410	委	国立精神・神経医療研究センター
706	(兵庫医大・受託・坂田)心不全を合併したアルブミン尿を有する高血圧患者におけるエサキセレンのアルブミン尿軽減効果を検討する探索的臨床研究	坂田 泰史	循環器内科	220,000	委	兵庫医科大学
707	(貝塚病院・森井)肝生検病理診断基準均一化	森井 英一	病理部	370,000	委	市立貝塚病院
708	(東大・受託・吉山)J-TRCオンサイト研究(認知症プレクリニカル期プロドローマル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究)	吉山 顕次	医病 神経科・精神科	569,298	委	国立大学法人東京大学
709	(国立長寿医療研究センター・受託・赤坂)高齢者総合機能評価(CGA)ガイドラインの作成研究	赤坂 憲	老年・高血圧内科	600,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
710	(国がん・巽)治療効果判定におけるPETとその他の画像診断との比較検討に関する研究	巽 光朗	医病 放射線部	600,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
711	(A0271坂田)SGLT2阻害薬トログリフロジンをを用いた心保護効果のメカニズムに関する研究	坂田 泰史	医病 循環器内科	660,000	委	国立大学法人東海国立大学機構
712	(国循・受託・岡崎)AMCAD試験:患者リクルート	岡崎 周平	医病 神経内科・脳卒中科	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
713	(岸和田市民病院・森井)泉州地区の骨髄疾患を対象とする病理学的検討	森井 英一	病理部	1,700,000	委	市立岸和田市民病院
714	(NIBIOHN・委託)AI基盤拠点病院の確立	土岐 祐一郎	医病 AI医療センター	130,000,000	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
715	(AMED・委託)(iPS)再生医療実用化基盤整備促進事業	竹原 徹郎	医病 教育研究支援課	65,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
716	(AMED・委託・西田)(NC)再生医療実用化基盤整備促進事業	西田 幸二	医病 未来医療開発部	27,716,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
717	(AMED・委託・繰越・遠藤)難治性疾患実用化研究事業(脊髄腫瘍胎児手術の先進医療への展開)	遠藤 誠之	医病 胎児診断治療センター	36,117,900	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
718	(AMED・再委託・高階)医薬品等規制調和・評価研究事業(再製造単回使用医療機器の洗浄工程における清浄性評価に関する研究)	高階 雅紀	医病 材料部	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
719	(AMED・委託費・北村)医薬品等規制調和・評価研究事業(緊急的な状況における薬事行政と市民の相互理解に寄与するコミュニケーション法の検討)	北村 温美	医病 中央クオリティマネジメント部	5,331,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

720	(AMED・委託費・榊田) 基盤技術開発プロジェクト (在宅慢性心不全患者の心不全再入院抑制に資する五感を生かした遠隔診療システムの開発)	榊田 浩禎	医病 心臓血管外科 (一外)	49,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
721	(AMED・再委託・山田) 再生医療実用化研究事業 (治験プロトコルの策定における統計学的検討)	山田 知美	医病 データセンター	1,300,000	委	国立大学法人三重大学
722	(AMED・再委託・山田) 再生医療実用化研究事業 (AYA世代難治性固形がんに対する新規GD2特異的CAR-T療法の研究開発における統計学的検討)	山田 知美	医病 データセンター	1,000,000	委	国立大学法人三重大学
723	(AMED・再委託・水木) 難治性疾患実用化研究事業 (統合レジストリを活用したキャスルマン病・TAFRO症候群における精密医療基盤の構築を目指す実用化研究)	水木 満佐央	医病 化学療法部	520,000	委	国立大学法人長崎大学病院
724	(AMED・委託費・北島) 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム(新規ゲノム編集技術とナノDDS探索によるダウン症候群の知的発達障害に対する遺伝子治療法の開発)	北島 康司	医病 総合周産期母子医療センター	32,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
725	(AMED・再委託・佐藤) 臨床研究・治験推進研究事業 (SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくBRCA変異を有する胆道がんに対する医師主導治験)	佐藤 太郎	医病 消化器外科(二外)	1,950,000	委	国立大学法人 北海道大学病院
726	(AMED・事故繰越・再委託・中田) 令和2年度臨床研究・治験推進研究事業 アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業/感染症分野における日本とアジア諸国の国際研究開発協力を促進する臨床研究・治験プラットフォーム形成と委託事業	中田 研	医病 国際医療センター	6,500,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
727	(AMED・繰越・再委託・中田) 令和3年度臨床研究・治験推進研究事業 アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業 感染症パンデミックに対応する国際医療協力としての国際研究開発促進システム形成	中田 研	医病 国際医療センター	8,320,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
728	(AMED・再委託・中田) 令和4年度臨床研究・治験推進研究事業 アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業 感染症緊急事態に対応するためのアジア諸国および本邦アカデミアとの国際ARO アライアンスの機能強化 および関連機関との	中田 研	医病 国際医療センター	26,000,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
729	(AMED・再委託・山田) 革新的がん医療実用化研究事業 (MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験)	山田 知美	医病 データセンター	650,000	委	国立大学法人三重大学
730	(AMED・再委託・佐藤) 臨床研究・治験推進研究事業 (SCRUM-Japan GI-SCREEN基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくHER2遺伝子異常を有する固形がんに対するDS-8201aの医師主導治験)	佐藤 太郎	医病 消化器外科(二外)	1,300,000	委	愛知県がんセンター
731	(AMED・再委託・山田) 臨床研究・治験推進研究事業 生物統計家育成推進のための大学院・卒後一貫したプログラム構築)	山田 知美	医病 データセンター	7,300,000	委	国立大学法人京都大学
732	(AMED・再委託・岩崎) 研究開発推進ネットワーク事業 (アカデミアシーズの実用化に向けた研究開発体制における研究マネジメント人材の育成システム開発に関する研究)	岩崎 幸司	医病 未来医療開発部	1,040,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
733	(AMED・再委託・岩崎) 研究開発推進ネットワーク事業 (臨床研究中核病院以外のAROにおける多職種視点による高品質の臨床研究計画作成支援体制の構築)	岩崎 幸司	医病 未来医療開発部	325,000	委	国立大学法人東海国立大学機構
734	(AMED・再委託・浅野) 研究開発推進ネットワーク事業 (Quality by Designを用いた研究計画立案及び実装を可能とする研究支援体制の構築)	浅野 健人	医病 未来医療開発部	650,000	委	学校法人日本医科大学
735	(AMED・再委託・山田) 研究開発推進ネットワーク事業 (大阪地域の調査、臨床研究者及び生物統計解析家の立場からの調査・検討)	山田 知美	医病 データセンター	2,340,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
736	(AMED・委託費・山本) 高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立及びIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	山本 洋一	医病 未来医療開発部	7,670,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
737	(AMED・再委託・山本) 臨床研究開発推進事業 (医療技術実用化総合促進事業) (標準化電子ワークシートを核とした分散型臨床試験のシステム・運用両面からの構築)	山本 洋一	医病 未来医療開発部	30,041,000	委	国立大学法人九州大学
738	☆ (番号199011-A) 血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第 II 相試験	佐藤 太郎	消化器外科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
739	☆ (番号219005-A) EPI-589の筋萎縮性側索硬化症を対象とした探索的試験	長野 清一	神経内科・脳卒中科	4,498,000	委	国立大学法人徳島大学

740	☆(番号229003-国循)生体弁置換術後の抗凝固療法における直接経口抗凝固薬エドキサパンの有効性および安全性に関する多施設共同無作為化比較試験	宮川 繁	心臓血管外科	2,186,250	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
741	☆(番号229005-A)家族性高コレステロール血症ホモ接合体患者を対象にエビナクマブの長期安全性を評価するオープンラベル試験(拡大治験)	坂田 泰史	循環器内科	1,100,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
742	☆(番号229007-A)固形がん患者に対するニラバリブとビミテスビブの第1相試験	加藤 大悟	泌尿器科	500,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

2,377,170,579

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別	PubMed ID
1	Sotomi Y, Hikoso S, Nakatani D, et al.	循環器内科	Practical Assessment of the Tradeoff between Fatal Bleeding and Coronary Thrombotic Risks using the Academic Research Consortium for High Bleeding Risk Criteria	J Atheroscler Thromb . 2022 Aug 1;29(8):1236-1248.	Original Article	34526434
2	Sato T, Sotomi Y, Hikoso S, et al.	循環器内科	Sex Differences in the Efficacy of Pulmonary Vein Isolation Alone vs. Extensive Catheter Ablation in Patients With Persistent Atrial Fibrillation	Circ J . 2022 Jul 25;86(8):1207-1216.	Original Article	34911901
3	Sotomi Y, Hikoso S, Komukai S, et al.	循環器内科	Phenotyping of acute decompensated heart failure with preserved ejection fraction	Heart . 2022 Sep 12;108(19):1553-1561.	Original Article	34987067
4	Tanaka K, Koseki M, Kato H, et al.	循環器内科	Anti-GPIIb/IIIa Antibody-Positive Autoimmune Hyperchylomicronemia and Immune Thrombocytopenia	J Atheroscler Thromb . 2023 Jan 1;30(1):100-104.	Case report	35185060
5	Shiraki T, Yasuhiro Ichibori, Tomohito Ohtani, et al.	循環器内科	Pathophysiological evaluations of initial plaque development after heart transplantation via serial multimodality imaging and cytokine assessments	J Heart Lung Transplant . 2022 Jul;41(7):877-885.	Original Article	35400587
6	Sotomi Y, Sato T, Hikoso S, et al.	循環器内科	Minimal subphenotyping model for acute heart failure with preserved ejection fraction	ESC Heart Fail . 2022 Aug;9(4):2738-2746.	Original Article	35451237
7	Sotomi Y, Ueda Y, Hikoso S, et al.	循環器内科	Pre-infarction Angina: Time Interval to Onset of Myocardial Infarction and Comorbidity Predictors	Front Cardiovasc Med . 2022 May 26;9:867723.	Original Article	35722134
8	Nakatani D, Dohi T, Takeda T, et al.	循環器内科	Relationships of Atrial Fibrillation at Diagnosis and Type of Atrial Fibrillation During Follow-up With Long-Term Outcomes for Heart Failure With Preserved Ejection Fraction	Circ Rep . 2022 Apr 23;4(6):255-263.	Original Article	35774079
9	Taiki Sato, Yohei Sotomi, Shungo Hikoso ,et al.	循環器内科	DR-FLASH Score Is Useful for Identifying Patients With Persistent Atrial Fibrillation Who Require Extensive Catheter Ablation Procedures	J Am Heart Assoc . 2022 Aug 16;11(16):e024916.	Original Article	35929474
10	Hideyuki Hakui, Hidetaka Kioka, Fusako Sera, et al.	循環器内科	Refractory Ventricular Arrhythmias in a Patient With Dilated Cardiomyopathy Caused by a Nonsense Mutation in BAG5	Circ J . 2022 Nov 25;86(12):2043.	Original Article	36130910
11	Bolrathanak Oeun, Shungo Hikoso, Daisaku Nakatani, et al.	循環器内科	Clinical trajectories and outcomes of patients with heart failure with preserved ejection fraction with normal or indeterminate diastolic function	Clin Res Cardiol . 2023 Jan;112(1):145-157.	Original Article	36357804
12	Tomoka Tabata, Yuki Masumura, Shuichiro Higo, et al.	循環器内科	Multiplexed measurement of cell type-specific calcium kinetics using high-content image analysis combined with targeted gene disruption	Biochem Biophys Res Commun . 2022 Dec 31;637:40-49.	Original Article	36375249
13	Ide S, Mizote I, Sakata Y	循環器内科	Improved quantification of mitral regurgitant volume after MitraClip implantation using four-dimensional flow cardiac magnetic resonance imaging with dynamic valve tracking	Eur Heart J Case Rep . 2022 Oct 5;6(10):ytac405.	Case report	36483159
14	Sera F, Ohtani T, Tamaki S, et al.	循環器内科	Pulmonary hypertension with a precapillary component in heart failure with preserved ejection fraction	Heart . 2022 Dec 21;heartjnl-2022-321565.	Others	36543519
15	Saga A, Koseki M, Kanno K, et al.	循環器内科	A Dietary Oxysterol, 7-Ketocholesterol, Exacerbates Imiquimod-Induced Psoriasis-like Dermatitis in Steatohepatic Mice.	Int J Mol Sci . 2022 Dec 13;23(24):15855.	Original Article	36555497

16	Sotomi Y, Hikoso S, Nakatani D, et al.	循環器内科	Medications for specific phenotypes of heart failure with preserved ejection fraction classified by a machine learning-based clustering model	Heart . 2023 Feb 23;heartjnl-2022-322181.	Original Article	36822821
17	Matsuhiro Y, Nakamura D, Dohi T, et al.	循環器内科	Impact of calcified nodule on target lesion failure after stent implantation in hemodialysis patients	Catheter Cardiovasc Interv . 2023 Mar;101(4):701-712.	Others	36821786
18	Isaka Y, Yoshiya T, Ono C et al.	腎臓内科	Establishment and clinical application of SARS-CoV-2 catch column.	Clin Exp Nephrol. 2023 Mar;27(3):279-287.	Original Article	36344716
19	Maesaka K, Sakamori R, Yamada R, et al.	消化器内科学	Pretreatment with antibiotics is associated with reduced therapeutic response to atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma.	PLoS One. 2023 Feb(オンライン)	Original Article	36749777
20	Matsumae T, Kodama T, Tahata Y, et al.	消化器内科学	Thrombospondin-2 as a Predictive Biomarker for Hepatocellular Carcinoma after Hepatitis C Virus Elimination by Direct-Acting Antiviral.	Cancers (Basel). 2023 Jan(オンライン)	Original Article	36672412
21	Shirai K, Hikita H, Sakamori R, et al.	消化器内科学	Fucosylated haptoglobin is a novel predictive marker of hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus elimination in patients with advanced liver fibrosis.	PLoS One. 2022 Dec(オンライン)	Original Article	36542633
22	Matsumae T, Kodama T, Myojin Y,	消化器内科学	Circulating Cell-Free DNA Profiling Predicts the Therapeutic Outcome in Advanced Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Combination Immunotherapy.	Cancers (Basel). 2022 Jul(オンライン)	Original Article	35884434
23	Takehara T, Izumi N, Mochida S, et al.	消化器内科学	Sofosbuvir-velpatasvir in adults with hepatitis C virus infection and compensated cirrhosis in Japan.	Hepatol Res. 2022 Oct;52(10):833-840.	Original Article	35802063
24	Shirai K, Hikita H, Sakane S, et al.	消化器内科学	Serum amyloid P component and pro-platelet basic protein in extracellular vesicles or serum are novel markers of liver fibrosis in chronic hepatitis C patients.	PLoS One. 2022 Jul(オンライン)	Original Article	35797333
25	Naohiro Taya, Naoto Katakami, Kazuo Omori, et al,	内分泌・代謝内科学	Change in fatty acid composition of plasma triglyceride caused by a 2 week comprehensive risk management for diabetes: A prospective observational study of type 2 diabetes patients with supercritical fluid chromatography/mass spectrometry-based semi-target lipidomic analysis	Journal of Diabetes Investigation.2023 Jan;14(1):102-110.	Original Article	36208067
26	Dan Kawamori, Yoko Kageyama, Takayuki Tanaka, et al.	内分泌・代謝内科学	Characteristic changes in plasma glutamate levels and free amino acid profiles in Japanese patients with type 1 diabetes mellitus	Journal of Diabetes Investigation.2023 Jan;14(1):111-121.	Original Article	36151993
27	Shugo Sasaki, Takeshi Miyatsuka	内分泌・代謝内科学	Heterogeneity of Islet Cells during Embryogenesis and Differentiation	Stem Cell Reports. 2023 Mar 14;18(3):765-781.	Review	36631992
28	Hirohata Watanabe, Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, et al.	内分泌・代謝内科学	Changes of HbA1c variability after the switch to a longer-acting insulin analog in people with type 1 diabetes	Diabetes Investig . 2023 Feb;14(2):259-262.	Original Article	36345602
29	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Junichi Tazaki, et al.	内分泌・代謝内科学	Clinical features and prognosis of patients with and without diabetes mellitus undergoing endovascular aortic aneurysm repair	BMC Endocr Disord.2022 Apr 7;22(1):92.	Original Article	35392888
30	Mitsuyoshi Takahara, Toshihiko Shiraiwa, Yoshifumi Maeno, et al.	内分泌・代謝内科学	Improvement of beta-cell function in conjunction with glycemic control after medical nutrition therapy in newly-diagnosed type 2 diabetes mellitus	BMC Endocr Disord . 2022 Jun 4;22(1):150.	Original Article	35658859
31	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Norihiko Ohura, et al.	内分泌・代謝内科学	Injury Precipitating Tissue Loss and Time to Referral to a Vascular Center in Patients with Chronic Limb-Threatening Ischemia	J Atheroscler Thromb . 2023 Mar 1;30(3):287-298.	Original Article	35650020
32	Mitsuyoshi Takahara, Osamu Iida, Norihiko Ohura, et al.	内分泌・代謝内科学	Social isolation in patients with chronic limb-threatening ischemia: a cross-sectional study	Scientific reports.2023 Feb 2;13(1):1933.	Original Article	36732613
33	Kobayashi S, Kita S, Okuzaki D et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Favine/CCDC3 deficiency accelerated atherosclerosis and thrombus formation is associated with decreased MEF2C-KLF2 pathway	iScience. 2022 Oct 2;25(11):105252	Original Article	36281455
34	Okuno Y, Fukuhara A, Otsuki M et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	ARMC5-CUL3 E3 ligase targets full-length SREBF in adrenocortical tumors.	JCI Insight. 2022 Aug 22;7(16):e151390	Original Article	35862218

35	Nishitani S, Fukuhara A, Tomita I et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Ketone body 3-hydroxybutyrate enhances adipocyte function.	Sci Rep. 2022 Jun 16;12(1):10080	Original Article	35710581
36	Toyoda S, Shin J, Fukuhara A et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Transforming growth factor β 1 signaling links extracellular matrix remodeling to intracellular lipogenesis upon physiological feeding events.	J Biol Chem. 2022 Apr;298(4):101748	Original Article	35189145
37	Nishizawa H, Maeda N, Shimomura I.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Impact of hyperuricemia on chronic kidney disease and atherosclerotic cardiovascular disease.	Hypertens Res. 2022 Apr;45(4):635-40.	Review	35046512
38	Kawada-Horitani E, Kita S, Okita T, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Human adipose-derived mesenchymal stem cells prevent type 1 diabetes induced by immune checkpoint blockade.	Diabetologia. 2022 Jul;65(7):1185-97.	Original Article	35511238
39	Fujita S, Nishizawa H, Miyashita Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Genetic assessment using whole-exome sequencing for a young hypertriglyceridemic patient with repeated acute pancreatitis.	Endocr J. 2022 Sep 28;69(9):1101-1108.	Case report	35387941
40	Okita T, Kita S, Fukuda S, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Soluble T-cadherin promotes pancreatic β -cell proliferation by upregulating Notch signaling.	iScience. 2022 Nov 7;25(11):105404.	Original Article	36439986
41	Iioka M, Fukuda S, Maeda N, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Time-Series Change of Serum Soluble T-Cadherin Concentrations and Its Association with Creatine Kinase-MB Levels in ST-Segment Elevation Myocardial Infarction.	J Atheroscler Thromb. 2022 Dec 1;29(12):1823-34.	Original Article	35228485
42	Kimura Y, Fujishima Y, Nishizawa H, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Changes in Eating Behaviors and Their Associations with Weight Loss in Japanese Patients Who Underwent Laparoscopic Sleeve Gastrectomy.	Nutrients. 2023 Jan 10;15(2):353.	Original Article	36678222
43	Fujishima Y, Nishizawa H, Kawachi Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	The Effects of Topiroxostat, a Selective Xanthine Oxidoreductase Inhibitor, on Arterial Stiffness in Hyperuricemic Patients with Liver Dysfunction: A Sub-Analysis of the BEYOND-UA Study.	Biomedicines. 2023 Feb 23;11(3):674.	Original Article	36979653
44	Yoshimi Noda, Takayuki Shiroyama, Kentaro Masuhiro, 他	呼吸器内科	Quantitative evaluation of emphysema for predicting immunotherapy response in patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Sci Rep. 2022 May 25;12(1):8881.	Original Article	35614345
45	Matsumoto K, Shiroyama T, Kuge T, 他	呼吸器内科	Impact of treatment line on risks and benefits of immune checkpoint inhibitor in patients with advanced non-small cell lung cancer and interstitial lung disease: a systematic review and meta-analysis of cohort studies.	Transl Lung Cancer Res. 2022 Sep;11(9):1835-1846.	Original Article	36248332
46	Masuhiro K, Tamiya M, Fujimoto K他	呼吸器内科	Bronchoalveolar lavage fluid reveals factors contributing to the efficacy of PD-1 blockade in lung cancer.	JCI Insight . 2022 May 9;7(9):e157915.	Original Article	35389889
47	Takata S, Takeda Y, Hirata H他	呼吸器内科	Leucine-rich a-2 glycoprotein as a potential biomarker of idiopathic multicentric Castleman disease with pulmonary involvement: a single-center case-control study from Japan	J Thorac Dis . 2022 May;14(5):1332-1341.	Original Article	35693615
48	Naito M, Nakanishi Y, Motomura Y,他	呼吸器内科	Semaphorin 6D-expressing mesenchymal cells regulate IL-10 production by ILC2s in the lung	Life Sci Alliance. 2022 Aug 29;5(11):e202201486.	Original Article	36038260
49	Yamamoto Y, Hirata H, Shiroyama T他	呼吸器内科	Respiratory Impedance is Associated with Ventilation and Diffusing Capacity in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis Combined with Emphysema.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis . 2022 Jul 1;17:1495-1506.	Original Article	35801120
50	Yamamoto Y, Shiroyama T, Hirata H他	呼吸器内科	Secondary subcutaneous abscess due to mixed infections by Peptoniphilus olsenii and Gleimia europaea after COVID-19.	Clin Case Rep . 2023 Jan 16;11(1):e6844.	Case report	36694652
51	Miyake K, Shiroyama T, Hirata H他	呼吸器内科	Lateral Decubitus Position Enables Further Advancement of the Bronchoscope into the Lung Periphery.	J Bronchology Interv Pulmonol (IF: 1.88; Q2). 2022 Oct 1;29(4):307-310.	Original Article	35876738
52	Takayuki Niitsu, Kiyoharu Fukushima, Sho Komukai,他	呼吸器内科	Real-world impact of antifibrotics on prognosis in patients with progressive fibrosing interstitial lung disease	RMD Open . 2023 Jan;9(1):e002667.	Original Article	36690385
53	Nagatomo I, Nakanishi K, Yamamoto R, 他	呼吸器内科	Soluble angiotensin-converting enzyme 2 association with lipid metabolism.	Front Med (Lausanne). 2022 Aug 10; 9: 955928.	Original Article	36035417

54	Kawasaki T, Takeda Y, Eda Hiro R, 他	呼吸器内科	Next-generation proteomics of serum extracellular vesicles combined with single-cell RNA sequencing identifies MACROH2A1 associated with refractory COVID-19	Inflamm Regen. 2022 Nov 30;42(1):53.	Original Article	36451245
55	Yamaguchi Y, Kato Y, Eda Hiro R, 他	呼吸器内科	Consecutive BNT162b2 mRNA vaccination induces short-term epigenetic memory in innate immune cells	JCI Insight. 2022 Nov 22;7(22):e163347.	Original Article	36282593
56	Wang QS, Eda Hiro R, Namkoong H, 他	呼吸器内科	The whole blood transcriptional regulation landscape in 465 COVID-19 infected samples from Japan COVID-19 Task Force	Nat Commun. 2022 Aug 22;13(1):4830.	Original Article	35995775
57	Abe Y, Fukushima K, Matsumoto Y 他	呼吸器内科	Mycobacterium senriense sp. nov., a slowly growing, non-scotochromogenic species, isolated from sputum of an elderly man.	Int J Syst Evol Microbiol . 2022 May;72(5).	Original Article	35604945
58	Yuya Shirai, Yoshimitsu Nakanishi, Akari Suzuki 他	呼吸器内科	Multi-trait and cross-population genome-wide association studies across autoimmune and allergic diseases identify shared and distinct genetic component.	Ann Rheum Dis . 2022 Jun 26;81(9):1301-1312.	Original Article	35753705
59	Yuya Shirai, Akiyoshi Nakayama, Yusuke Kawamura 他	呼吸器内科	Coffee Consumption Reduces Gout Risk Independently of Serum Uric Acid Levels : Mendelian Randomization Analyses Across Ancestry Populations.	ACR Open Rheumatol . 2022 Jun;4(6):534-539.	Original Article	35348303
60	Iwahori K, Uenami T, Yano Y, 他	呼吸器内科	Peripheral T cell cytotoxicity predicts the efficacy of anti-PD-1 therapy for advanced non-small cell lung cancer patients.	Sci Rep. 2022 Oct 19;12(1):17461.	Original Article	36261600
61	Takata S, Miyake K, Maeda D 他	呼吸器内科	Proposal of a novel pipeline involving precise bronchoscopy of distal peripheral pulmonary lesions for genetic testing.	Sci Rep. 2022 Nov 17;12(1):19774.	Original Article	36396864
62	Futami Y, Takeda Y, Koba T	呼吸器内科	Identification of CD14 and lipopolysaccharide-binding protein as novel biomarkers for sarcoidosis using proteomics of serum extracellular vesicles.	Int Immunol. 2022 Jun 4;34(6):327-340.	Original Article	35294531
63	Yamaguchi Y, Nameki S, Kato Y et al.	呼吸器・免疫内科学	Persistence of SARS-CoV-2 neutralizing antibodies and anti-Omicron IgG induced by BNT162b2 mRNA vaccine in patients with autoimmune inflammatory rheumatic disease: an explanatory study in Japan.	Lancet Reg Health West Pac. 2023 Mar;32:100661.	Original Article	36569794
64	Hirayama T, Morita T, Funakoshi K et al.	呼吸器・免疫内科学	A case of Takayasu arteritis complicated with pulmonary infarction.	Oxf Med Case Reports. 2022 Dec 16;2022(12):omac140	Case report	36540845
65	Nakatsubo D, Maeda Y, Hosokawa K et al.	呼吸器・免疫内科学	A case of relapsing polychondritis localized to the laryngeal cartilage in which FDG-PET/CT was helpful for diagnosis.	Scand J Rheumatol. 2023 Jan;52(1):102-104.	Case report	35946909
66	Narazaki M, Kishimoto T.	呼吸器・免疫内科学	Current status and prospects of IL-6-targeting therapy.	Expert Rev Clin Pharmacol. 2022 May;15(5):575-592	Review	35791866
67	Watanabe A, Shima Y, Takahashi H et al.	呼吸器・免疫内科学	Arm heating to relieve Raynaud's phenomenon in systemic sclerosis: A single-arm multicentre prospective clinical trial.	Mod Rheumatol. 2022 Sep 19;roac116	Original Article	36124934
68	Watanabe A, Nishida S, Burcu T et al.	呼吸器・免疫内科学	Safety and immunogenicity of a quadrivalent seasonal influenza vaccine adjuvanted with hydroxypropyl-β-cyclodextrin: A phase 1 clinical trial.	Vaccine. 2022 Jul 29;40(31):4150-4159.	Original Article	35672178
69	Kato Y, Morita T, Kumanogoh A	呼吸器・免疫内科学	Efficacy and risk of mRNA vaccination in patients with autoimmune inflammatory rheumatic diseases.	Inflamm Regen. 2023 Jan 6;43(1):1	Review	36609472
70	Okita Y, Morita T, Kumanogoh A	呼吸器・免疫内科学	Duration of SARS-CoV-2 RNA positivity from various specimens and clinical characteristics in patients with COVID-19: a systematic review and meta-analysis.	Inflamm Regen. 2022 Jun 1;42(1):16.	Original Article	35642011
71	Tsujimoto K, Jo T, Nagira D et al.	呼吸器・免疫内科学	The lysosomal Ragulator complex activates NLRP3 inflammasome in vivo via HDAC6 .	EMBO J . 2023 Jan 4;42(1):e111389.	Original Article	36444797
72	Okamoto M, Kawada S, Fujii N et al.	呼吸器・免疫内科学	Rapid attenuation of anti-SARS-CoV-2 antibodies in patients with musculoskeletal diseases in whom intensive immunosuppressive therapies were reinitiated after COVID-19: comment on the article by Curtis et al	Arthritis Rheumatol . 2022 Apr;74(4):726-728.	Letter	34694062
73	Maeda Y, Motooka D, Kawasaki T et al.	呼吸器・免疫内科学	Longitudinal alterations of the gut mycobiota and microbiota on COVID-19 severity.	BMC Infect Dis . 2022 Jun 24;22(1):572.	Original Article	35751044

74	Akihisa Hino, Kentaro Fukushima, Shinsuke Kusakabe, et al.	血液・腫瘍内科	Prolonged gut microbial alterations in post-transplant survivors of allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Br J Haematol . 2023 May;201(4):725-737. Epub 2022 Dec 5.	Original Article	36468273
75	Doi, Y., T. Yokota, H. Shibayama, et al.	血液・腫瘍内科	A forodesine-based regimen as a therapeutic option for PTCL-NOS with Central nervous system involvement.	Leuk Lymphoma. 2022 Apr;63(4):1013-1015.	Letter	34852707
76	Hamanaka, Y., A. Tanimura, T. Yokota, et al.	血液・腫瘍内科	Impaired B cell terminal differentiation in B cell-specific knockout mice of cell death-defying factor anamorsin.	Biochem Biophys Res Commun. 2022 May 7;603:1-6.	Original Article	35259639
77	T Ozawa, K Fujii, T Sudo, et al.	血液・腫瘍内科	Special AT-Rich Sequence-Binding Protein 1 Supports Survival and Maturation of Naive B Cells Stimulated by B Cell Receptors.	J Immunol. 2022 Apr 15;208(8):1937-1946.	Original Article	35379742
78	T Kubo, A Hino, K Fukushima, et al.	血液・腫瘍内科	Nivolumab-induced systemic lymphadenopathy occurring during treatment of malignant melanoma: a case report.	Int J Hematol. 2022 Aug;116(2):302-306.	Case report	35201591
79	Nishimura JI, Ando K, Masuko M, et al.	血液・腫瘍内科	Tesidolumab (LFG316) for treatment of C5-variant patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria.	Haematologica. 2022 Jun 1;107(6):1483-1488.	Original Article	35263983
80	Nishimura JI, Usuki K, Ramos J, et al.	血液・腫瘍内科	Crovalimab for treatment of patients with paroxysmal nocturnal haemoglobinuria and complement C5 polymorphism: Subanalysis of the phase 1/2 COMPOSER study.	Br J Haematol. 2022 Aug;198(3):e46-e50.	Letter	35608260
81	Takami Y, Wang C, Nakagami H, et al.	老年・高血圧内科	Novel pathophysiological roles of α -synuclein in age-related vascular endothelial dysfunction	FASEB JFASEB J . 2022 Oct;36(10):e22555.	Original Article	36125010
82	Yasunobe Y, Akasaka H, Yamamoto K, et al.	老年・高血圧内科	The relationship between changes in exercise habits and psychosomatic activities in older hypertensive patients during the COVID-19 pandemic	Hypertens Res. 2023 Jan;46(1):208-213.	Original Article	36229528
83	Akasaka H, Nakagami H, Sugimoto K, et al.	老年・高血圧内科	Effects of nicotinamide mononucleotide on older patients with diabetes and impaired physical performance: A prospective, placebo-controlled, double-blind study	Geriatr Gerontol Int. 2023 Jan;23(1):38-43.	Original Article	36443648
84	Isaka M, Sugimoto K, Akasaka H, et al.	老年・高血圧内科	The Muscle Thickness Assessment Using Ultrasonography is a Useful Alternative to Skeletal Muscle Mass by Bioelectrical Impedance Analysis	Clin Interv Aging . 2022 Dec 15;17:1851-1861.	Original Article	36545348
85	Ito Y, Takeda S, Moroi S, et al.	老年・高血圧内科	Antiepileptic drugs modulate Alzheimer-related tau aggregation in a neuronal activity-independent manner	Dement Geriatr Cogn Disord . 2023 Mar 6. doi: 10.1159/000529915.	Original Article	36878194
86	Akasaka H, Sugimoto K, Shintani A, et al.	老年・高血圧内科	Effects of ipragliflozin on left ventricular diastolic function in patients with type 2 diabetes and heart failure with preserved ejection fraction: The EXCEED randomized controlled multicenter study.	Geriatr Gerontol Int 2022 Apr; 22(4): 298-304.	Original Article	35212104
87	Yamamoto K, Akasaka H, Yasunobe Y, et al.	老年・高血圧内科	Clinical characteristics of older adults with hypertension and unrecognized cognitive impairment.	Hypertens Res 2022 Apr; 45(4): 612-619.	Original Article	35210565
88	Mai Nakano , Akimitsu Miyake, Ryuichiro Egashira, et al.	漢方内科	Clinical Importance of Body Composition in Improving Bone Mineral Density of Femoral Neck After Denosumab Therapy in Patients With Rheumatoid Arthritis or Collagen Diseases	In Vivo . 2022 May-Jun;36(3):1468-1476.	Original Article	35478104
89	Ryuichiro Egashira, Tomoharu Sato, Akimitsu Miyake, et al.	漢方内科	The Japan Frailty Scale is a promising screening test for frailty and pre-frailty in Japanese elderly people	Gene . 2022 Nov 30;844:146775.	Original Article	36007804
90	Mariko Takeuchi, Michiko Matsunaga, Ryuichiro Egashira,	漢方内科	A multidimensional physical scale is a useful screening test for mild depression associated with childcare in Japanese child-rearing women	Front Psychiatry . 2022 Dec 1;13:969833.	Original Article	36532195
91	Kugo Y, Taira M, Watanabe T, et al.	心臓血管外科	Univentricular Conversion for Acquired Severe Right Ventricular Failure	Ann Thorac Surg . 2023 Mar;115(3):e75-e77.	Case report	35367436
92	Kawamura T, Toda K, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Less Invasive Left Ventricular Unloading With Impella May Improve the Clinical Outcomes of Fulminant Myocarditis	ASAIO J. Epub 2023 Feb 27.	Original Article	36848874

93	Yoshioka D, Toda K, Ono M, et al.	心臓血管外科	Effect of Diabetes Mellitus on Outcomes in Patients With Left Ventricular Assist Device – Analysis of Data From a Japanese National Database	Circ J . 2022 Nov 25;86(12):1950–1958.	Original Article	35786688
94	Inoue K, Fujita T, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Short-Term Outcomes of Magnetically Levitated Left Ventricular Assist Device in Advanced Heart Failure – The Japanese Cohort	Circ J . 2022 Nov 25;86(12):1961–1967.	Original Article	36273915
95	Miyagawa S, Kainuma S, Imanishi Y, et al.	心臓血管外科	Prognosis of Patients With Heart Failure Receiving Autologous Myoblast Patches – Comparison of Single-Arm Trial Data to Registry Data	Circ J . 2023 Mar 24;87(4):481–486.	Original Article	36384895
96	Handa K, Shijo T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	The technique of balloon occlusion-assisted repair of a pseudoaneurysm originated from the side branch of an ascending aortic prosthetic graft via mini-thoracotomy	Eur J Cardiothorac Surg. 2022 Nov 3	Case report	36367298
97	Shijo T, Shimamura K, Masada K, et al.	心臓血管外科	Outcomes and Ascending Aortic Diameter Change After Ascending Aortic Wrapping and Zone 0 Endografting	Eur J Vasc Endovasc Surg . 2022 Aug-Sep;64(2-3):276–277.	Original Article	35598723
98	Miyagawa S, Kainuma S, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Case report: Transplantation of human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte patches for ischemic cardiomyopathy	Front Cardiovasc Med. 2022 Aug 16	Case report	36051285
99	Hasegawa M, Tominaga Y, Watanabe T, et al.	心臓血管外科	Successful bridge to transplantation with long-term support using Berlin heart EXCOR in a child with failing Fontan	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Aug	Case report	35763237
100	Ide T, Shimamura K, Kuratani T, et al.	心臓血管外科	Impact of the Patency of Inferior Mesenteric Artery on 7-Year Outcomes After Endovascular Aneurysm Repair	J Endovasc Ther. 2022 Sep 17	Original Article	36120997
101	Misumi Y, Kainuma S, Toda K, et al.	心臓血管外科	Restrictive annuloplasty on remodeling and survival in patients with end-stage ischemic cardiomyopathy	J Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Jun 2	Original Article	35811142
102	Kawamura A, Maeda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Coronary access after repeat transcatheter aortic valve replacement in patients of small body size: A simulation study	J Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Dec 1	Original Article	36604286
103	Ide T, Masada K, Kuratani T, et al.	心臓血管外科	Challenging endovascular treatment of a thoracic saccular aneurysm in extensive coral reef aorta	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2022 Aug 5	Case report	36248381
104	Kawamura T, Yoshioka D, Kawamura M, et al.	心臓血管外科	Enhanced myocardial blood flow in ischemic cardiomyopathy by a slow-release synthetic prostacyclin agonist combined with coronary artery bypass grafting: The first human study in a Phase I/IIa clinical trial	Front Cardiovasc Med. 2023 Jan 25	Original Article	36760570
105	Maeda K, Kumamaru H, Kohsaka S, et al.	心臓血管外科	A Risk Model for 1-Year Mortality After Transcatheter Aortic Valve Replacement From the J-TVT Registry	JACC Asia. 2022 Oct 4	Original Article	36518724
106	Doita T, Kawamura T, Inoue K, et al.	心臓血管外科	Sudden severe left ventricular assist device inflow cannula obstruction caused by huge thrombus after closure of mechanical aortic valve: case report	J Artif Organs . 2022 Dec;25(4):364–367. Epub 2022 Apr 20.	Case report	35445295
107	Sakakibara S, Maeda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	A Case of CABG in a Patient with High Risk of Coronary Obstruction during TAV-in-TAV	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Jun 23	Case report	35732432
108	Tomita S, Maeda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	A Case of Ascending Aortic Replacement and Aortic Valve Replacement in a Patient with Giant Pseudoaneurysm of the Ascending Aorta due to Prosthetic Valve Endocarditis after Transcatheter Aortic Valve Replacement Using Evolut PRO	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Aug 24	Case report	36002292
109	Matsuda M, Maeda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	A Case of TAV-in-SAV in a Patient with Structural Valve Deterioration after Surgical Aortic Valve Replacement with the INSPIRIS RESILIA Valve	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Aug 23	Case report	36002299
110	Hamada Y, Shimamura K, Kin K, et al.	心臓血管外科	Successful trans-femoral retrieval of a stuck axillary Impella 5.0 device	J Artif Organs. 2022 Nov 27	Case report	36436162
111	Doita T, Shimamura K, Shijo T, et al.	心臓血管外科	Endovascular treatment of perigraft seroma in patient with prior hybrid thoracoabdominal repair using visceral bypass to relieve duodenal obstruction	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2022 Aug 8	Case report	36248385

112	Mori D, Miyagawa S, Kawamura T, et al.	心臓血管外科	Mitochondrial Transfer Induced by Adipose-Derived Mesenchymal Stem Cell Transplantation Improves Cardiac Function in Rat Models of Ischemic Cardiomyopathy	Cell Transplant. 2023 Jan-Dec	Original Article	36624995
113	Yokota J, Kuratani T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Efficacy of a Protective Sheet for Reducing Ocular Radiation Exposure During Transcatheter Aortic Valve Implantation	Circ J. 2022 Oct 25	Case report	36184556
114	Maeda S, Kawamura T, Chida D, et al.	心臓血管外科	Notch Signaling-Modified Mesenchymal Stem Cell Patch Improves Left Ventricular Function via Arteriogenesis Induction in a Rat Myocardial Infarction Model	Cell Transplant. 2023 Jan-Dec	Original Article	36946544
115	Maeda S, Toda K, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Long-term survival after surgical or transcatheter aortic valve replacement for low or intermediate surgical risk aortic stenosis: Comparison with general population	J Cardiol. 2023 Jan	Original Article	35985870
116	Kudo T, Kuratani T, Sawa Y, et al.	心臓血管外科	Effectiveness and Minimal-Invasiveness of Zone 0 Landing Thoracic Endovascular Aortic Repair Using Branched Endograft	J Clin Med. 2022 Nov 26	Original Article	36498553
117	Miyake K, Azuma N, Rinoie C, et al.	心臓血管外科	Regenerative Effect of Umbilical Cord-Derived Mesenchymal Stromal Cells in a Rat Model of Established Limb Ischemia	Circ J. 2022 Sep 27	Original Article	36171115
118	Nakazato T, Kawamura T, Uemura T, et al.	心臓血管外科	Engineered three-dimensional cardiac tissues maturing in a rotating wall vessel bioreactor remodel diseased hearts in rats with myocardial infarction	Stem Cell Reports. 2022 May 10	Original Article	35427484
119	Li J, Liu L, Zhang J, et al.	心臓血管外科	Engineered Tissue for Cardiac Regeneration: Current Status and Future Perspectives	Bioengineering (Basel). 2022 Oct 22	Review	36354516
120	Maeda S, Kawamura T, Sasaki M, et al.	心臓血管外科	Intravenous infusion of bone marrow-derived mesenchymal stem cells improves tissue perfusion in a rat hindlimb ischemia model	Sci Rep. 2022 Oct 10	Original Article	36216855
121	Zhang J, Qu X, Li J, et al.	心臓血管外科	Tissue Sheet Engineered Using Human Umbilical Cord-Derived Mesenchymal Stem Cells Improves Diabetic Wound Healing	Int J Mol Sci. 2022 Oct 21	Original Article	36293557
122	Qu X, Li J, Liu L, et al.	心臓血管外科	ONO-1301 enhances post-transplantation survival of human induced pluripotent stem cell-derived cardiac tissue sheet by promoting angiogenesis	J Heart Lung Transplant.Epub 2023 Feb 10.	Original Article	36964085
123	Hua Y, Yoshimochi K, Li J, et al.	心臓血管外科	Development and evaluation of a novel xeno-free culture medium for human-induced pluripotent stem cells	Stem Cell Res Ther. 2022 Jun 3	Original Article	35658933
124	Shintani Y, Kimura T, Funaki S, et al.	呼吸器外科	Therapeutic targeting of cancer-associated fibroblasts in non-small-cell lung cancer tumor microenvironment	Cancers (Basel).2023 Jan 4;15(2):335	Review	36672284
125	Funaki S,Ose N, Kimura T, et al.	呼吸器外科	Clinicopathological analysis of a superior sulcus tumor treated by salvage surgery after concurrent definitive chemoradiotherapy followed by durvalumab	Thoracic Cancer. 2022 Nov;13(22):3229-3232.	Case report	36193676
126	Matsui Y, Kanou T, Matsui T, et al.	呼吸器外科	Protective effect of calpain inhibition during cold ischemia on ischemia-reperfusion injury after lung transplantation	Transplantation. 2023 Jan 17. TP.0000000000004515	Original Article	36648297
127	Taniguchi S, Matsui T, Kimura K, et al.	呼吸器外科	In vivo induction of activin A-producing alveolar macrophages supports the progression of lung cell carcinoma	Nature Communications. 2023 Jan 17;14(1):143.	Original Article	36650150
128	Yuichiro Doki 1, Makoto Ueno 2, Chih-Hung Hsu 3 他	消化器外科	Tolerability and efficacy of durvalumab, either as monotherapy or in combination with tremelimumab, in patients from Asia with advanced biliary tract, esophageal, or head-and-neck cancer	Cancer Med. 2022 Jul;11(13):2550-2560.	Original Article	35611499
129	Yuki Noguchi , Yoko Yamamoto, Kota Iwahori 他	消化器外科	Tetracyclines Enhance Anti-tumor T-Cell Responses Induced by a Bispecific T-Cell Engager	Biol Pharm Bull . 2022;45(4):429-437.	Original Article	35370267
130	Hitomi Kajikawa , Michinari Hirata , Miya Haruna 他	消化器外科	Tumor-infiltrating ICOS+ Effector Regulatory T-Cells in Oral Squamous Cell Carcinoma as a Promising Biomarker for Prognosis and 'Hot' Tumor.	Anticancer Res . 2022 May;42(5):2383-2393.	Original Article	35489733
131	Kentaro Jingushi , Atsunari Kawashima , Takuro Saito 他	消化器外科	Circulating extracellular vesicles carrying Firmicutes reflective of the local immune status may predict clinical response to pembrolizumab in urothelial carcinoma patients.	Cancer Immunol Immunother. 2022 Dec;71(12):2999-3011.	Original Article	35598195
132	Tsunekazu Mizushima , Eri Udagawa , Miyuki Hasegawa 他	消化器外科	Etiologies and treatments of chronic intestinal failure-short bowel syndrome (SBS) in Japanese adults: a real-world observational study	Surg Today . 2022 Sep;52(9):1350-1357.	Original Article	35195767

133	Hiroki Kiyokawa , Masatoshi Abe , Takahiro Matsui 他	消化器外科	Deep Learning Analysis of Histologic Images from Intestinal Specimen Reveals Adipocyte Shrinkage and Mast Cell Infiltration to Predict Postoperative Crohn Disease	Am J Pathol . 2022 Jun;192(6):904–916.	Original Article	35358474
134	Momoe Utsumi , Terumasa Yamada , Kazuo Yamabe 他	消化器外科	Differences in risk factors for surgical site infection between laparotomy and laparoscopy in gastrointestinal surgery	PLoS One. 2022 Sep 19;17(9):e0274887.	Original Article	36121818
135	Kiyokazu Nakajima , Yoav Mintz , Felix Nickel 他	消化器外科	The EAES intellectual property awareness survey	Surg Endosc . 2022 May;36(5):3340–3346.	Original Article	34363113
136	Chu Matsuda , Toshihiro Kudo , Yoshihiro Morimoto 他	消化器外科	A phase II study of neoadjuvant capecitabine, oxaliplatin, and irinotecan (XELOXIRI) in patients with locally advanced rectal cancer	Ann Gastroenterol Surg . 2022 Jul 15;7(1):81–90.	Original Article	36643362
137	Yuki Makino , Hayato Hikita , Kenji Fukumoto 他	消化器外科	Constitutive Activation of the Tumor Suppressor p53 in Hepatocytes Paradoxically Promotes Non-Cell Autonomous Liver Carcinogenesis	Cancer Res . 2022 Aug 16;82(16):2860–2873.	Original Article	35696550
138	Keigo Yano , Hiramitsu Onishi , Takahiro Tsuboyama 他	消化器外科	Noninvasive Liver Fibrosis Staging: Comparison of MR Elastography with Extracellular Volume Fraction Analysis Using Contrast-Enhanced CT	J Clin Med . 2022 Sep 25;11(19):5653.	Original Article	36233521
139	Shotaro Tatekawa , Keisuke Tamari , Ryota Chijimatsu 他	消化器外科	N(6)-methyladenosine methylation-regulated polo-like kinase 1 cell cycle homeostasis as a potential target of radiotherapy in pancreatic adenocarcinoma	Sci Rep . 2022 Jun 30;12(1):11074.	Original Article	35773310
140	Wen Fang , Kunihito Gotoh , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Short- and Long-Term Impacts of Overweight Status on Outcomes Among Living Liver Donors	Transplant Proc . 2022 Apr;54(3):690–695.	Original Article	35282889
141	Goro Ueno , Yoshifumi Iwagami , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	ACAT-1-Regulated Cholesteryl Ester Accumulation Modulates Gemcitabine Resistance in Biliary Tract Cancer	Ann Surg Oncol . 2022 May;29(5):2899–2909.	Original Article	34994902
142	Katsuhiko Sato , Minoru Shigekawa , Kazuhiro Kozumi 他	消化器外科	Initial drainage-related prognostic factors for perihilar cholangiocarcinoma: A single-center retrospective study	DEN Open . 2022 May 22;3(1):e127.	Original Article	35898846
143	Yoshihiro Sakano , Takehiro Noda , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Clinical Significance of Acylphosphatase 1 Expression in Combined HCC-iCCA, HCC, and iCCA	Dig Dis Sci . 2022 Aug;67(8):3817–3830.	Original Article	34626299
144	Yuki Makino , Hayato Hikita , Seiya Kato 他	消化器外科	STAT3 is Activated by CTGF-mediated Tumor-stroma Cross Talk to Promote HCC Progression	Cell Mol Gastroenterol Hepatol . 2023;15(1):99–119. Epub 2022 Sep 20.	Original Article	36210625
145	Suguru Mitsufuji , Yoshifumi Iwagami , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Inhibition of Clusterin Represses Proliferation by Inducing Cellular Senescence in Pancreatic Cancer	Ann Surg Oncol . 2022 Aug;29(8):4937–4946.	Original Article	35397747
146	Hirotohi Takayama , Shogo Kobayashi , Kunihito Gotoh 他	消化器外科	Prognostic value of functional SMAD4 localization in extrahepatic bile duct cancer	World J Surg Oncol . 2022 Sep 10;20(1):291.	Original Article	36088360
147	Yoshihiro Sakano , Takehiro Noda , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Tumor endothelial cell-induced CD8(+) T-cell exhaustion via GPNMB in hepatocellular carcinoma	Cancer Sci . 2022 May;113(5):1625–1638.	Original Article	35289033
148	Ryota Chijimatsu , Shogo Kobayashi , Yu Takeda 他	消化器外科	Establishment of a reference single-cell RNA sequencing dataset for human pancreatic adenocarcinoma	iScience . 2022 Jun 22;25(8):104659.	Original Article	35847558
149	Katsunori Matsushita , Shogo Kobayashi , Hirofumi Akita 他	消化器外科	Clinicopathological significance of MYL9 expression in pancreatic ductal adenocarcinoma	Cancer Rep (Hoboken) . 2022 Oct;5(10):e1582.	Original Article	34821071
150	Yukinori Kurokawa , Tomono Kawase , Atsushi Takeno 他	消化器外科	Phase 2 trial of neoadjuvant docetaxel, oxaliplatin, and S-1 for clinical stage III gastric or esophagogastric junction adenocarcinoma	Ann Gastroenterol Surg . 2022 Oct 18;7(2):247–254	Original Article	36998295
151	Yukinori Kurokawa , Yuichiro Doki , Junki Mizusawa 他	消化器外科	Five-year follow-up of a randomised controlled trial comparing bursectomy and omentectomy alone for resectable gastric cancer (JCOG1001)	Br J Surg. 2022 Dec 13;110(1):50–56.	Original Article	36369984
152	Y Kurokawa , Y Honma , A Sawaki 他	消化器外科	Pimipib in patients with advanced gastrointestinal stromal tumor (CHAPTER-GIST-301): a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial.	Ann Oncol . 2022 Sep;33(9):959–967.	Original Article	35688358

153	Takehiro Noda , Hidekazu Takahashi , Mitsuyoshi Tei 他	消化器外科	Clinical outcomes of neoadjuvant chemotherapy for resectable colorectal liver metastasis with intermediate risk of postoperative recurrence: A multi-institutional retrospective study	Ann Gastroenterol Surg . 2022 Oct 21;7(3):479–490.	Original Article	37152774
154	Tomoki Makino , Makoto Yamasaki, Koji Tanaka 他	消化器外科	Multicenter randomised trial of two versus three courses of preoperative cisplatin and fluorouracil plus docetaxel for locally advanced oesophageal squamous cell carcinoma	Br J Cancer. 2022 Jun;126(11):1555–1562.	Original Article	35140339
155	Yoshito Tomimaru , Nariaki Fukuchi , Shigekazu Yokoyama 他	消化器外科	Effect of preserving the percutaneous gallbladder drainage tube before laparoscopic cholecystectomy on surgical outcome: Post-hoc analysis of the CSGO-HBP-017	J Gastrointest Surg . 2022 Jun;26(6):1224–1232.	Original Article	35314945
156	Yoshito Tomimaru , Shogo Kobayashi , Toshinori Ito 他	消化器外科	Different timing and risk factors of cause-specific pancreas graft loss after simultaneous pancreas kidney transplantation	Sci Rep. 2022 Oct 21;12(1):17666.	Original Article	36271021
157	Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino , Junichi Nishimura 他	消化器外科	Effectiveness of Triclosan-Coated Sutures Compared with Uncoated Sutures in Preventing Surgical Site Infection after Abdominal Wall Closure in Open/Laparoscopic Colorectal Surgery	J Am Coll Surg. 2022 Jun 1;234(6):1147–1159.	Original Article	35703813
158	Daisuke Sakai , Takeshi Omori , Soichi Fumita 他	消化器外科	Real-world effectiveness of third- or later-line treatment in Japanese patients with HER2-positive, unresectable, recurrent or metastatic gastric cancer: a retrospective observational study	Int J Clin Oncol . 2022 Jul;27(7):1154–1163.	Original Article	35489010
159	Daisaku Yamada , Shogo Kobayashi , Hidenori Takahashi 他	消化器外科	Pancreatic CT density is an optimal imaging biomarker for earlier detection of malignancy in the pancreas with intraductal papillary mucinous neoplasm	Pancreatology . 2022 May;22(4):488–496	Original Article	35396159
160	Masashi Hirota , Hidekazu Takahashi , Tsuoyoshi Takahashi	消化器外科	A Smoke Evacuator Equipped With a Filter Contributes Enough to Safe Gas Exhaustion From the Abdominal Cavity	Asian J Endosc Surg . 2022 Apr;15(2):427–431.	Original Article	34532969
161	Masashi Hirota , Hidekazu Takahashi , Yasuhiro Miyazaki	消化器外科	Surgical plume from tissue infected with human hepatitis B virus can contain viral substances	Minim Invasive Ther Allied Technol . 2022 Jun;31(5):728–736.	Original Article	33853487
162	Takuro Saito , Yukinori Kurokawa , Tsuoyoshi Takahashi 他	消化器外科	Neoadjuvant docetaxel, oxaliplatin and S-1 (DOS) combination chemotherapy for patients with resectable adenocarcinoma of esophagogastric junction.	Gastric Cancer. 2022 Sep;25(5):966–972.	Original Article	35488968
163	Kotaro Yamashita , Makoto Yamasaki , Yasuhiro Miyazaki 他	消化器外科	Protein-enhanced feeds after esophagectomy for esophageal cancer attenuate postoperative catabolism: a prospective observational study	Surg Today. 2022 Apr;52(4):624–632.	Original Article	34694492
164	Aya Kato, Norikatsu Miyoshi , Toru Ohtsuru 他	消化器外科	A Phase II Study of Dose-reductive XELOX Plus Bevacizumab in Elderly or Vulnerable Patients With Metastatic Colorectal Cancer (MCSGO-1202)	Anticancer Res . 2022 Apr;42(4):1859–1865.	Original Article	35347004
165	Yuki Ushimaru 1 2, Tsuoyoshi Takahashi 2, Kotaro Yamashita 2他	消化器外科	Translation from manual to automatic endoscopic insufflation enhanced by a pressure limiter	Surg Endosc . 2022 Sep;36(9):7038–7046.	Original Article	35041055
166	Yuki Ushimaru, Kazuki Odagiri , Kazunori Akeo 他	消化器外科	Efficacy of electrocoagulation hemostasis: a study on the optimal usage of the very-low-voltage mode.	Surg Endosc. 2022 Nov;36(11):8592–8599.	Original Article	35931893
167	Yuki Ushimaru, Tsuoyoshi Takahashi , Kiyokazu Nakajima 他	消化器外科	Real-world data on the efficacy and safety of adjuvant chemotherapy in Japanese patients with a high-risk of gastrointestinal stromal tumor recurrence.	Int J Clin Oncol. 2022 May;27(5):921–929.	Original Article	35152356
168	Yuki Ushimaru , Tatsuhiro Masaoka, Noriko Matsuura 他	消化器外科	A Preclinical Feasibility Study of Endoscopic Barostat: A Possible Diagnostic Tool for Visceral Hypersensitivity in Functional Dyspepsia	Dig Dis. 2022;40(5):675–683.	Original Article	34710865
169	Yoshitoshi Ichikawa, Hidekazu Takahashi , Yoshinao Chinen	消化器外科	Low G9a expression is a tumor progression factor of colorectal cancer via IL-8 promotion	Carcinogenesis. 2022 Sep 19;43(8):797–807.	Original Article	35640269
170	Takaomi Hagi , Yukinori Kurokawa , Junki Mizusawa 他	消化器外科	Impact of tumor-related factors and inter-institutional heterogeneity on preoperative T staging for gastric cancer.	Future Oncol. 2022 Jun;18(20):2511–2519.	Original Article	35582901
171	Takaomi Hagi , Tomoki Makino , Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Pathological Regression of Lymph Nodes Better Predicts Long-term Survival in Esophageal Cancer Patients Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgery.	Ann Surg. 2022 Jun 1;275(6):1121–1129.	Original Article	32910622

172	Takaomi Hagi , Yuji Ishii , Kotaro Yamashita 他	消化器外科	Usefulness of microfocus computed tomography in life science research: preliminary study using murine micro-hepatic tumor models	Surg Today. 2022 Apr;52(4):715-720.	Original Article	34694491
173	Moyuru Yamada , Koji Tanaka , Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio after neoadjuvant chemotherapy as an independent prognostic factor in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Oncol Lett. 2022 Dec 20;25(2):58.	Original Article	36644140
174	Masakatsu Paku , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino 他	消化器外科	Development and evaluation of a Japanese prediction model for low anterior resection syndrome after rectal cancer surgery	BMC Gastroenterol. 2022 May 13;22(1):239.	Original Article	35562665
175	Kiyotaka Hagihara , Naotsugu Haraguchi, Junichi Nishimura 他	消化器外科	ASO Visual Abstract: PLXND1/SEMA3E Promotes EMT Partly via the PI3K/AKT Signaling Pathway and Induces Heterogeneity in Colorectal Cancer	Ann Surg Oncol. 2022 Nov;29(12):7446-7447.	Original Article	35915297
176	Yoshifumi Watanabe, Tsunekazu Mizushima , Ryu Okumura 他	消化器外科	Fecal Stream Diversion Changes Intestinal Environment, Modulates Mucosal Barrier, and Attenuates Inflammatory Cells in Crohn's Disease	Dig Dis Sci . 2022 Jun;67(6):2143-2157.	Original Article	34041649
177	Yoshihiro Morimoto , Hidekazu Takahashi , Asami Masatoshi	消化器外科	High postoperative carcinoembryonic antigen as an indicator of high-risk stage II colon cancer	Oncol Lett . 2022 May;23(5):167.	Original Article	35414828
178	Kitakaze, Mamoru Uemura , Yuta Kobayashi 他	消化器外科	Postoperative pain management after concomitant sacrectomy for locally recurrent rectal cancer	Surg Today . 2022 Nov;52(11):1599-1606.	Original Article	35661260
179	Yuto Kubo , Koji Tanaka , Makoto Yamasaki 他	消化器外科	The Impact of Perioperative Fluid Balance on Postoperative Complications after Esophagectomy for Esophageal Cancer	J Clin Med. 2022 Jun 5;11(11):3219.	Original Article	35683605
180	Yuto Kubo , Koji Tanaka , Yasunori Masuike 他	消化器外科	Low mitochondrial DNA copy number induces chemotherapy resistance via epithelial-mesenchymal transition by DNA methylation in esophageal squamous cancer cells	J Transl Med. 2022 Aug 29;20(1):383.	Original Article	36038893
181	Yuto Kubo , Tomo Kobayashi , Naoki Yamamoto 他	消化器外科	The stability of a novel synthetic peptide-type hemostatic material under digestive enzyme.	Minim Invasive Ther Allied Technol . 2022 Oct;31(7):1026-1034.	Original Article	35736815
182	Kei Yamamoto , Koji Tanaka , Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Early postoperative weight loss is associated with poor prognosis in patients with esophageal cancer.	Esophagus . 2022 Oct;19(4):596-603.	Original Article	35857177
183	Ryohei Yukimoto , Mamoru Uemura , Takahiro Tsuboyama 他	消化器外科	Efficacy of PET/CT in diagnosis of regional lymph node metastases in patients with colorectal cancer: retrospective cohort study	BJS Open. 2022 Jul 7;6(4):zrac090.	Original Article	35950556
184	Suguru Mitsuji , Yoshifumi Iwagami , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	ASO Author Reflections: A Novel Mechanism of Suppressing Proliferation After Inhibition of Clusterin in Pancreatic Cancer	Ann Surg Oncol . 2022 Aug;29(8):4947-4948.	Original Article	35616749
185	Yu Takeda , Ryota Chijimatsu , Ken Ofusa 他	消化器外科	Cancer metabolism challenges genomic instability and clonal evolution as therapeutic targets	Cancer Sci. 2022 Apr;113(4):1097-1104.	Original Article	35112433
186	Yoshinori Hayashi , Kazutaka Akai , Shota Fujii 他	消化器外科	Ultra-thin surgical swab: its development and clinical application	Minim Invasive Ther Allied Technol . 2022 Aug;31(6):887-893.	Original Article	35098868
187	Yohei Nose , Kotaro Yamashita , Tomohira Takeoka 他	消化器外科	Perioperative Ghrelin Administration Attenuates Postoperative Skeletal Muscle Loss in Patients Undergoing Esophagectomy for Esophageal Cancer: Secondary Analysis of a Randomized Controlled Trial.	Ann Surg Oncol . 2022 Jun;29(6):3604-3612.	Original Article	35187621
188	Yohei Nose , Kotaro Yamashita , Tomohira Takeoka 他	消化器外科	ASO Author Reflections: Can Perioperative Ghrelin Administration Inhibit Postoperative Muscle Mass Loss in Esophageal Cancer Patients?	Ann Surg Oncol . 2022 Jun;29(6):3613-3614.	Original Article	35166955
189	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Toshiro Nishida 他	消化器外科	Efcacy and safety of regorafenib in Japanese patients with advanced gastrointestinal stromal tumors	Int J Clin Oncol . 2022 Jul;27(7):1164-1172.	Original Article	35435530
190	Ryugo Teranishi , Tsuyoshi Takahashi , Yukinori Kurokawa 他	消化器外科	Robotic Distal Gastrectomy Reduces Drain Amylase Values in Patients With a Small Pancreas-left Gastric Artery Angle	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech . 2022 Jun 1;32(3):311-318.	Original Article	35583613
191	Ryota Mori , Mamoru Uemura , Yuki Sekido 他	消化器外科	Locally advanced rectal cancer receiving total neoadjuvant therapy combined with nivolumab: a case report and literature review	World J Surg Oncol . 2022 May 26;20(1):166	Case report	35619103
192	Ryota Mori , Mamoru Uemura , Takahiro Tsuboyama 他	消化器外科	The prediction of postoperative anorectal dysfunction after low anterior resection for lower rectal cancer by measuring the volume of defecation-related muscles	Surg Today . 2022 May;52(5):745-754.	Original Article	35322295

193	Shinya Kato , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino 他	消化器外科	Combined inflammation and nutrition factors reinforce the prognostic prediction for stage III colorectal cancer patients	Anticancer Res. 2022 Oct;42(10):4989–4999.	Original Article	36192007
194	Soichiro Minami , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino 他	消化器外科	The Geriatric Nutritional Risk Index as a Prognosis Predictor in Patients With Rectal Cancer Receiving Neoadjuvant Chemotherapy	Anticancer Res. 2022 Jul;42(7):3759–3766.	Original Article	35790257
195	Soichiro Minami , Kazuhiro Saso, Norikatsu Miyoshi 他	消化器外科	Diagnosis of depth of submucosal invasion in colorectal cancer with AI using deep learning	Cancers (Basel). 2022 Oct 31;14(21):5361.	Original Article	36358780
196	Kazuya Kato, Yoshifumi Iwagami , Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Colorectal liver metastasis with bile duct tumor thrombus discovered 15 years post primary tumor resection: a case report and literature review	Int Cancer Conf J . 2022 Oct 26;12(1):75–80.	Case report	36605844
197	Hiromichi Sato , Kazuki Sasaki , Tomoaki Hara 他	消化器外科	Targeting the regulation of aberrant protein production pathway in gastrointestinal cancer treatment	Front Oncol. 2022 Oct 21;12:1018333.	Original Article	36338771
198	Hiromichi Sato , Kazuki Sasaki , Tomoaki Hara 他	消化器外科	Pancreatic Cancer Research beyond DNA Mutations.	Biomolecules. 2022 Oct 17;12(10):1503.	Original Article	36291712
199	Hiromichi Sato , Tomoaki Hara , Shotaro Tatekawa 他	消化器外科	Emerging roles of long noncoding and circular RNAs in pancreatic ductal adenocarcinoma	Front Physiol. 2022 Nov 14;13:1025923.	Original Article	36452037
200	Kurumi Tsuchihashi , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino他	消化器外科	Risk factors for predicting lymph node metastasis in submucosal colorectal cancer	J Anus Rectum Colon . 2022 Jul 28;6(3):181–189.	Original Article	35979275
201	Naoko Sekiguchi , Tsuayoshi Takahashi , Kiyokazu Nakaiima 他	消化器外科	Laparoscopic resection for imatinib-resistant recurrent tumors of gastric gastrointestinal stromal tumors: A case report	Asian J Endosc Surg . 2022 Jul;15(3):638–641.	Case report	35108756
202	Shimon Hayase , Norikatsu Miyoshi , Shiki Fujino他	消化器外科	Fibroblast Activation Protein and Tertiary Lymphoid Structure in Colorectal Cancer Recurrence	Anticancer Res. 2022 Dec;42(12):5897–5907.	Original Article	36456145
203	Tomomi Horii , Junji Kozawa , Yukari Fujita他	消化器外科	Lipid droplet accumulation in β cells in patients with type 2 diabetes is associated with insulin resistance, hyperglycemia and β cell dysfunction involving decreased insulin granules	Front Endocrinol (Lausanne). 2022 Sep 20;13:996716.	Original Article	36204103
204	Hashizume S,Shimoda M, Yoshinami T,	乳腺内分泌外科	Hypercalcemia affected in metastatic breast cancer patients without bone metastasis: report of three cases.	Surg Case Rep . 2022 Nov 26;8(1):210.	Case report	36435947
205	Kubo A, Tanei T, R Pradipta A,	乳腺内分泌外科	Comparison of “click-to-sense” assay with frozen section analysis using simulated surgical margins in breast cancer patients.	Eur J Surg Oncol . 2022 Jul;48(7):1520–1526.	Original Article	35568608
206	Miyake T,Shimazu K	乳腺内分泌外科	Third-look contrast-enhanced ultrasonography plus needle biopsy for differential diagnosis of magnetic resonance imaging-only detected breast lesions	J Med Ultrason (2001) . 2023 Mar 11.	Review	36905491
207	Oji Y, Kagawa N, Arita H	乳腺内分泌外科	WT1 Trio Peptide-Based Cancer Vaccine for Rare Cancers Expressing Shared Target WT1	Cancers (Basel) . 2023 Jan 6;15(2):393.	Original Article	36672344
208	Ueno T, Deguchi K, Masahata K, et al.	小児外科	Treatment and follow-up of late onset intra hepatic bile duct stones in congenital biliary dilatation	Pediatr Surg Int . 2022 Nov 30;39(1):20.	Original Article	36449153
209	Ueno T, Takase K, Deguchi K, et al.	小児外科	Early detection of liver fibrosis with serum Mac-2 binding protein glycosylation-modified isomer (M2BPGi) during follow-up intestinal failure patients without intestinal failure-associated liver disease (IFALD)	Pediatr Surg Int . 2022 Dec;38(12):1807–1813.	Original Article	36125546
210	Ueno T, Takase K, Toyama C, et al.	小児外科	Clinical implications of serum autotoxin in regular follow up after pediatric living donor liver transplantation for biliary atresia	J Pediatr Surg . 2022 Jul;57(7):1215–1220.	Original Article	35396089
211	Masahata K, Matsumoto S, Watanabe M, et al.	小児外科	Thoracoscopic segmentectomy for congenital pulmonary airway malformation arising in a lung with an accessory fissure: A case report.	Asian J Endosc Surg . 2023 Jan;16(1):110–113.	Case report	35854407
212	Masahata K, Yamoto M, Umeda S, et al.	小児外科	Prenatal predictors of mortality in fetuses with congenital diaphragmatic hernia: a systematic review and meta-analysis.	Pediatr Surg Int . 2022 Dec;38(12):1745–1757.	Original Article	36102982
213	Deguchi K, Saka R, Nomura M, et al.	小児外科	Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure for Hydrocele of the Canal of Nuck in Children.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A . 2022 Sep;32(9):1022–1026.	Original Article	35904965

214	Deguchi K, Watanabe M, Yoneyama T, et al.	小児外科	Tension-free thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia combined with a percutaneous extracorporeal closure technique: how to do it.	Surg Today Epub 2022 Nov 4.	Original Article	36333435
215	Deguchi K, Saka R, Watanabe M, et al.	小児外科	Ileocecal valve-sparing surgery for duplication cysts in the terminal ileum: two case reports and literature review.	Surg Case Rep . 2022 Jul 6;8(1):130.	Original Article	35792950
216	Todo M, Okuyama H, Saka R, et al.	小児外科	A case of successful slide tracheoplasty for long-segment congenital tracheal stenosis in a neonate with a congenital diaphragmatic hernia and Fallot's tetralogy.	Surg Case Rep . 2022 Apr 13;8(1):66.	Original Article	35416626
217	Toyama C, Maeda A, Kogata S, et al.	小児外科	Suppression of xenogeneic innate immune response by a membrane-type human surfactant protein-A	Exp Ther Med . 2022 Jul 26;24(3):590.	Original Article	35949334
218	Kogata S, Lo PC, Maeda A, et al.	小児外科	Suppression of macrophage-mediated xenogeneic rejection by the ectopic expression of human CD177	Transpl Immunol . 2022 Oct;74:101663.	Original Article	35835297
219	Miyagawa S, Maeda A, Toyama C, et al.	小児外科	Aspects of the Complement System in New Era of Xenotransplantation.	Front Immunol . 2022 Apr 14;13:860165.	Review	35493484
220	Maeda A, Yamamoto R, Mizuno S, et al.	小児外科	Efficacy of a 365 nm Ultraviolet A1 light Emitting Diode (UVA1-LED) in in vitro Extracorporeal Photopheresis	Photochem Photobiol . 2022 Sep;98(5):1229-1235.	Original Article	35238039
221	Toyama C, Maeda A, Kogata S, et al.	小児外科	Effect of a C5a receptor antagonist on macrophage function in an intestinal transplant rat model	Transpl Immunol . 2022 Jun;72:101559.	Original Article	35227893
222	Morii E, Hatanaka Y, Motoi N, et al.	病理診断科	Guidelines for Handling of Cytological Specimens in Cancer Genomic Medicine	Pathobiology. 2023 Feb 8:1-23.	Review	36754025
223	Onishi T, Takashima T, Kurashige M, et al.	病理診断科	Mutually exclusive expression of EZH2 and H3K27me3 in non-small cell lung carcinoma.	Pathol Res Pract. 2022 Aug 12;238:154071.	Original Article	35985089
224	Nojima S, Ishida S, Terayama K, et al.	病理診断科	A Novel Three-Dimensional Imaging System Based on Polysaccharide Staining for Accurate Histopathological Diagnosis of Inflammatory Bowel Diseases.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2022;14(4):905-924.	Original Article	35835392
225	Matsui T, Iwasa A, Mimura M,	病理診断科	Label-free multiphoton excitation imaging as a promising diagnostic tool for breast cancer.	Cancer Sci. 2022 Aug;113(8):2916-2925.	Original Article	35579268
226	Fukuyama S, Hashida N, Nishida K.	眼科	Ultrawide-field OCT for Acute Retinal Necrosis.	Ophthalmol Retina . 2023 May;7(5):397.Epub 2023 Feb 3.	Original Article	36739237
227	Oie Y, Sugita S, Yokokura S, 他	眼科	Clinical Trial of Autologous Cultivated Limbal Epithelial Cell Sheet Transplantation for Patients with Limbal Stem Cell Deficiency.	Ophthalmology . 2023 Jun;130(6):608-614.Epub 2023 Feb 1.	Original Article	36736434
228	Koh S, Soma T, Jhanji V, 他	眼科	Acute Corneal Hydrops in Keratoconus Coinciding With COVID-19 Infection.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila) . 2022 Sep 21.	Original Article	36219065
229	Sato S, Morimoto T, Fujikado T, 他	眼科	Extensive Macular Atrophy with Pseudodrusen in a Japanese Patient Evaluated by Wide-Field OCTA.	Case Rep Ophthalmol . 2022 Nov 16;13(3):847-854.	Case report	36605038
230	Tanikawa A, Soma T, Miki A,	眼科	Intraoperative optical coherence tomography observation with perfluorocarbon tamponade for subretinal membranes in proliferative vitreous retinopathy.	Retin Cases Brief Rep . 2022 Sep 6.	Original Article	36084328
231	Tanikawa A, Soma T, Miki A, 他	眼科	Assessment of the corneal biomechanical features of granular corneal dystrophy type 2 using dynamic ultra-high-speed Scheimpflug imaging.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2023 Mar;261(3):761-767.	Original Article	36178505
232	Wakabayashi T, Hara C, Shiraki A, 他	眼科	Simultaneous intravitreal aflibercept and gas injections for submacular hemorrhage secondary to polypoidal choroidal vasculopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2023 Jun;261(6):1545-1552. Epub 2022 Dec 7.	Original Article	36473986
233	Nishida K, Morimoto T, Terasawa Y, 他	眼科	The influence of stimulating electrode conditions on electrically evoked potentials and resistance in suprachoroidal transretinal stimulation.	Jpn J Ophthalmol . 2023 Mar;67(2):182-188.	Original Article	36626079

234	Koh S, Inoue R, Iwamoto Y,他	眼科	Comparison of Ocular Wavefront Aberration Measurements Obtained Using Two Hartmann-Shack Wavefront Aberrometers.	Eye Contact Lens . 2023 Mar 1;49(3):98-103.	Original Article	36729105
235	Shiraki A, Sakaguchi H, Nishida K.	眼科	NEW, SIMPLE, AND SAFE SURGICAL TECHNIQUE FOR THE REMOVAL OF A DISLOCATED CAPSULAR TENSION RING-INTRAOCULAR LENS-CAPSULAR BAG COMPLEX.	Retin Cases Brief Rep . 2023 Mar 1;17(2):134-136.	Original Article	35170297
236	Koh S, Soma T, Oie Y,他	眼科	First Diquafosol Treatment for Dry Eye: 10-Year Follow-Up.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila) . 2023 Jan-Feb;12(1):103-104.	Original Article	35342178
237	Hara C, Wakabayashi T, Nishida K.	眼科	Macular Star Associated with Fibrinous Central Serous Chorioretinopathy.	Ophthalmology . 2023 Jan;130(1):76.	Original Article	35773069
238	Hara C, Wakabayashi T, Sayanagi K,他	眼科	Refractory Age-Related Macular Degeneration Due to Concurrent Central Serous Chorioretinopathy in Previously Well-Controlled Eyes.	Pharmaceuticals (Basel) . 2023 Jan 8;16(1):89.	Case report	36678586
239	Kanai M, Sakimoto S, Takahashi S,他	眼科	Embedding Technique versus Conventional Internal Limiting Membrane Peeling for Lamellar Macular Holes with Epiretinal Proliferation.	Ophthalmol Retina . 2023 Jan;7(1):44-51.	Original Article	35933107
240	Mimoto T, Hashida N, Nishida K.	眼科	Idiopathic Multicentric Castleman Disease Presenting With Hypertensive Choroidopathy: A Case Report.	Cureus . 2023 Jan 4;15(1):e33368.	Case report	36751243
241	Goto S, Maeda N, Ohnuma K,他	眼科	Preliminary demonstration of a novel intraocular lens power calculation: the O formula.	J Cataract Refract Surg . 2022 Nov 1;48(11):1305-1311.	Original Article	35642086
242	Maeno S, Koh S, Inoue R,他	眼科	Fourier Analysis on Irregular Corneal Astigmatism Using Optical Coherence Tomography in Various Severity Stages of Keratoconus.	Am J Ophthalmol . 2022 Nov;243:55-65.	Original Article	35850250
243	Maeno S, Soma T, Nishida K.	眼科	A Case of Clinically Atypical Gelatinous Drop-like Corneal Dystrophy With Unilateral Recurrent Amyloid Depositions.	Cornea . 2022 Nov 1;41(11):1447-1450.	Case report	36219213
244	Araki S, Sakimoto S, Shiozaki D,他	眼科	Microvascular Changes in the Cystic Lesion of Branch Retinal Vein Occlusion Imaged by Swept-Source Optical Coherence Tomography Angiography.	Biomed Hub . 2022 Aug 16;7(2):99-105.	Original Article	36262676
245	Koh S, Chalmers R, Yamasaki K,他	眼科	Factors influencing the 8-item contact lens dry eye questionnaire score and comparison of translations in Japanese soft contact lens wearers.	Cont Lens Anterior Eye . 2022 Oct;45(5):101519.	Original Article	34620551
246	Wakabayashi T, Hara C, Nishida K.	眼科	Retinal Arteriogenesis after Vaso-Occlusive Lupus Retinopathy.	Ophthalmology . 2022 Oct;129(10):1191.	Original Article	35753862
247	Eguchi M, Sakaguchi H, Shiraki A,他	眼科	Treatment of Descemet's membrane detachment after primary Descemet's stripping automated endothelial keratoplasty during surgery using intraoperative optical coherence tomography.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022;28:101715.eCollection 2022 Sep.	Case report	35761877
248	Nakagawa N, Morimoto T, Miyamura T,他	眼科	A case of retinoblastoma resulting in phthisis bulbi after proton beam radiation therapy.	Am J Ophthalmol Case Rep . 2022 Sep 29;28:101715.	Case report	36204723
249	Sayanagi K, Fujimoto S, Hara C,他	眼科	Characteristics of choroidal neovascularization in elderly eyes with high myopia not meeting the pathologic myopia definition.	Sci Rep . 2022 Aug 13;12(1):13795.	Original Article	35963943
250	Fujimoto S, Miki A, Maruyama K,他	眼科	Three-Dimensional Volume Calculation of Intrachoroidal Cavitation Using Deep-Learning-Based Noise Reduction of Optical Coherence Tomography.	Transl Vis Sci Technol . 2022 Jul 8;11(7):1.	Original Article	35802370
251	Hamano Y, Maruyama K, Oie Y,他	眼科	Novel corneal morphological alterations in Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Jpn J Ophthalmol . 2022 Jul;66(4):358-364.	Original Article	35508747
252	Yoshinaga Y, Soma T, Azuma S,他	眼科	Long-term survival in non-human primates of stem cell-derived, MHC-unmatched corneal epithelial cell sheets.	Stem Cell Reports . 2022 Jul 12;17(7):1714-1729.	Original Article	35750044
253	Hashida N, Asao K, Hara C,他	眼科	Mitochondrial DNA as a Biomarker for Acute Central Serous Chorioretinopathy: A Case-Control Study.	Front Med (Lausanne) . 2022 Jun 21;9:938600.	Original Article	35801206

254	Koh S, Inoue R, Maeno S,他	眼科	Characteristics of Higher-Order Aberrations in Different Stages of Keratoconus.	Eye Contact Lens . 2022 Jun 1;48(6):256-260.	Original Article	35333804
255	Hayashi R, Okubo T, Kudo Y,他	眼科	Generation of 3D lacrimal gland organoids from human pluripotent stem cells.	Nature . 2022 May;605(7908):126-131.	Original Article	35444274
256	Kobayashi R, Hashida N, Maruyama K,他	眼科	Clinical Findings of Specular Microscopy Images in Cytomegalovirus Corneal Endotheliitis.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila) . 2022 May 1;11(3):273-278.	Original Article	35772085
257	Miyazawa K, Sakimoto S, Kanai M,他	眼科	Vascular tortuosity analysis in eyes with epiretinal membrane imaged by optical coherence tomography angiography.	BMC Ophthalmol . 2022 May 2;22(1):198.	Original Article	35501767
258	Takahashi S, Kawashima R, Morimoto T,他	眼科	Analysis of optic disc tilt angle in intrapapillary hemorrhage adjacent to peripapillary subretinal hemorrhage using swept-source optical coherence tomography.	Am J Ophthalmol Case Rep . 2022 May 24;27:101598.	Case report	35651596
259	Tanaka H, Uno A, Takenaka Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clearance Profile of Circulating Tumor Human Papillomavirus DNA During Radiotherapy Predicts Clinical Outcomes in Human Papillomavirus-Related Oropharyngeal Cancer.	JCO Precis Oncol. 2023 Feb.	Original Article	36787504
260	Takenaka Y, Uno A, Tanaka H, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Early-stage glottic cancer of rare squamous cell carcinoma variants: a population-based study	Acta Otolaryngol. 2023 Jan.	Review	36595382
261	Tsuda T, Takeda K, Fujii S, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Pseudo-malignant paranasal invasive aspergillosis showing bone destruction and FDG uptake on PET/CT: A case report.	Medicine (Baltimore) . 2022 Nov.	Case report	36397331
262	Takenaka Y, Uno A, Tanaka H, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Radiation vs surgery for early-stage laryngeal verrucous carcinoma: A population-based propensity score matched-study.	PLoS One. 2022 Oct.	Review	36315501
263	Nakatani A, Tsuda T, Maeda Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	S100A8 enhances IL-1 β production from nasal epithelial cells in eosinophilic chronic rhinosinusitis.	Allergol Int. 2023 Jan.	Original Article	36117020
264	Takenaka Y, Takemoto N, Otsuka T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Predictive significance of body composition indices in patients with head and neck squamous cell carcinoma treated with nivolumab: A multicenter retrospective study.	Oral Oncol. 2022 Sep.	Original Article	35835055
265	Kitamura K, Suzuki H, Abe R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Dual function of SF3B2 on chromatin and RNA to regulate transcription in head and neck squamous cell carcinoma.	Cell Biosci. 2022 Jun.	Original Article	35715826
266	Tanida M, Hayama M, Maeda Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Organized Hematoma after Intra-Arterial Chemoradiotherapy for Maxillary Sinus Cancer: A Case Report.	Ear Nose Throat J. 2022 Apr.	Case report	35392701
267	Takenaka Y, Oya R, Takemoto N, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prognostic marker for head and neck squamous cell carcinoma treated with immune checkpoint inhibitors: Meta-analysis.	Head Neck. 2022 May.	Review	35146824
268	Ohta Y, Imai T, Maekawa Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The effect of cochlear implants on cognitive function in older adults: A prospective, longitudinal 2-year follow-up study.	Auris Nasus Larynx. 2022 Jun.	Original Article	34688505
269	Obata S, Hayama M, Maeda Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A slowly progressive lesion of frontal sinus with bone destruction.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2022 Apr	Case report	33845187
270	Hidetatsu Outani, Kenichiro Hamada, Naohiro Yasuda, et al.	整形外科	Impact of surgical resection on survival in patients with metastatic soft tissue sarcoma and comparison between synchronous and metachronous metastases	J Orthop Sci . 2022 Jul;27(4):892-898	Original Article	34024721
271	Kosuke Kita , Keisuke Uemura , Masaki Takao, et at.	整形外科	Use of artificial intelligence to identify data elements for The Japanese Orthopaedic Association National Registry from operative records	J Orthop Sci . 2022 Sep 23;S0949-2658(22)00243-3.	Original Article	36163118
272	Miyamura, S., Temporin, K., Miyata, S., et al.	整形外科	Arthroscopic Debridement for Refractory Lateral Epicondylitis Results for Substantial Improvement in Tendinosis Scores and Good Clinical Outcomes: Qualitative and Quantitative Magnetic Resonance Imaging Analysis	Arthroscopy . 2022 Dec;38(12):3120-3129.	Original Article	35963597

273	Etani Y, Hirao M, Ebina K, et al.	整形外科	Improvement of Knee Alignment and Function After Corrective Surgery for Hindfoot Deformity: A Report of 3 Cases	JBJS Case Connect . 2022 May 12;12(2).	Case report	36099443
274	Etani Y, Hirao M, Ebina K, et al.	整形外科	Modified Scarf Osteotomy with Medial Capsular Interposition Combined with Metatarsal Shortening Offset Osteotomy: A Comparison of Patients with Noninflammatory Arthritis and Rheumatoid Arthritis of the Foot	J Bone Joint Surg Am . 2022 Jul 20;104(14):1269–1280.	Original Article	35700087
275	Ryota Nakamura, MD, Koichi Tomita, MD, Nanaho Omura, MD, et al.	形成外科	Bipedicled SIEA Flap with Deep Inferior Epigastric Artery and Vein Grafts for Breast Reconstruction	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2022 Aug 24;10(8):e4484.	Case report	36032370
276	Naoya Otani, Koichi Tomita, Yuki Kobayashi, et al.	形成外科	Hydrogen-generating Si-based agent protects against skin flap ischemia-reperfusion injury in rats	Sci Rep . 2022 Apr 13;12(1):6168.	Original Article	35418596
277	Naoya Otani, MD, Koichi Tomita, MD, PhD, Mifue Taminato, MD, et al.	形成外科	Sensory Reinnervation With Subcutaneously Embedded Innervated Flaps: An Experimental Study in Rats	Ann Plast Surg . 2022 Apr 1;88(4):e1–e8.	Original Article	34387580
278	Megumi Ishii, MD, Hiroki Tashima, MD, PhD, Koichi Tomita, MD, PhD, et al.	形成外科	Moisturization of the Surgical Field during Cancer Resection Reduces Perioperative Complications in Reconstruction Surgery	Plast Reconstr Surg Glob Open . 2022 May 2;10(5):e4296.	Original Article	35510224
279	Naoya Otani, Koichi Tomita, Kazuya Kuroda, et al.	形成外科	Effects of Temporary and Permanent Muscle Denervation on Fat Graft Retention in the Latissimus Dorsi Muscle: An Experimental Study in Rats	Aesthetic Plast Surg . 2022 Aug;46(4):1942–1949.	Original Article	35226118
280	Yonenobu Y, Beck G, Kido K, et al	神経内科・脳卒中科	Neuropathology of spinocerebellar ataxia type 8: Common features and unique tauopathy.	Neuropathology. 2023 Jan (オンライン)	Original Article	36703300
281	Beck G, Yamashita R, Kido K, et al	神経内科・脳卒中科	An autopsy case of progressive supranuclear palsy treated with monoclonal antibody against tau.	Neuropathology. 2023 Jan (オンライン)	Case report	36593715
282	Yamashita R, Beck G, Yonenobu Y, et al	神経内科・脳卒中科	TDP-43 Proteinopathy Presenting with Typical Symptoms of Parkinson's Disease.	Mov Disord. 2022 Jul;37(7):1561–1563.	Letter	35531755
283	Beck G, Shigenobu K, Ukon K, et al	神経内科・脳卒中科	An autopsy case of Alzheimer's disease with amygdala-predominant Lewy pathology presenting with frontotemporal dementia-like psychiatric symptoms.	Neuropathology. 2022 Apr;42(2):147–154.	Case report	35112739
284	Nakamori M, Shimizu H, Kotaro Ogawa, et al.	神経内科・脳卒中科	Cell type-specific abnormalities of central nervous system in myotonic dystrophy type 1.	Brain Commun. 2022 Jun 10;4(3):facc154.	Original Article	35770133
285	Mougina K Eltahir, Masayuki Nakamori, Satoshi Hattori, et al.	神経内科・脳卒中科	Pharmacotherapy alleviates pathological changes in human direct reprogrammed neuronal cell model of myotonic dystrophy type 1.	PLoS One. 2022 Jul 1;17(7):e0269683.	Original Article	35776705
286	Teruyuki Ishikura, Tatsusada Okuno, Toshiyuki Takahashi, et al.	神経内科・脳卒中科	Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody-associated Disease with Frequent Cerebellitis.	Intern Med. 2022 Dec 1;61(23):3629–3630.	Case report	35569984
287	Kousuke Baba, Tokiko Fukuda, Mitsuru Furuta, et al.	神経内科・脳卒中科	A Mild Clinical Phenotype with Myopathic and Hemolytic Forms of Phosphoglycerate Kinase Deficiency (PGK Osaka): A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2022 Dec 1;61(23):3589–3594.	Case report	35527021
288	Chi-Jing Choong, Hideki Mochizuki	神経内科・脳卒中科	Neuropathology of α -synuclein in Parkinson's disease.	Neuropathology. 2022 Apr;42(2):93–103.	Review	35362115
289	Yasutaka Murakami, Shuhei Okazaki, Makoto Yamamoto, et al.	神経内科・脳卒中科	Ischemic Stroke Due to Heparin-induced Thrombocytopenia during Severe COVID-19 Infection.	Intern Med. 2022 Sep 15;61(18):2797–2801.	Case report	35793954
290	Yoshiaki Yasumizu, Naganari Ohkura, Hisashi Murata, et al.	神経内科・脳卒中科	Myasthenia gravis-specific aberrant neuromuscular gene expression by medullary thymic epithelial cells in thymoma.	Nat Commun. 2022 Jul 22;13(1):4230.	Original Article	35869073
291	Kimura I, Revankar GS, Ogawa K, et al.	神経内科・脳卒中科	Neural correlates of impulsive compulsive behaviors in Parkinson's disease: A Japanese retrospective study.	Neuroimage Clin. 2023;37:103307.. Epub 2022 Dec 28.	Original Article	36586362
292	Takuya Ogawa, Yuta Kajiyama, Hideaki Ishido, et al.	神経内科・脳卒中科	Decreased cerebrospinal fluid orexin levels not associated with clinical sleep disturbance in Parkinson's disease: A retrospective study.	PLoS One. 2022 Dec 30;17(12):e0279747.	Original Article	36584130

293	Keigo Kihara , Makoto Kinoshita , Tomoyuki Sugimoto , et al .	神経内科・脳卒 中科	Humoral and cellular responses to SARS-CoV-2 vaccination in patients with autoantibody-mediated neuroimmunology.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2023 Jun;94(6):495-497.Epub 2023 Jan 3.	Letter	36596701
294	Yasufumi Gon , Ling Zha , Tsutomu Sasaki , et al .	神経内科・脳卒 中科	Stroke mortality in cancer survivors: A population-based study in Japan.	Thromb Res. 2023 Feb;222:140-148.	Original Article	36682150
295	Yasufumi Gon , Tsutomu Sasaki , Tomohiro Kawano , et al .	神経内科・脳卒 中科	Impact of stroke on survival in patients with cancer.	Thromb Res. 2023 Feb;222:109-112.	Letter	36640565
296	Tatsuhiko Ozono , Yasuyoshi Kimura , Tadahiro Suenaga , et al .	神経内科・脳卒 中科	Extracellular transportation of α -synuclein by HLA class II molecules.	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Feb 12;644:25-33.	Original Article	36621149
297	Haomin Yan , Tsutomu Sasaki , Hideaki Kanki , et al .	神経内科・脳卒 中科	MDMX elevation by a novel Mdmx-p53 interaction inhibitor mitigates neuronal damage after ischemic stroke.	Sci Rep. 2022 Dec 6;12(1):21110.	Original Article	36473920
298	Chi-Jing Choong , César Aguirre , Keita Kakuda et, al .	神経内科・脳卒 中科	Phosphatidylinositol-3,4,5-trisphosphate interacts with alpha-synuclein and initiates its aggregation and formation of Parkinson's disease-related fibril polymorphism	Acta Neuropathol . 2023 May;145(5):573-595. Epub 2023 Mar 20.	Original Article	36939875
299	Yasuko Sugiyama 1, Kazushiro Takata 1, Makoto Kinoshita 2,	神経内科・脳卒 中科	Food additive succinate exacerbates experimental autoimmune encephalomyelitis accompanied by increased IL-1 β production	Biochem Biophys Res Commun. Epub 2023 Mar 16. . 2023 May 14;656:97-103	Others	36958260
300	Kotaro Ogawa 1, Lam C Tsoi 2, Hiroaki Tanaka 3	神経内科・脳卒 中科	A cross-trait genetic correlation study identified eight diseases and traits associated with psoriasis	J Invest Dermatol. 2023 Mar 9;S0022-202X(23)00172-0	Letter	36906125
301	Haomin Yan 1, Tomohiro Kawano 1, Hideaki Kanki	神経内科・脳卒 中科	Role of Polymorphonuclear Myeloid-Derived Suppressor Cells and Neutrophils in Ischemic Stroke	J Am Heart Assoc . 2023 Mar 21;12(6):e028125	Others	36892072
302	Shuhei Okazaki 1, Takeshi Yoshimoto 1, Mariko Ohara 1	神経内科・脳卒 中科	Effect of the RNF213 p.R4810K Variant on the Progression of Intracranial Artery Stenosis: A 15-Year Follow-up Study.	Neurol Genet . 2022 Sep 27;8(5):e200029	Review	36324634
303	K. Mori, M.Ikeda.,	神経科・精神科	Biological basis and psychiatric symptoms in frontotemporal dementia	Psychiatry Clin Neurosci 2022 Aug;76(8):351-360	Review	35557018
304	K.Watanabe, H.Adachi, R.Yamamoto et al .	神経科・精神科	Increased digital media use is associated with sleep problems among university students: A study during the COVID-19 pandemic in Japan	Front Psychiatry. 2022 Aug 29;13:946265.	Original Article	36104989
305	H.Kanemoto, Y.Satake, T.Suehiro et al .	神経科・精神科	Characteristics of very late-onset schizophrenia-like psychosis as prodromal dementia with Lewy bodies: a cross-sectional study	Alzheimers Res Ther. 2022 Sep 22;14(1):137	Original Article	36138485
306	Y.Satake, S.Sato, K.Yoshiyama et al .	神経科・精神科	Clinical utility of electroconvulsive therapy for the treatment of multidrug-resistant psychosis emerging in older adults: a case report	Psychogeriatrics. 2022 Sep;22(5):757-761.	Case report	35830963
307	D.Taomoto, H.Kanemoto, Y.Satake et al .	神経科・精神科	Case report: Delusional infestation in dementia with Lewy bodies	Front Psychiatry 2022 Nov 10;13:1051067.	Case report	36440429
308	Y.Nagata, M.Hotta, Y.Satake et al .	神経科・精神科	Usefulness of an online system to support daily life activities of outpatients with young-onset dementia: a case report	Psychogeriatrics. 2022 Nov;22(6):890-894.	Case report	36173015
309	K.Mori, S.Gotoh, R.Uozumi et al .	神経科・精神科	RNA Dysmetabolism and Repeat-Associated Non-AUG Translation in Frontotemporal Lobar Degeneration/Amyotrophic Lateral Sclerosis due to C9orf72 Hexanucleotide Repeat Expansion	JMA J. 2023 Jan 16;6(1):9-15.	Review	36793534
310	M.Hata, Y.Watanabe, T.Tanaka et al .	神経科・精神科	Precise Discrimination for Multiple Etiologies of Dementia Cases Based on Deep Learning with Electroencephalography	Neuropsychobiology . 2023;82(2):81-90. doi: 10.1159/000528439. Epub 2023 Jan 19.	Original Article	36657428
311	Y.Satake, H.Kanemoto, D.Taomoto et al	神経科・精神科	Characteristics of very late-onset schizophrenia-like psychosis classified with the biomarkers for Alzheimer's disease: a retrospective cross-sectional study	Int Psychogeriatr. 2023 Jan 30;1-14.	Original Article	36714996
312	Fujita Yuya, Yanagisawa Takufumi. Fukuma Ryohei, et al .	脳神経外科	Abnormal phase-amplitude coupling characterizes the interictal state in epilepsy	J Neural Eng . 2022 Apr 29;19(2).	Original Article	35385832

313	Yanagisawa Takufumi, Fukuma Ryohei, Seymour Benm et al	脳神経外科	Neurofeedback Training without Explicit Phantom Hand Movements and Hand-Like Visual Feedback to Modulate Pain: A Randomized Crossover Feasibility Trial	The Journal of Pain, Vol 23, No 12 (December), 2022:	Original Article	5932992
314	Fujita Y, Khoo HM, Hirayama M et al.	脳神経外科	Evaluating the Safety of Simultaneous Intracranial Electroencephalography and Functional Magnetic Resonance Imaging Acquisition Using a 3 Tesla Magnetic Resonance Imaging Scanner	Front Neurosci . 2022 Jun 23;16:921922	Original Article	35812224
315	Yanagisawa T, Fukuma R, Seymour B et al.	脳神経外科	Neurofeedback training without explicit phantom hand movements and hand-like visual feedback to modulate pain: A randomized crossover feasibility trial.	J Pain . 2022 Dec;23(12):2080–2091.	Others	35932992
316	Umehara T, Arita H, Miya F et al.	脳神経外科	Revisiting the definition of glioma recurrence based on a phylogenetic investigation of primary and re-emerging tumor samples: a case report	Brain Tumor Pathol . 2022 Oct;39(4):218–224.	Original Article	35666326
317	Nakagawa T, Kijima N, Hasegawa K et al.	脳神経外科	Identification of glioblastoma-specific antigens expressed in patient-derived tumor cells as candidate targets for CAR-T cell therapy	Neurooncol Adv . 2022 Nov 15;5(1):vdac177.	Original Article	36601313
318	Kijima N, Kishima H.	脳神経外科	Utility of Neurosurgical Procedures Using 4K 3D Exoscopes: Clinical Experience with a 4K 3D Exoscope and Review of Literature.	No Shinkei Geka . 2022 Jul;50(4):889–901	Original Article	35946373
319	Utsugi R, Okita Y, Kagawa N et al.	脳神経外科	Optic nerve sheath meningioma presenting as progressive visual disturbance during pregnancy: A case report	Exp Ther Med . 2022 Dec 12;25(1):65.	Case report	36605527
320	Kawabata S, Takagaki M, Nakamura H et al.	脳神経外科	Association of gut microbiome with early brain injury after subarachnoid hemorrhage:an experimental study	Transl Stroke Res . 2022 Dec 9.	Original Article	36484924
321	Yamada S, Kijima N, Kinoshita M et al.	脳神経外科	Cerebellopontine angle metastasis of a neuroendocrine tumor mimicking vestibular schwannoma: A case report	Surg Neurol Int. 2022 Jun 23;13:264	Case report	35855178
322	Yamada S, Hirayama R, Iwata T et al.	脳神経外科	Growth risk classification and typical growth speed of convexity, parasagittal, and falx meningiomas: A retrospective, cohort study	J Neurosurg . 2022 Sep 16;138(5):1235–1241.	Others	36115061
323	Nakajima N, Ohnishi Y, Yamamoto M et al.	脳神経外科	Excess intracellular ATP causes neuropathic pain following spinal cord injury	Cell Mol Life Sci . 2022 Aug 16;79(9):483.	Original Article	35972649
324	Mori N, Hosomi K, Nishi A et al.	脳神経外科	Analgesic Effects of Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation at Different Stimulus Parameters for Neuropathic Pain: A Randomized Study.	Neuromodulation . 2022 Jun;25(4):520–527.	Others	35670062
325	Tani N, Oshino S, Hosomi K et al.	脳神経外科	Altered thalamic connectivity due to focused ultrasound thalamotomy in patients with essential tremor.	World Neurosurg 2022 Aug;164:e1103–e1110.	Original Article	35660481
326	Kimoto Y, Hosomi K, Ohnishi Y et al.	脳神経外科	Tight adhesions after spinal cord stimulation observed during dorsal root entry zone lesioning for pain after spinal root avulsion: illustrative cases.	2022 Oct 24;4(17):CASE22145.	Original Article	36281477
327	Saitoh Y, Hosomi K, Mano T et al.	脳神経外科	Randomized, sham-controlled, clinical trial of repetitive transcranial magnetic stimulation for patients with Alzheimer's dementia in Japan	Front Aging Neurosci . 2022 Oct 13;14:993306.	Original Article	36313021
328	XIN HE ,Oshino S,Hosomi K et al.	脳神経外科	Characteristics of pain during MRI-guided focused ultrasound thalamotomy	Neurosurgery . 2023 Mar 2. Online ahead of print.	Original Article	36861986
329	Hashimoto H, Khoo HM, Yanagisawa T et al.	脳神経外科	Frequency band coupling with high-frequency activities in tonic-clonic seizures shifts from θ to δ band	Clin Neurophysiol . 2022 May;137:122–131.	Original Article	35313252
330	Kakigano A, Matsuzaki S, Mimura K, et al	産科・婦人科	Successful management of a pregnant woman of lower-limb arteriovenous malformation with chronic cardiac failure	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Apr;48(4):1033–1038	Case report	35118765
331	Egawa-Takata T, Ueda Y, Ito K, et al	産科・婦人科	Adjuvant Chemotherapy for Endometrial Cancer (ACE) trial: A randomized phase II study for advanced endometrial carcinoma	Cancer Sci. 2022 May;113(5):1693–1701	Original Article	35218673
332	Yagi T, Sawada K, Miyamoto M, et al	産科・婦人科	Safety and efficacy of Ninjin'yoeito along with iron supplementation therapy for preoperative anemia, fatigue, and anxiety in patients with gynecological disease: an open-label, single-center, randomized phase-II trial	BMC Womens Health. 2022 Jun 14;22(1):229	Original Article	35701778

333	Nakae A, Kodama M, Kobayashi E. et al	産科・婦人科	Benefits of Laparoscopic Surgery for Bleeding Events in Patients with Implantable Left Ventricular Assist Devices during Antithrombotic Therapy	Gynecol Minim Invasive Ther. 2022 May 4;11(2):110-113	Original Article	35746913
334	Iwai S, Mimura K, Endo M, et al	産科・婦人科	Outcome of Inducing Labor in Pregnancies with Suspected Fetal Growth Restriction: Oxytocin Discontinuation during the Active Phase of Labor versus Conventional Management	Am J Perinatol. 2022 Sep(オンライン)	Original Article	36041468
335	Yagi T, Kinose Y, Bun M, et al	産科・婦人科	Obstetrical outcomes of labor with and without analgesia in Robson classification groups 1 and 2a: a single-center retrospective study	J Anesth. 2023 Feb;37(1):39-48	Original Article	36251094
336	Ito Y, Kondo J, Masuda M, et al	産科・婦人科	Ex vivo chemosensitivity assay using primary ovarian cancer organoids for predicting clinical response and screening effective drugs	Hum Cell. 2023 Mar;36(2):752-761	Original Article	36474106
337	Kuruma A, Kodama M, Hori Y, et al	産科・婦人科	Gastric-Type Adenocarcinoma of the Uterine Cervix Associated with Poor Response to Definitive Radiotherapy	Cancers (Basel). 2022 Dec 28;15(1):170	Original Article	36612167
338	Minagawa H, Hashii Y, Nakajima H, al.	小児科学	Enhanced antitumor activity of a novel, oral, helper epitope-containing WT1 protein vaccine in a model of murine leukemia.	BMC Cancer.2023Feb 20;23(1):167	Original Article	36803483
339	Yokoi T, Murakami M, Kihara T,	小児科学	Identification of a unique subset of tissue-resident memory CD4+ T cells in Crohn's disease.	Proc Natl Acad Sci U S A.2023 Jan 3;120(1):e2204269120.	Original Article	36574662
340	Fukuoka T, Moriwaki K, Takamatsu S, al.	小児科学	Lewis glycosphingolipids as critical determinants of TRAIL sensitivity in cancer cells	Oncogene.2022 Sep;41(38):4385-4396	Original Article	35970887
341	Fukuoka T, Bessho K, Hosono S, al.	小児科学	The impact of treatment on the psychological burden of mothers of children with chronic hepatitis C virus infection: a multicenter, questionnaire survey	Sci Rep.2022 Dec 21;12(1):22116.	Original Article	36543833
342	Fukuda A, Otake S, Kimura M, al.	小児科学	Trend of oral antimicrobial use after removal of broad-spectrum antimicrobials from the formulary at a pediatric primary emergency medical center	J Infect Chemother.2023May;29(5):502-507. Epub 2023 Jan 5.	Original Article	36621765
343	Hirose M, Ishida H, Kawamura T, al.	小児科学	Trans-subclavian approach for Impella CP implantation using the chimney graft in a pediatric patient with fulminant myocarditis during extracorporeal support.	J Artif Organs . 2022 Oct 12.	Case report	36224293
344	Ishii R, Ishida H, Narita J,	小児科学	Prenatal diagnosis of a coronary-to-pulmonary artery fistula in a fetus with pulmonary atresia and ventricular septal defect.	BMJ Case Rep.2022Jun 22;15(6):e249271	Case report	35732357
345	Rui S, Kubota T, Ohata Y, al.	小児科学	Phosphate promotes osteogenic differentiation through non-canonical Wnt signaling pathway in human mesenchymal stem cells.	Bone.2022 Nov;164:116525	Original Article	35987514
346	Ohata Y, Kakimoto H, Seki Y,al.	小児科学	Pathogenic variants of the GNAS gene introduce an abnormal amino acid sequence in the β 6 strand/ α 5 helix of Gs α , causing pseudohypoparathyroidism type 1A and pseudopseudohypoparathyroidism in two unrelated Japanese families.	Bone Rep.2022 Nov 10;17:101637	Case report	36407415
347	Nakano Y, Kubota T, Ohata Y,al.	小児科学	Assessment of body fat mass, anthropometric measurement and cardiometabolic risk in children and adolescents with achondroplasia and hypochondroplasia	Endocr J.2023 Apr 28;70(4):435-443	Original Article	36740254
348	Yamamoto K, Sonehara K, Namba S, al.	小児科学	Genetic footprints of assortative mating in the Japanese population	Nat Hum Behav . 2023 Jan;7(1):65-73.	Original Article	36138222
349	Kubota T, Namba N, Tanaka H,	小児科学	Self-Administration of Burosumab in Children and Adults with X-Linked Hypophosphataemia in Two Open-Label, Single-Arm Clinical Studies	Adv Ther.2023 Apr;40(4):1530-1545	Original Article	36719566
350	Yoshiyuki Yamamoto, Atsunari Kawashima, Toshitaka Morishima, et al.	泌尿器科	Comparative Effectiveness of Radiation Versus Radical Cystectomy for Localized Muscle-Invasive Bladder Cancer	Adv Radiat Oncol . 2022 Dec 27;8(3):101157.	Original Article	36896218
351	Hata A, Hino T, Putman RK, et al.	放射線診断・IVR科	Traction Bronchiectasis/Bronchiolectasis on CT Scans in Relationship to Clinical Outcomes and Mortality: The COPDGene Study.	Radiology. 2022 Sep;304(3):694-701	Original Article	35638925

352	Tsuboyama T, Onishi H, Nakamoto A, et al	放射線診断・IVR科	Impact of Deep Learning Reconstruction Combined With a Sharpening Filter on Single-Shot Fast Spin-Echo T2-Weighted Magnetic Resonance Imaging of the Uterus.	Invest Radiol. 2022 Jun 1;57(6):379-386.	Original Article	34999668
353	Wataya T, Yanagawa M, Tsubamoto M, et al	放射線診断・IVR科	Radiologists with and without deep learning-based computer-aided diagnosis: comparison of performance and interobserver agreement for characterizing and diagnosing pulmonary nodules/masses.	Eur Radiol. 2023 Jan;33(1):348-359	Original Article	35751697
354	Nakanishi E, Hirata T, Tamari K, et al.	放射線治療科	Long-term Outcomes of Radiation Therapy for Prostate Cancer in Elderly Patients Aged ≥ 75 Years	Anticancer Res . 2022 Jul;42(7):3529-3536.	Original Article	35790281
355	Isohashi K, Kanai Y, Aihara T, et al.	核医学診療科	Exploration of the threshold SUV for diagnosis of malignancy using 18F-FBPA PET/CT.	Eur J Hybrid Imaging. 2022 Dec 5;6(1):35.	Original Article	36464732
356	Kato H, Nakagawara J, Hachisuka K, et al.	核医学診療科	Impaired neuronal integrity in traumatic brain injury detected by 123I-iodazenil single photon emission computed tomography and MRI.	J Cereb Blood Flow Metab. 2022 Dec;42(12):2245-2254.	Original Article	35796498
357	Naka S, Watanabe T, Kanai Y, et al.	薬剤部	Improved Stability and Practicality for Synthesis of 4-Borono-2-[18F]fluoro-L-phenylalanine by Combination of [18O]O ₂ Single-Use and [18F]CH ₃ COOF Labeling Agents.	Nucl Med Mol Imaging . 2022 Apr;56(2):86-95.	Original Article	35449598
358	Tatsumi M, Soeda F, Naka S, et al.	放射線部	Advantages of FBPA PET in evaluating early response of anti-PD-1 immunotherapy in B16F10 melanoma-bearing mice: Comparison to FDG PET.	FrontOncol. 2022 Dec 22;12:1026608.	Original Article	36620558
359	Watabe T, Kaneda-Nakashima K, Shirakami Y, et al.	核医学診療科	Targeted α -therapy using astatine (211At)-labeled PSMA1, 5, and 6: a preclinical evaluation as a novel compound.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2022 Nov 8.	Original Article	36344651
360	Watabe T.	核医学診療科	Response to the letter to the editor.	Ann Nucl Med. 2022 Sep;36(9):844.	Letter	35960436
361	Watabe T, Liu Y, Kaneda-Nakashima K, et al.	核医学診療科	Comparison of the Therapeutic Effects of [211At]NaAt and [131I]NaI in an NIS-Expressing Thyroid Cancer Mouse Model.	Int J Mol Sci. 2022 Aug 21;23(16):9434.	Original Article	36012698
362	Watanabe M, Kato H, Katayama D, et al.	核医学診療科	Semiquantitative analysis using whole-body dynamic F-18 fluoro-2-deoxy-glucose-positron emission tomography to differentiate between benign and malignant lesions.	Ann Nucl Med. 2022 Nov;36(11):951-963.	Original Article	36057012
363	Sawaya R, Kuribayashi S, Ueda J et al.	医療技術部 放射線部門	Evaluating the Cisplatin Dose Dependence of Testicular Dysfunction Using Creatine Chemical Exchange Saturation Transfer Imaging	Diagnostics. 2022 Apr 21;12(5):1046.	Original Article	35626202
364	Kiyokawa T, Mimura K, Nagamine K, et al.	輸血部	FNAIT pathogenesis determined by serial analysis of three subsequent pregnancies of a woman with severe fetal and neonatal alloimmune thrombocytopenia (FNAIT) with anti-HPA-4b and anti-HPA-5b alloantibodies in the first sibling	Int J Hematol Int J Hematol . 2023 Feb 16. doi: 10.1007/s12185-023-03559-1. Online ahead of print.	Case report	36797397
365	Kentaro Shimizu, Haruhiko Hirata, Daijiro Kabata, et al.	高度救命救急センター	Ivermectin administration is associated with lower gastrointestinal complications and greater ventilator-free days in ventilated patients with COVID-19: A propensity score analysis	J Infect Chemother 2022.4	Original Article	35016823
366	Katayama Y, Kitamura T, Tanaka J, et al	高度救命救急センター	Profile and Outcome of Victims of an Earthquake in an Aging Society: A Population-Based Descriptive Study of the Earthquake in Osaka, Japan, on June 18, 2018	Disaster Med Public Health Pre 2022.4	Original Article	35414369
367	Takeshi Ebihara, Hisatake Matsumoto, Tsunehiro Matsubara, et al.	高度救命救急センター	Resistin Associated With Cytokines and Endothelial Cell Adhesion Molecules Is Related to Worse Outcome in COVID-19	Front Immunol 2022.6	Original Article	35784283
368	Hosomi S., Kitamura T., Sobue T. et al	高度救命救急センター	Association between Timing of Epinephrine Administration and Outcomes of Traumatic Out-of-Hospital Cardiac Arrest following Traffic Collisions	Journal of Clinical Medicine 2022.6	Original Article	35743634

369	Onishi S., Ebihara T., Togami Y. et al	高度救命救急センター	Growth Differentiation Factor-15 Correlates with Mortality and Severity in Severe Burns	Shock (Augusta, Ga.) 2022.6	Original Article	35616608
370	Yumi Mitsuyama , Shunichiro Nakao , Junya Shimazaki. et al	高度救命救急センター	Effectiveness of high-flow nasal cannula for tracheal intubation in the emergency department	BMC Emerg Med 2022.6	Original Article	35739461
371	Katayama Y, Kitamura T, Nakao S, et al.	高度救命救急センター	Telephone Triage for Emergency Patients Reduces Unnecessary Ambulance Use: A Propensity Score Analysis With Population-Based Data in Osaka City, Japan	Front Public Health 2022.6	Original Article	35844882
372	Nakao S., Katayama Y., Hirayama A. et al	高度救命救急センター	Characteristics and outcomes of pediatric blunt renal trauma: a nationwide cohort study in Japan	European Journal of Trauma and Emergency Surgery 2022.6	Original Article	34562135
373	Arisa Muratsu, Mitsunori Ikeda, Kentaro Shimizu, et al	高度救命救急センター	Dynamic change of fecal microbiota and metabolomics in a polymicrobial murine sepsis model	Acute Med Surg 2022.6	Original Article	35782956
374	Hirose T., Kitamura T., Katayama Y., et al	高度救命救急センター	Incidence and Characteristics of Cranial Nerve Injuries: A Nationwide Observational Study in Japan	Journal of Clinical Medicine 2022.8	Original Article	36013090
375	Katayama Y, Kitamura T, Nakao S, et al.	高度救命救急センター	Association of a telephone triage service for emergency patients with better outcome: a population-based study in Osaka City, Japan.	European Journal of Emergency Medicine 2022. 8	Original Article	35148526
376	Sanae Hosomi , Ling Zha , Kosuke Kiyohara , et al	高度救命救急センター	Survival following an out-of-hospital cardiac arrest in Japan in 2020 versus 2019 according to the cause	Acute Med Surg 2022.8	Original Article	36051446
377	Jotaro Tachino, Hisatake Matsumoto, Fuminori Sugihara, et al	高度救命救急センター	Development of clinical phenotypes and biological profiles via proteomic analysis of trauma patients	Critical Care 2022.8	Original Article	35933364

378	Togami, Y., Matsumoto, H., Yoshimura, J., et al	高度救命救急 センター	Significance of interferon signaling based on mRNA-microRNA integration and plasma protein analyses in critically ill COVID-19 patients.	Molecular Therapy - Nucleic Acids 2022.9	Original Article	35855895
379	Onishi S., Matsuura H., Osuka A., et al	高度救命救急 センター	Resistin forms a network with inflammatory cytokines and is associated with prognosis in major burns	Burns. 2022.11	Original Article	34961651
380	Hiroshi Ito, Masakazu Ishikawa, Hisatake Matsumoto, et al	高度救命救急 センター	Transcriptional differences between coronavirus disease 2019 and bacterial sepsis	Viro J 2022.11	Original Article	36443881
381	Hosomi S., Zha L., Kiyohara K., et al	高度救命救急 センター	Impact of the COVID-19 pandemic on out-of-hospital cardiac arrest outcomes in older adults in Japan	Resusc Plus 2022.12	Original Article	36093311
382	Takeshi Ebihara , Tsunehiro Matsubara , Yuki Togami, et al	高度救命救急 センター	Combination of WFDC2, CHI3L1, and KRT19 in Plasma Defines a Clinically Useful Molecular Phenotype Associated with Prognosis in Critically Ill COVID-19 Patients	J Clin Immunol 2023.2	Original Article	36331721
383	Satoshi Kutsuna , Hiroyuki Ohbe , Hiroyuki Matsui ,et al	感染制御部	Delayed Tetracycline Initiation Increases Mortality Risk in Patients With Japanese Spotted Fever: Retrospective Analysis Using a National Inpatient Database	Open Forum Infect Dis . 2022 Oct 31;9(11):ofac573.	Original Article	36447612
384	Satoshi Kutsuna, Hiroyuki Ohbe , Hiroyuki Matsui et al	感染制御部	Effectiveness of fluoroquinolone antimicrobials in addition to tetracyclines for Japanese spotted fever: A retrospective analysis using a national inpatient database.	Int J Infect Dis . 2022 Oct;123:70-75.	Original Article	35987471
385	Satoshi Kutsuna , Hiroyuki Ohbe , Hiroyuki Matsui et al	感染制御部	Steroid pulse therapy for severe fever with thrombocytopenia syndrome patients may not improve prognosis: Retrospective analysis with overlap weighting using a national inpatient database	J Infect Chemother . 2023 May;29(5):490-494.Epub 2023 Feb 2.	Original Article	36736960
386	Tanaka A, Kabata D, Hirao O, Kosaka J, Furushima N, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Prediction Model of Extubation Outcomes in Critically Ill Patients: A Multicenter Prospective Cohort Study.	J Clin Med . 2022 Apr 29	Original Article	35566646
387	Tanaka A, Uchiyama A, Kitamura T, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Association between tracheostomy and survival in patients with coronavirus disease 2019 who require prolonged mechanical ventilation for more than 14 days: A multicenter cohort study.	Auris Nasus Larynx. 2022 Jun 13. Epub 2022 Jun 13.	Original Article	35764477
388	Tanaka A, Uchiyama A, Kitamura T, Sakaguchi R, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Association between early tracheostomy and patient outcomes in critically ill patients on mechanical ventilation: a multicenter cohort study.	J Intensive Care. 2022 Apr 11	Original Article	35410403
389	Tanaka A, Kiryama Y, Kubo N, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Noninvasive blood pressure measurement in patients with continuous-flow left ventricular assist devices.	J Artif Organs. 2022 Jul 30	Original Article	35907151
390	Tokuhira N, Uchiyama A, Hoshino T, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Control of blood glucose levels by an artificial pancreas in patients with severe coronavirus disease 2019 pneumonia	Artif Organs.Epub 2022 Dec 5.	Original Article	36440971
391	Nukiwa R, Uchiyama A, Tanaka A, et al.	麻酔・集中治療 医学教室	Timing of tracheostomy and patient outcomes in critically ill patients requiring extracorporeal membrane oxygenation: a single-center retrospective observational study	J Intensive Care. 2022 Dec 30	Original Article	36585705

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

計391件

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yoshinori Hayashi , Motonori Watanabe ,	消化器外科	Utility of anti-thrombotic coating (SEC-1 coating) for Peripherally Inserted Central Catheters	Clinical Nutrition Open Science Volume 42, April 2022, Pages 108-118	Original Article
2	Funaki S, Ose N, Kanou T, et al	呼吸器外科	Prognostic Impact of Number of Organ Invasions in Patients with Surgically Resected Thymoma.	Ann Surg Oncol2022 Aug;29(8):4900-4907.	Original Article
3	Kanou T, Funaki S, Minami M, et al	呼吸器外科	Usefulness of positron-emission tomography for predicting the World Health Organization grade of thymic epithelial tumors	Thoracic Cancer. 2022 Jun;13(11):1651-1656.	Original Article
4	Nagoya A, Kanzaki R, Kimura K, et al	呼吸器外科	Utility of the surgical Apgar score for predicting the short- and long-term outcomes in non- small-cell lung cancer patients who undergo surgery	Interact Cardiovasc Thorac Surg.2022 Jul 9;35(2):ivac150.	Original Article
5	Miyashita Y, Kanou T, Ishida H, et al	呼吸器外科	Prognostic impact of tumor volume in patients with complete resection of thymoma	Thorac Cancer.2022 Apr;13(7):1021-1026.	Original Article
6	Shintani Y, Funaki S, Miyashita Y, et al	呼吸器外科	Role of tumor reduction surgery in multimodality therapy for advanced thymoma—case series	J Vis Surg.10.21037/jovs-21-59 20 October 2022.	Case report
7	Ishibashi T, Yamazaki T, Konda S, et al.	整形外科	Total Knee Arthroplasty Without Reduction of the Patella for Genu Valgum With Permanent Dislocation of the Patella: A Case of Nail	Arthroplasty Today. 2023 Jan; 28;20:101099	Case report
8	Ishibashi T, Tomita T, Tamaki M, et al.	整形外科	Kinematics of bicruciate stabilized and cruciate retaining total knee arthroplasty.	J Orthop Res. 2022 Jul;40(7) : 1547-54	Original Article
9	Kashiwagi H	輸血部	Progress in pathophysiological understanding and treatment of thrombocytopenia	Int J Hematol . 2023 Mar;117(3):314-315	Review
10	Satoshi Kutsuna, Sho Saito, Yuki Takamatsu, et al	感染制御部	Safety of convalescent plasma therapy for COVID-19 patients and analysis of viral kinetics: a single-center, open-label, single- arm, interventional study in Japan	GHM Open, 2022	Original Article

計10件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主要ものを記入すること
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会 標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究等） 年12回（観察研究等） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年12回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	以下のとおり
・ 研修の主な内容 ■ 阪大臨床研究講習会 研修の主な内容：研究者の受講ルール、AAHRPPサイトビジット結果、教育的監査等のフィードバック、個人情報保護法、信頼性確保の取り組み、OCRネットデータ活用、理解度テスト 実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R4. 12. 26～R5. 3. 31） 参加人数：954名（医師含む）	

■ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

- 【講義1】人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の改正について
- 【講義2】倫理指針と個人情報保護法
- 【パネルディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題
- 【グループディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題
- 【発表】各グループからの発表とコメント

実施回数：1回 430分

全プログラム参加人数：27名（院外25名、院内2名、医師含む）

聴講者：95名（院外86名、院内9名、医師含む）

■ 治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

- 【講義】「委員会の質向上のポイント」
- 【ワークショップ1】審査で難渋しそうな事例の検討
- 【ワークショップ2】ファシリテーション基礎研修

実施回数：1回 210分

全プログラム参加人数：20名（院外20名、院内0名、医師含む）

■ 臨床研究・治験従事者養成研修

研修の主な内容

- 【講義】「臨床研究の立案から開始まで」
- 【演習】ワークショップ「統計家と始める研究デザイン」
- 【講義&グループワーク】「因果推論入門」
- 【講義&グループワーク】「サンプルサイズ設計入門」
- 【発表&総評】

実施回数：1回 430分

全プログラム参加人数：21名（院外19名、院内2名、対象：医師・歯科医）

聴講者：3名（院外2名、院内1名、医師含む）

■ 臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：2名（学外2名）

■ 上級者CRC養成研修

【講義1】臨床試験の実施，安全性，信頼性を向上させるための新しい科学技術や手法，手技被験者保護と研究公正

【講義2】IC の概念と臨床研究への適用

【講義3】IRB等の審議にかかわる申請資料ならびにレビューのポイントと支援体制の整備

【講義4】GCPや諸外国の規制要件の最近の動向と自施設の体制整備

【講義5】臨床研究実施におけるリスク管理（QMS）臨床研究におけるプロジェクトマネジメント
に対するCRC の役割

【講義6】データの完全性Data Integrity の概念

【講義7】管理すべき資源（人・モノ費用・情報）を管理する組織マネジメント

【講義8】業務上で発生する交渉・説得（ネゴシエーション・スキル）

【講義9】臨床研究（集学的）チームにおける適切なコミュニケーション

【講義10】臨床試験の意義・創薬プロセスについての市民啓発活動PPI（Patient and Public Involvement）の取組

【講義11】国際共同治験実施に必要な語学スキル

【演習1】その組織に心理的安全性はあるか？

【演習2】心理的安全性の高い組織を目指そう！

演習実施回数：1回 300分 ※講義はすべてe-learningで実施
全プログラム参加人数：16名（院外16名、院内0名）

■ 初中級モニター研修

【講義1】 「臨床試験の品質管理 モニタリングによる品質管理」

【講義2】 「アカデミアモニターに要求されるリスクの視点」

【講義3】 「プロトコール概要説明」

【演習1】 リスクの検討

【演習2】 モニタリング計画書の作成

【発表・総括】

実施回数：1回 480分 講義はすべてe-learningで実施
全プログラム参加人数：23名（院外23名、院内0名）

■ 第4回 阪大臨床研究ワークショップ：臨床研究データの信頼性確保に関する研修会
研修の主な内容：

【講義】 臨床研究における品質管理

【演習】 RBAをやってみよう

実施回数：令和4年度実績 1回（180分）
参加人数：12名（医師のみ）

■ 大学院・研究者教育セミナー

研修の主な内容：

【講義】 臨床研究データの信頼性確保

実施回数：令和4年度実績 3回（90分/回）
参加人数：計200名（医師含む）

■ データマネージャー養成研修

既にCDM担当者として実務経験がある者を対象とした中級レベルの研修を開催。CDM業務への理解をさらに深めるための、データマネージャーが備えるべき、統計・モニタリング・DMの視点にフォーカスを当てた講義、およびQM（クオリティマネジメント）を意識しながらプロトコールを作り上げるプロセスをワークショップで実施。

研究骨子からプロトコール作成の段階で試験に参画し、「研究データの科学性と信頼性を意識したデータマネージャー」として、自らデータマネージメントを計画・実践できることを目的とする研修を実施した。

研修の期間・実施回数：

令和4年12月10日（土） 13：00～17：25

令和4年12月11日（日） 9：30～16：00

研修の参加人数：

12月10日（土） 11名

12月11日（日） 11名

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院では卒後 2 年間の臨床研修を修了した医師を対象に連携・関連施設と協力し、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人の育成を目的として「阪大病院専門研修プログラム」を運営している。日本専門医機構が指定する 19 の基本領域すべての基幹施設となっており、内科、外科および放射線科領域については、内科専門医、外科専門医、放射線科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指す連動プログラムとなっている。また全領域とも、大阪・阪神間にある他基幹病院を中心とする研修プログラムに連携施設として参加しており、本院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制が整っている。様々なローテーションの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成も積極的に行っている。

また高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を本院は受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	183人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	29年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	32年	
竹原 徹郎	消化器内科	教授	38年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	33年	
武田 吉人	呼吸器内科	准教授	28年	
熊ノ郷 淳	免疫内科	教授	31年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	24年	
望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	教授	35年	
樂木 宏実	老年・総合内科	教授	38年	
宮川 繁	心臓血管外科	教授	28年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	27年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	37年	
江口 英利	消化器外科	教授	28年	

島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	28年	
奥山 宏臣	小児外科	教授	38年	
西田 幸二	眼科	教授	34年	
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	32年	
岡田 誠司	整形外科	教授	23年	
藤本 学	皮膚科	教授	30年	
久保 盾貴	形成外科	教授	26年	
池田 学	神経科・精神科	教授	34年	
貴島 晴彦	脳神経外科	教授	31年	
藤野 裕士	麻酔科・集中治療	教授	37年	
木村 正	産科・婦人科	教授	37年	
大藺 恵一	小児科	教授	38年	
野々村 祝夫	泌尿器科	教授	36年	
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教授	35年	
森井 英一	病理部	教授	30年	
織田 順	高度救命救急センター	教授	29年	
日高 洋	臨床検査部	准教授	35年	
金本 隆司	リハビリテーション部	講師	23年	
中神 太志	総合診療科	助教	21年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【栄養マネジメント部】

栄養マネジメント部研修会（食事、栄養に関するテーマ）

- ・嚥下障害と嚥下調整食（2022/4/22）14名
- ・日本栄養アセスメント研究会演題（2022/5/24）13名
- ・医薬品経腸栄養剤の種類と特徴（2022/6/22）10名
- ・「エドルミズ」について（2022/7/14）11名
- ・輸液について（2022/9/7）14名
- ・食行動質問表の活用について（2022/9/28）11名
- ・呼吸器疾患について（2022/10/24）12名
- ・IBDの栄養管理、薬剤について（2022/11/30）11名
- ・ベースライスの実践（2023/1/18）13名
- ・がんと栄養管理（2023/2/28）13名
- ・スプリングセミナー（2023/3/10）13名

国立私立大学研修関連（栄養士）

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Management研修会（2022/6/10）1回/年 1名

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Advance研修会（2022/10/20～21）1回/年 1名

その他研修会、学会（日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本臨床代謝学会など）開催の研修会など年数回、各数名

【医療技術部】

・研修の主な内容

医療技術部職員を対象に患者動作介助、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など

・研修の期間・実施回数

毎月1回の開催を原則とし、令和4年度は11回開催。

・研修の参加人数 令和4年度の年間延べ参加人数は893名

【看護部】

・研修の主な内容：医療安全・療養環境・コミュニケーション、自己の健康管理・看護技術演習（輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い、輸液管理、ヘパリンロック、静脈血採血、インスリン製剤の取り扱い、BLS）

研修の期間・実施回数 4月、6月、10月、2月・計56回（一人当たり14回、68時間）

研修の参加人数 延べ1506名

・研修の主な内容：看護過程（身体兼・精神面・社会面・スピリチュアルな側面）の意図的な情報と分析、多職種の専門性と協働するメンバーとの情報交換

研修の期間・実施回数 7月 8月、11月、1月・計14回（一人当たり3回、12時間）

研修の参加人数 延べ394名

・研修の主な内容：目標管理、後輩指導、文献検索

研修の期間・実施回数 7月、10月、12月・計8回（一人当たり2回、8時間）

研修の参加人数 延べ208名

- ・研修の主な内容：患者理解によるケアの改善、臨床の疑問、学生・同僚・後輩への指導

研修の期間・実施回数 9月、10月、2月・計8回（一人当たり4回、16時間）

研修の参加人数 延べ244名

- ・研修の主な内容：アシスタントナース研修

看護部概要、アシスタントナースの業務、感染防止の技術

研修の期間・実施回数 9月・計4回（一人当たり1回、2時間）

研修の参加人数 125名（内13名はオンデマンド）

【看護部キャリア開発センター】

- ・研修の主な内容：キャリア開発、コミュニケーション、リーダーシップ、スライドと文章の作り方、スキンケア・創傷ケア、ストーマケア、感染管理、感染対策、家族看護、がん看護、地域看護、急変対応、新人教育、研究計画書の書き方、研究計画書の作成

研修の期間・実施回数 2022年5月～2023年2月・28回

研修の参加人数 延べ710名

【未来医療開発部】

- ・阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講ルール、AAHRPPサイトビジット結果、教育的監査等のフィードバック、個人情報保護法、信頼性確保の取り組み、OCRネットデータ活用、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R4. 12. 26～R5. 3. 31）

参加人数：954名（医師含む）

- ・阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本講習 品質管理について、中央モニタリングの実際、モニタリングのポイント

更新講習 QMSについて、モニタリングのポイント・事例紹介、QC活動報告

実施回数：令和4年度実績 Web講習 2回、e-learning

参加人数：447名（院内 院外、医師含む）

- ・治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の改正について

【講義2】倫理指針と個人情報保護法

【パネルディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題

【グループディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題

【発表】各グループからの発表とコメント

実施回数：1回 430分

全プログラム参加人数：27名（院外25名、院内2名、医師含む）

聴講者：95名（院外86名、院内9名、医師含む）

- ・治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

【講義】「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ1】審査で難渋しそうな事例の検討

【ワークショップ2】ファシリテーション基礎研修

実施回数：1回 210分

全プログラム参加人数：20名（院外20名、院内0名、医師含む）

- ・上級者CRC養成研修

- 【講義1】 臨床試験の実施，安全性，信頼性を向上させるための新しい科学技術や手法，手技
被験者保護と研究公正
- 【講義2】 IC の概念と臨床研究への適用
- 【講義3】 IRB等の審議にかかわる申請資料ならびにレビューのポイントと支援体制の整備
- 【講義4】 GCPや諸外国の規制要件の最近の動向と自施設の体制整備
- 【講義5】 臨床研究実施におけるリスク管理（QMS）臨床研究におけるプロジェクトマネジメント
に対してのCRC の役割
- 【講義6】 データの完全性Data Integrity の概念
- 【講義7】 管理すべき資源（人・モノ費用・情報）を管理する組織マネジメント
- 【講義8】 業務上で発生する交渉・説得（ネゴシエーション・スキル）
- 【講義9】 臨床研究（集学的）チームにおける適切なコミュニケーション
- 【講義10】 臨床試験の意義・創薬プロセスについての市民啓発活動PPI（Patient and Public
Involvement）の取組
- 【講義11】 国際共同治験実施に必要な語学スキル
- 【演習1】 その組織に心理的安全性はあるか？
- 【演習2】 心理的安全性の高い組織を目指そう！
演習実施回数：1回 300分 ※講義はすべてe-learningで実施
全プログラム参加人数：16名（院外16名、院内0名）

・ 初中級モニター研修

- 【講義1】 「臨床試験の品質管理 モニタリングによる品質管理」
- 【講義2】 「アカデミアモニターに要求されるリスクの視点」
- 【講義3】 「プロトコル概要説明」
- 【演習1】 リスクの検討
- 【演習2】 モニタリング計画書の作成
- 【発表・総括】
実施回数：1回 480分 講義はすべてe-learningで実施
全プログラム参加人数：23名（院外23名、院内0名）

・ DCT (Decentralized Clinical Trial) セミナー

研修の主な内容：

- 「Decentralized Clinical Trial (DCT) のグローバル最新動向と国内実装に向けたアカデミアの役割」
- 「海外におけるDCT最新情報」「阪大病院におけるDCTへの取り組み」「国立がん研究センター中央病院におけるDCTの最新の取り組み（患者さん中心のDCTの実現に向けて）」
- 研修の期間・回数： 2022年7月19日(火)、10月5日(水)、 2023年2月16日(木)
- 参加人数：1212人（院内 院外（医師含む））

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

・ 研修の主な内容

新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。

・ 研修の期間・実施回数

2021年度（4月～3月末）

新規導入機器（46回）、特定機能病院に必須の医療機器（19回）、特に熟練を要する医療機器（107回）、OpenME（36回）、MRI研修（e-learning）、合計500回 & e-learning

・ 研修の参加人数

新規導入機器（306名）、特定機能病院に必須の医療機器（206名）、

特に熟練を要する医療機器（1435名）、OpenME（45名）、MRI研修（210名）、

合計3781名

【看護部】

- ・研修の主な内容：リーダーシップ
研修の期間・実施回数 10月・計2回（一人当たり1回、4時間）
研修の参加人数 63名
- ・研修の主な内容：ビジョンの明確化と取り組み
研修の期間・実施回数 7月・計1回（一人当たり1回、4時間）
研修の参加人数 37名（看護師長）
- ・研修の主な内容：ビジョンの明確化と取り組み
研修の期間・実施回数 7月、9月、3月・計6回（一人当たり2回、5時間）
研修の参加人数 延べ187名（副看護師長）

【看護部キャリア開発センター】

- ・研修の主な内容：組織管理能力、質管理能力、人材育成、看護管理に必要な基礎知識
研修の期間・実施回数 2022年11月～2022年12月・4回
研修の参加人数 延べ35名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

【看護部キャリア開発センター】

- ・研修の主な内容：看護実践、看護管理、教育、研究
- ・研修の期間・実施回数 2022年5月～2023年2月・28回
- ・研修の参加人数 延べ61名

【未来医療開発部】

- ・阪大モニタリング講習会
研修の主な内容：
基本講習 品質管理について、中央モニタリングの実際、モニタリングのポイント
更新講習 QMSについて、モニタリングのポイント・事例紹介、QC活動報告
実施回数：令和4年度実績 Web講習 2回、e-learning
参加人数：447名（院内 院外、医師含む）
- ・治験・倫理審査委員会委員養成研修
研修の主な内容
【講義1】人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の改正について
【講義2】倫理指針と個人情報保護法
【パネルディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題
【グループディスカッション】医学系指針下の研究における個人情報保護法に関する課題
【発表】各グループからの発表とコメント
実施回数：1回 430分
全プログラム参加人数：27名（院外25名、院内2名、医師含む）
聴講者：95名（院外86名、院内9名、医師含む）
- ・治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」
研修の主な内容
【講義】「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ1】 審査で難渋しそうな事例の検討

【ワークショップ2】 ファシリテーション基礎研修

実施回数：1回 210分

全プログラム参加人数：20名（院外20名、院内0名、医師含む）

・臨床研究・治験従事者養成研修

研修の主な内容

【講義】 「臨床研究の立案から開始まで」

【演習】 ワークショップ「統計家と始める研究デザイン」

【講義&グループワーク】 「因果推論入門」

【講義&グループワーク】 「サンプルサイズ設計入門」

【発表&総評】

実施回数：1回 430分

全プログラム参加人数：21名（院外19名、院内2名、対象：医師・歯科医）

聴講者：3名（院外2名、院内1名、医師含む）

・臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究

計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：2名（学外2名）

・上級者CRC養成研修

【講義1】 臨床試験の実施，安全性，信頼性を向上させるための新しい科学技術や手法，手技
被験者保護と研究公正

【講義2】 IC の概念と臨床研究への適用

【講義3】 IRB等の審議にかかわる申請資料ならびにレビューのポイントと支援体制の整備

【講義4】 GCPや諸外国の規制要件の最近の動向と自施設の体制整備

【講義5】 臨床研究実施におけるリスク管理（QMS）臨床研究におけるプロジェクトマネジメント
に対してのCRC の役割

【講義6】 データの完全性Data Integrity の概念

【講義7】 管理すべき資源（人・モノ費用・情報）を管理する組織マネジメント

【講義8】 業務上で発生する交渉・説得（ネゴシエーション・スキル）

【講義9】 臨床研究（集学的）チームにおける適切なコミュニケーション

【講義10】 臨床試験の意義・創薬プロセスについての市民啓発活動PPI（Patient and Public
Involvement）の取組

【講義11】 国際共同治験実施に必要な語学スキル

【演習1】 その組織に心理的安全性はあるか？

【演習2】 心理的安全性の高い組織を目指そう！

演習実施回数：1回 300分 ※講義はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：16名（院外16名、院内0名）

・初中級モニター研修

【講義1】 「臨床試験の品質管理 モニタリングによる品質管理」

【講義2】 「アカデミアモニターに要求されるリスクの視点」

【講義3】 「プロトコル概要説明」

【演習1】 リスクの検討

【演習2】 モニタリング計画書の作成

【発表・総括】

実施回数：1回 480分 講義はすべてe-learningで実施

全プログラム参加人数：23名（院外23名、院内0名）

・摂南大学薬学部学生インターンシップ

講義：治験について、コミュニケーションとは、CTUについて、プロトコール模擬テスト
ロールプレイング：インフォームドコンセント、OJT（CRC業務の実際見学）、薬剤部見学
期間・回数：令和4年8月24日（水）～26日（金）：10時00分～16時00分 3日間
参加人数：5名

・医師主導治験 治験使用薬に関するSOP改訂講習会（第1回）

研修の主な内容：SOP改訂の経緯、具体的な各SOPの活用方法を解説し、令和2年GCP改訂に適合した医師主導治験のSOPが円滑に作成できるようになることを目的とした講習会

研修の回数：4回

参加人数：1128名（院内 院外（医師含む））

・臨床研究セミナー

「医師主導治験で活かせるプログラム&プロジェクトマネジメントの知識」

研修の主な内容：臨床試験を効率的に実施するために必要なプログラム&プロジェクトの知識について、【理論編】と【実践編】に分けて解説。【理論編】ではプログラム及びプロジェクトのマネジメントに関する知識体系を分かりやすく解説し、【実践編】ではこれらの知識体系を活用のポイントを適応拡大を目指す医師主導治験を事例として、具体的に解説。

研修の回数：6回

参加人数：1549名（院内 院外（医師含む））

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 竹原 徹郎	
管理担当者氏名	総務課長 中野 哲也 薬剤部長 奥田 真弘	医事課長 徳野 光男 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	<p>◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い</p> <p>開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。</p> <p>電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第三十二條	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
			パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。調剤数は薬剤部システムで管理。

		閲覧実績	総務課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部	

パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	総務課長 中野 哲也
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 本田 俊介
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係長 本田 俊介
閲覧の手続の概要 閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 高難度真意医療技術の導入 9. 未承認新規医薬品等の導入 10. 医療安全情報の共有 11. 職員に対する教育研修 12. 医療安全文化の構築 13. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 14. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年 33 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 2. リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年8回 3. 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年14回 4. 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>「生体情報モニターと『アラーム疲労』 (e-Learning (令和4.6.3) 開催、3268名参加)</p> <p>「知っておきたい臨床倫理—部署内カンファレンスから倫理コンサルテーション依頼まで」 (e-Learning (令和4.10.6) 開催、3268名参加)</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>問題点の把握状況 (方法) 【各部署・部門等】 ・ インシデントをイントラネット (インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書) から報告</p>	

【リスクマネジメント委員会】
・インシデントレポートのデータベースのモニター（毎日・当番制、要IDとパスワード）

【医療クオリティ審議委員会】
・医療クオリティ審議依頼書が入力されると直ちにコアメンバーに通知され、内容確認が行われる

【中央クオリティマネジメント部】
・専任リスクマネジャーによりインシデントレポートのモニターや報告された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、事例に関する問い合わせ、現場の確認

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】
・当該部署、部門等にて事例の背景要因を分析

【リスクマネジメント委員会】
・当番委員によりインシデントの背景要因を分析

【医療クオリティ審議委員会】
・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者からのヒアリング、及び委員からの意見をもとにインシデントの発生メカニズムを多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】
・専任リスクマネジャーを含む多職種の構成員によりインシデントの背景要因を多角的に分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】
・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】
・インシデントの要旨と背景要因をシステム思考で分析し、再発防止策を提示
・事故防止策について意見交換、事故防止策を承認
・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】
・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示
・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】
・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援
・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力
・リスクマネジャーメーリングリストによる情報提供
・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画
・リスクマネジャー会議（運営部会）での周知
・教育のための教材を作成・教育の実施
・対象部署や職種を限定した教育教材（e-ラーニング）の作成
・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）
・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：大阪大学医学部附属病院は、わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとり、そして各部局それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。また新型コロナウイルス感染症の流行により新興感染症対策の重要性が広く認識されるようになっており、当院も新たな新興感染症が出現した際には、大阪府の要請に基づき患者を受け入れ、新興感染症対策の地域の基幹病院となることが求められている。</p> <p>このような医療関連感染対策・新興感染症対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献することが大阪大学医学部附属病院の使命である。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<p>・ 活動の主な内容： 感染対策委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告 2. 院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設区順に関すること等) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年26回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>「コロナ時代の感染対策と抗菌薬適正使用」（e-Learning（令和4.6.3）開催、3268名参加） 「阪大病院職員が知っておくべき！感染対策のいろは」（e-Learning（令和4.10.6）開催、3268名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新採用者職員（医師・看護師・医療技術職員・薬剤師・研修医等）に対する感染対策に関する研修 ・ 医療法に係る院内感染対策講習会の開催（2回/年） ・ 外部委託職員に対する感染対策講習会（オンサイト1回・ビデオ研修） ・ 未来医療技術部に対する研修会1回 ・ ICUの現場教育（8回） ・ 高度救命救急センター研修医に対するOJT（1回/月） ・ 臨床工学部への研修会（1回） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>●ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド） 感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施</p> <p>●耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施</p> <p>●サーベイランス</p>	

耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など）
デバイスサーベイランス実施部署：救命救急センター：（UTI）、ICU（中心静脈カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎）、手術部位感染サーベイランス心臓血管外科、消化器外科）
全部署のUTI, BSIサーベイランスの実施

- 抗菌薬適正使用に向けての活動
 - ・ 抗菌薬投与7日以降経過している患者を毎日カンファレンスにて介入を実施
- 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施
- 手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）
- COVID-19診療における感染対策の強化

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1. 令和4年6月16日 令和4年度 第1回医薬品安全講習会（第235回 阪大病院フォーラム） 院内ライブ講習会（B講堂）（e-ラーニングをCLE(大阪大学授業支援システム)上でも公開） 演題：抗がん薬の職業性曝露対策について 受講者数： 74 名 2. 令和4年度 第2回医薬品安全管理講習会 10月6日よりe-ラーニングシステム上に「院内講習会」として公開 演題：変更調剤プロトコルの導入～疑義照会の効率化・その運用について～ 全員受講必須 	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ➢ 医薬品の安全使用のための業務手順書の一部改訂（2023年3月20日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 変更調剤にかかる事前申合せプロトコル（院内処方・院外処方） ・ 薬剤師によるレジメンオーダーの代行修正に関するPBPM 等 ➢ 従業者に対する医薬品安全管理のための研修企画と実施 年2回、上記②の通り実施。 ➢ 手順書に基づく業務実施の確認・記録 6月に、各部署の医薬品安全管理者（リスクマネジャー）に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別にアンケート調査方式にて遵守状況確認を実施 	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ➢ 未承認医薬品：3件（硫化水素中毒処置用の院内製剤3%亜硝酸ナトリウム注など） ➢ 適応外：8件（自己免疫性溶血性貧血（AIHA）に対するリツキシマブの使用、気道損傷に対するアセチルシステイン吸入療法等） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ➢ 院内ホームページ・イントラネット上の情報提供 ➢ イン트라ネット上に薬剤部News（医薬品に関する薬剤部からのお知らせ）掲載ページを新設 ➢ 院内処方（入院患者・外来）の変更調剤（薬剤の剤形変更・規格変更）にかかる事前申合せプロトコルの導入 ➢ 未承認医薬品である院内製剤については、代替可能な市販の医薬品があれば切り替えを行って品目数を減らしている 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年675回
<p>・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など</p> <p>研修の内訳</p> <p>1. 新規導入医療機器の安全使用研修（46回） 10回開催、受講者数177名（令和4年4月1日～令和4年9月30日） 36回開催、受講者数129名（令和4年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（48回） 19回開催、受講者数73名（令和4年4月1日～令和4年9月30日） 28回開催、受講者数133名（令和4年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>3. 特に熟練を要する医療機器の安全使用研修とOpenME ①医療機器の安全使用研修（468回） 107回、185名受講（令和4年4月1日～令和4年9月30日） 264回、1250名受講（令和4年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>① OpenMEの実施状況（113回） 36回、45名受講（令和4年4月1日～令和4年9月30日） 0回、0名受講（令和4年10月1日～令和5年3月31日）</p> <p>4. 新規採用者対象のMR装置の安全管理講習会（e-ラーニング） 受講者210名（令和4年7月1日～令和4年12月31日）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （有 無）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびにメーカーによる保守点検を実施している。 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置、⑨その他保守点検が必要と考えられる医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立てて、それに則って臨床工学士ならびに委託業者による保守点検を実施している。</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。 臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。</p> <p>【点検内容】 安全点検、電気的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、イメージクオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など</p> <p>【点検台数】 ・ 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器168台、補助循環装置49台、除細動装置40台、閉鎖式保育器11台、血液浄化装置44台について、点検計画に則つ</p>	

て適切に実施した。(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

- ・臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目(人工呼吸器189台(内廃棄12台)、補助循環装置49台、除細動装置40台(内廃棄7台)、閉鎖式保育器11台、血液浄化装置45台(内廃棄2台))について、点検計画に則って適切に実施した。(令和4年10月1日～令和5年3月31日)
- ・放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置132台について、点検計画に則って適切に実施した。(令和4年4月1日～令和4年9月30日)
- ・放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置133台について、点検計画に則って適切に実施した。(令和4年10月1日～令和5年3月31日)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：
医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報、厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。
病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネジャ会議での啓発やリスクマネジャのメーリングリストを通じて周知を図っている。
年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器安全情報の共有を図り常に連携をとっている。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定
 - ・ 定期安全使用研修のためのe-learningの作成
 - ・ 医療機器安全管理室組織図の改定と内規策定の検討
 - ・ 医療機器導入と保守点検の一元化システム策定の検討

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長）を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 年1回以上の「医薬品安全使用のための業務手順書」の改訂 ➢ 毎年6月に改訂後の業務手順書の遵守状況について、各部署に対してアンケート調査を実施 ➢ 院内職員対象に医薬品安全管理講習会を実施 ➢ 重要安全性情報の発信（医薬品安全管理委員および各部署管理者に速報） ➢ Drug Information News（医薬品の適応追加・用法用量変更、安全性情報、適正使用情報等のお知らせ）の発行、および各部署での周知の記録をFAXにて回収 ➢ 薬剤部 News（医薬品に関する薬剤部からのお知らせ）の発行 ➢ 院内ホームページ・イントラネット上の情報提供 ➢ 医薬品の添付文書情報を電子カルテ端末から閲覧できるよう整備 ➢ 医薬品使用状況を確認し、必要に応じて、薬事委員会、医薬品安全管理委員会、病院運営会議等で報告。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 未承認等の医薬品を使用する場合は、未承認新規医薬品等診療審査部にて審査・評価を行い、診療の提供の適否を決定 ➢ 薬剤部医薬品情報室が未承認新規医薬品等審査部の事務局を担当し、医薬品に関する情報収集を行う。 ➢ 薬剤師等が収集・把握した未承認医薬品等の使用に関する情報は、薬剤部医薬品情報室に集約し、医薬品情報室で内容を確認、評価し、未承認新規医薬品等診療審査部への審査対象となる診療は未承認新規医薬品等診療審査部へ諮問 ➢ 未承認医薬品の使用、適応外使用、禁忌での使用状況について、医薬品安全管理委員会および病院運営会議にて報告 <p>・担当者の指名の有無（有）無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 2 名 ）</p> <p>（所属：薬剤部（医薬品情報室）， 職種 室長（薬剤主任） 1 名 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 定期的各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。 適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療情報管理士が毎日、退院時サマリを確認し、不備等の修正依頼を適時実施している。毎月、手術記録、カウンターサインを確認し、作成状況や未承認の催促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは、年7回の頻度で、3診療科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、診療情報管理士を招集し、多職種でカルテ監査をしている。ピアレビュー後に各自3症例を持ち帰り、監査を行い、後日結果を報告する。また、半年後に再監査を診療情報管理士が各4症例ずつ実施しており、1年224症例の監査計画で運用している。年間の全診療科の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を行っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科を一巡する。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（7）名、専任（0）名、兼任（6）名</p> <p>うち医師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（0）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（3）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの調査・分析・レポート管理及びカンファレンスの開催 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施および、理解度テストの実施と評価 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援 10. 全死亡症例の把握・検証 11. 医療の質・安全に関するモニタリング 12. 高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画 <p>令和5年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会及び病院運営会議、リスクマネジャー会議で報告を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手術安全チェックリスト利用率 2. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率 	

3. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率
4. 2週間以内の退院サマリ作成率
5. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施率
6. 病理検査および画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率
7. 輸血投与時の認証システムによる照合実施率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（5件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：

診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（22件）、及び許可件数（21件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：

診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年255件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年43件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡・死産症例は、退院転帰が「死亡（あるいは死産）」と入力されることで全例漏れなく医療安全部門が把握することができるシステムを構築しており、医療安全部門では、毎週、多職種で全死亡症例の診療経過について検証している。

さらに診療科では全死亡・死産症例について、診療科内で医療プロセスについて検証し、その結果を院内死亡症例報告書に入力する。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断された際は、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

診療科長及び中央クオリティマネジメント部部長が全症例の検証結果を確認し、医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は、病院運営会議において管理者に報告する。平成28年9月20日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成14年から全国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうち、レベル3b以上は管理者が定める水準以上の事象として、月一回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構及び医療事故調査制度に伴う報告事例が審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

医療事故と判断された場合は、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げ、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：九州大学））・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：長崎大学））・無
- ・技術的助言の実施状況

前年に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大のため相互立入りは実施せず、WEB訪問に変更し調査を行った。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

窓口の名称：患者相談室（平成16年4月2日設置）
対応する職員：患者包括サポートセンター患者相談部門
医師 1名
看護師 1名
医療ソーシャルワーカー(MSW) 1名
事務職員 2名
計 5名
相談に応じる時間帯：月～金曜日 8：30～17：00

患者相談室設置要綱

第7条(1) 相談を受けた者は、相談等の内容を病院長まで報告するものとする。

第7条(2) 病院長は相談等の内容が、本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して、検討及び改善を指示するものとする。

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

【管理者】

令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和5年1月16日受講

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和6年1月15日受講予定

【医療安全管理責任者】

令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和4年11月30日受講

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和6年1月26日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和5年1月16日受講

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和6年2月26日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和4年11月30日受講

令和5年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和6年2月26日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・ 第三者による評価の受審状況
実施年月日：令和3年10月13日～10月15日
実施機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構
評価内容：公益財団法人日本医療機能評価機構による「一般病院3」の認証受審
- ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
公表年月日：令和4年4月1日
本院ホームページにおいて公表：<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/pr/evaluation.html>
- ・ 評価を踏まえ講じた措置
 1. 手術部位感染サーベイランスの実施に即して、貴院が補充的な審査で提示した改善策の継続的な実践と対象診療科の拡大に努めた。
 2. 診療の質の向上に向けた活動に関して、補充的な審査で提示された改善策を継続的に実践した。
 3. 新たに組織された業務改善委員会を縮続的に開催し、実績を積み上げた。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<p>・ 基準の主な内容 下記のとおり定めました。</p> <p>(1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。</p> <p>(2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。</p> <p>(3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。</p> <p>(4) 大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。</p> <p>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<p>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無)</p> <p>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無)</p> <p>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無)</p> <p>・ 公表の方法</p>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 本学のHPに掲載

- ・ 規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

別紙2のとおり

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度 「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度 「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

令和元年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長・副看護部長

令和2年度 「医師の働き方改革に関する緊急セミナー」

参加者：病院長、副病院長、副看護部長、事務部長、総務課長

令和3年度 「医師の働き方改革セミナー」

参加者：病院長、副病院長、事務部長、総務課長

令和4年度 「医師の働き方改革セミナー」

参加者：病院長、副病院長、事務部長、総務課長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					(有) 無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○ 医療安全管理体制の活動報告 以下の委員会・部会等から活動報告を行う。 感染対策委員会、医療放射線安全管理委員会、高難度新規医療技術審査部、未承認新規医薬品等診療審査部、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、医療クオリティ審議委員会及び医療安全の中央機能に係る報告</p> <p>○ 医療安全に関する特筆すべき取組があれば報告</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・ 公表の方法： 本学のHPに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有 (無)	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	有 (無)	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	有 (無)	1

橋本佐与子	認定 NPO 法人ささえあい 医療人権センターCOML 理 事		患者・医療者双方の コミュニケーション 能力を高める活動等 に取り組み、患者目 線で医療について助 言できる者として選 定	有・無	2
井上 惠嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する 理事として選定	有・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取り組みを行っている。

- ・大阪大学行動規範の制定
- ・コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）
- ・コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和5年9月27日に管理運営専門委員会を開催した。</p> <p>専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（年1回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無）（年1回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
御前 治	吹田市医師会長		有・ <input type="radio"/> 無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・ <input type="radio"/> 無
吉川 秀樹	市立豊中病院 総長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	
松坂 英孝	大阪ガス株式会社顧問		有・ <input type="radio"/> 無
橋本 佐与子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権 センターCOML 理事		有・ <input type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内各会議にて附議・周知するとともに、本院 HP の職員専用ページ及び院内ホームページ・インターネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信の方法、内容等の概要・ 阪大病院ニュースの発行：紙媒体で年4回発行し、本院の活動を情報発信している。・ 病院要覧：紙媒体で年1回発行し、本院の概要を掲載している。・ ホームページ：随時更新し、情報発信している。阪大病院ニュース、病院要覧、診療等実績データをPDFで掲載している。・ 病院見学会：年1回一般市民を対象に開催している。（令和3・4年度はコロナ下で休止中し、動画で配信した）・ 一般市民向けがん診療啓蒙のための公開講座をハイブリッドで開催している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 脳卒中センター ・ 前立腺センター ・ 睡眠医療センター・ 疼痛医療センター ・ 生殖医療センター ・ ハートセンター・ 小児医療センター ・ オンコロジーセンター ・ 呼吸器センター・ てんかんセンター ・ 消化器センター ・ I V Rセンター・ 胎児診断治療センター ・ 難病医療推進センター ・ 子どものこころの診療センター・ 糖尿病センター ・ がんゲノム医療センター ・ 緩和医療センター・ 腸管不全治療センター・ 摂食嚥下センター	

副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題（令和5年度）

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題		
副病院長	人事労務・医療安全	坂田泰史	人事労務	①人事労務に関すること ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善	
			医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 （医療安全・質向上のための相互チェック及びピアレビュー等） ②院内の医療の質・安全に関すること	
	財務・がん診療	野々村祝夫	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立	
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓	
	教育・診療体制	藤野裕士	教育	①研修医・新専門医制度に関すること ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発	
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続 ②手術・ICU運用	
	ホスピタリティ	岩崎朋之	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 （ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など） ②ボランティア活動の充実	
	病院長補佐	小児・周産期・再開発	木村 正	小児医療	①小児医療に関すること
				周産期	①周産期医療に関すること
				再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討
研究・臨床研究中核病院		江口英利	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展	
			臨床研究中核病院	①臨床研究中核病院に関すること	
中央診療施設		小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設に関すること	
広報・中期目標・計画		猪阪善隆	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画	
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価	
医療情報・地域医療・外部評価		武田理宏	医療情報担当	①医療情報に関すること	
			地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実	
			外部評価	①外部評価（特定共同指導・JCI受審）に対する院内準備	
救急医療		織田 順	救急医療	①救急医療に関すること	
女性支援・ダイバーシティ		中島和江	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援	
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立	
経営・組織改革		多田典史	経営	①経営戦略の検討	
	組織改革		①事務組織の改革		